

戸 田 市
生涯学習に関する市民意識調査
報 告 書

令和2年9月

戸田市教育委員会

I 調査概要	
1 調査目的	1
2 調査対象及び調査方法等	1
3 回収結果	1
4 調査結果の留意点	2
II 調査結果の総合分析	3
III 調査結果（個人アンケート調査）	
1 回答者の属性	6
(1) 性別	7
(2) 年齢	7
(3) 居住年数	8
(4) 家族構成	8
2 市民の生涯学習の実態	9
(1) 生涯学習に関する認識	10
(2) 現在の「学習活動」の状況	14
(3) 現在の具体的な「学習活動」	17
(4) 特に力を入れた「学習活動」	21
(5) 特に力を入れた「学習活動」の1回あたりの時間	23
(6) 「学習活動」の頻度	25
(7) 現在の「学習活動」の充実度	27
(8) 「学習活動」の目的	29
(9) 「学習活動」をしなかった理由	31
3 市民の生涯学習の意向	33
(1) 今後の学習方法の希望	34
(2) 「市民向け生涯学習事業」の情報に接しやすいと思う発信媒体	37
(3) 新たに始めたい「学習活動」の有無	40
(4) 新たに始めたい具体的な「学習活動」	43
(5) 特に力を入れて行いたい「学習活動」	47
4 「公共学習施設」の利用実態および評価	49
(1) 「公共学習施設」の利用状況	50
(2) 利用している「公共学習施設」	52
(3) 「公共学習施設」を利用していない理由	53
(4) 「公共学習施設」への改善希望	55
5 市の「市民向け生涯学習事業」の利用実態および評価	58
(1) 「市民向け生涯学習事業」の利用・認知状況	59
(2) 「市民向け生涯学習事業」の認知方法	66

目次

(3) 「市民向け生涯学習事業」の認知かつ非利用の理由	67
(4) 開催を希望する講座	71
(5) 講座に参加する場合に都合のよい日時	73
(6) 講座の受講を修了した場合に活かしたい場面	75
(7) 受講したいと思う市民向け講座の開催形式（進め方）	77
6 市民の生涯学習への意欲・関心（まちづくりへの参加を一視点として）	80
(1) 生涯学習活動を行うことがまちづくりの第一歩となると思うか	81
(2) 「まちづくりの視点」から考えたときの「学習活動」への参加意向	83
(3) 「まちづくりの視点」から参加したい具体的な「学習活動」	85
7 市の生涯学習環境づくりに向けての意見	87
(1) 生涯学習環境づくりに向けた施策の希望	88
(2) 生涯学習全般に関する意見、提案	91
IV 調査結果（団体アンケート調査）	
1 団体の属性	97
(1) 運営人数	98
(2) 活動人数	98
(3) 活動参加者の年齢層	99
2 団体の活動の実態	100
(1) 活動範囲	101
(2) 一定の地区での活動場所	102
(3) 今後の活動展開	103
(4) 広げたい活動範囲	104
(5) 主な活動場所	105
(6) 戸田市役所との連携状況	106
(7) 戸田市役所との連携の内容	107
(8) 活動の内容	108
(9) 特に力を入れている活動	110
3 団体の活動を進めていく上での課題	112
(1) 現在の活動を進めていく上での課題	113
(2) 今後の活動を進めていく上での課題	114
4 市の生涯学習環境づくりに向けての意見	115
(1) 活動を進めていく上で行政に求めること	116
(2) 生涯学習全般に関する意見、提案	117

V 使用した調査票

- 1 個人アンケート調査票
- 2 団体アンケート調査票

I 調査概要

1 調査目的

本市教育委員会では、平成9年に「戸田市生涯学習推進基本構想（とだエコープラン）」、平成19年に「戸田市生涯学習推進計画（第2次）」、平成24年に「第3次戸田市生涯学習推進計画」を策定し、継続的に生涯学習施策の推進を図ってきた。また、平成27年には「戸田市生涯学習に関する市民意識調査」を実施して、生涯学習に対する市民ニーズを把握し、これをもとに「第4次戸田市生涯学習推進計画」を策定するなど、これまでに様々な生涯学習の取り組みを進めている。しかし、今日、時代の要請や本市の施策動向、そして市民意識の変化に的確に対応した新たな生涯学習の環境が求められている。

そこで、本調査は生涯学習に関する戸田市民の意識を把握し、今後の生涯学習施策の基礎資料とするとともに令和3年度から実施予定の「第5次戸田市生涯学習推進計画（仮称）」に反映させることを目的として開始したものである。

2 調査対象及び調査方法等

本調査では、戸田市民個人を対象としたアンケート（個人アンケート）と生涯学習を実施している団体を対象としたアンケート（団体アンケート）の2種類の調査を実施した。

	個人アンケート	団体アンケート
調査対象	市内に居住する20代、30代、40代、50代、60歳以上の男女	市内で生涯学習活動を実施している団体
サンプル数	1,300 サンプル	200 サンプル
調査期間	令和2年6月16日～6月30日	
抽出方法	住民基本台帳から、年齢層別の人口比率に基づき、男女別に無作為抽出	市内公共施設を拠点に活動する団体から抽出
調査方法	郵送配布、郵送回収	郵送配布・市内公共施設窓口にて団体代表者に配布、郵送回収
調査地区	市内全域	

3 回収結果

	個人アンケート	団体アンケート
配布数	1,300	200
有効回収数	457	120
有効回収率	35.2%	60.0%

4 調査結果の留意点

- (1) 図中の「n」は、各質問の回答者数を示す。
- (2) 集計は、小数点第2位を四捨五入して算出した。したがって、回答率を合計しても100%にはならず、0.1%の範囲で増減することがある。
- (3) 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100%を超えることがある。
- (4) 「おおいに当てはまる」と「当てはまる」を合わせて『当てはまる(計)』とする場合など、2つ以上の選択肢を合わせた項目の比率を表記する場合、その比率は、それぞれの選択肢の回答者数を合計し、比率を再計算したものを使用している。
- (5) 回答者数が10に満たないものについては、図示するに留め、この報告書の中では特に取りあげていない。

Ⅱ 調査結果の総合分析

総合分析

今回の調査から明らかになったことの中で、特徴的なものは以下のとおりである。

1. 学習活動に取り組みやすい環境づくりの必要性

- ・現在学習活動をしている人の割合は前々回調査の平成22年度以降減少傾向で、今回は40.5% (p. 14)
 - ・現在学習活動をしていないが、新たに始めたい活動があると答えた人の割合：52.4% (p. 42)
 - ・学習活動をしなかった理由としては、仕事や家事が忙しい、きっかけがない、経費がかかるなどが挙げられる。(p. 31)
- ⇒学習活動の阻害要因として、環境・制度的要因の認識は低く、当人の忙しさときっかけのなさが課題。
- ⇒施策的には、学習することへのコスト（費用・時間）を抑えるため、講座や動画のオンライン配信等をはじめとした、場所を選ばず学習できるような環境整備が求められる。また、学習活動を新たに始めたくなるきっかけづくりや、学習活動に取り組むことに対する周囲の理解（職場内、家庭内）を得られるような情報発信や啓発についても取り組むことが必要と考えられる。
- ・20～30代では、インターネットを利用した学習へのニーズが高い一方で、高齢者にとっては紙媒体やテレビ・ラジオ、対面式での講座に人気がある。(p. 35)
- ⇒オンライン化のみに傾倒するのではなく、学習内容を多様な媒体に変換して発信するなど、様々な方法での学習が可能となるような工夫が必要である。

2. 社会人の学び直しに対する認識

- ・新たに学び直したいことがあると回答した人の割合：58.2% (p. 40)
- ⇒特に、20～30代の女性のうち78%、40～50代の女性のうち67.6%が「ある」と回答しているなど、20～30代の女性にとって学び直しのニーズは高いものであることがわかる。
- ・特に力を入れて行いたい学習活動のスコアを見てみると、英会話やパソコン技能に係る「職業上必要な知識及び技能に関すること」は最も高い。(p. 47)
- ⇒働く上で必要な知識や技能について学ぶ機会を創出することが求められているといえる。
- ・受講したい講座の種類の中で「資格取得につながる講座」は40.3% (p. 71)
 - ・そのうち、男性では20～30代で58.1%、女性では20代～30代が72.5%と、特に若年層において資格取得につながる講座へのニーズが高い。(p. 72)
 - ・また、講座を受講した後、学んだことを生かしたい場面については、仕事等へのキャリアアップが32.4%（複数回答可）。特に男性の20～30代は55.8%、女性の20～30代は女性のすべての年代の内64.8%と、こちらも若年層からのニーズが高い。(p. 75, 76)

- ・現在、職業上必要な知識及び技能に関することを学習している人のうち、今後の学習方法として大学等に入学して学ぶこと希望しているのは約15%。それ以外は約85%
- ⇒教育機関に入学して学びたいという人は一定数いるものの、多くの方がより身近な場所で手軽に学べる形式を希望していることが読み取れる。
- ⇒「職業上必要な知識や技能に関すること」をテーマとした講座の開設や、他部署および民間企業等との連携の必要性も考えられる。

3. 施設の機能や在り方の見直しの必要性

- ・公共学習施設を利用した人は平成22年度以降減少傾向にあり、前回調査より8.8ポイント減少。(p. 49)
- ・忙しいため利用ができないということのほか、「特に理由がない」が上位に。(p. 53)
- ⇒他の事業やイベントと連携し、学習活動そのものに関する認知、関心を高める機会を増やしていく必要がある。

- ・平成27年に設立された「上戸田地域交流センター（あいパル）」が市民にとって新たな学習活動の場として位置づいてきていることがうかがえる。(p. 52)
- ・図書館の利用率の減少については、図書館本館が平成30年7月から令和2年3月まで工事のため休館していたことや、電子書籍の台頭等が影響していると思われるが、これからの図書館の在り方を再考する必要があると考えられる。(p. 52)
- ・公共学習施設を利用していないと答えた人のうち約7割は、現在学習活動をしていない。(p. 51)
- ⇒公共学習施設を利用することが、学習活動に取り組むきっかけとなる可能性がある。

4. 市の「市民向け生涯学習事業」の利用実態および評価

- ・「利用したことがある」は①「戸田市民大学」(3.1%)、②「公民館講座」(7.0%)、③「戸田人材の森」(0.7%)と低い結果となった。「知っていたが、利用したことがない」を含めた認知率は①28.9%、②34.6%、③16%。(p. 59)
- ⇒市民大学や公民館講座に関しては、開催日時の分散化や、内容の工夫などを、世代ごとのニーズに合わせて検討していくことが求められる。

5. 「生涯学習活動とまちづくり」に対する各世代の認識

- ・「学習活動を行うことが住民参加・住民主体のまちづくりの一步となると思う」と回答した人は63%。特に20～30代においてその回答率は高く、学習活動とまちづくりの関連性について認識されており、将来のまちづくりの担い手となることが期待される。(p. 81～84)
- ・まちづくりの視点から参加したい具体的な学習活動は、「スポーツ・文化活動」のほか、学校をはじめ地域の子もたちへの支援を目的とした学習活動への参加の意向が高い。男性20～30代は上記のほか、障害者や高齢者、外国人住民などの支援、女性20～30代は国際交流を目的とした学習活動への参加など、共生社会の構築に向けた取り組みへの関

心の高さがうかがえる。さらに、男性60歳以上では防犯・防災に関する活動、70歳以上では地域の伝統行事や歴史の継承に関する活動への参加の意向が高い。(p. 85, 86)

⇒各分野で中心となる世代が存在することが読み取れる。各世代が様々な視点からのまちづくりに興味を持ち、協働して取り組むためのきっかけを、市民大学や公民館講座等を通して提供していくことが求められると考える。

6. 団体活動の実態と課題

・今後の活動展開として、活動範囲を広げたいと考えている団体は決して多くはない。(p. 104)

・団体の課題は、参加者や活動場所の確保が主である。また、過去の調査と比較すると、「参加者の確保」の割合は減少し、「運営スタッフの確保」の割合は増加した。(p. 113, 114)

⇒団体の規模や活動内容により課題は異なるが、行政は一律的支援ではなく、それぞれの団体のニーズを把握し、柔軟な支援を行う必要がある。

・主な活動場所として、「公民館（福祉センター）」の割合は減少傾向で、「上戸田地域交流センター（あいパル）」の割合は増加傾向である。(p. 105)

⇒「上戸田地域交流センター（あいパル）」は平成27年新築で各種設備が充実していることなども含め、団体の拠点として増加傾向にある具体的要因を分析する必要がある。

Ⅲ 調査結果

(個人アンケート調査)

1. 回答者の属性

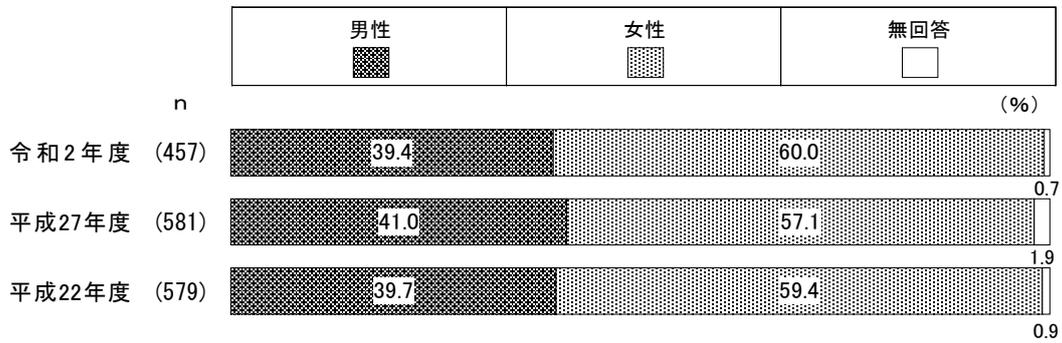
〔結果（概要）〕

- ◇回答者は、男性が約4割、女性が約6割である。
- ◇年齢別で見ると、最も少ないのは20代（12.9%）で、最も多いのは40代（21.2%）であった。
- ◇年代ごとの人口割合を考慮したうえでの無作為抽出を行っているが、今回の調査では、戸田市の居住年数が20年以上である人が87.1%と、過去の調査と比較すると偏った結果となった。
- ◇家族構成は、「夫婦と子ども」が最も多い。

(1) 性別

◇「男性」が39.4%、「女性」は60.0%

問1 あなたの性別はどちらですか。御自身が自認する性別を選択してください。

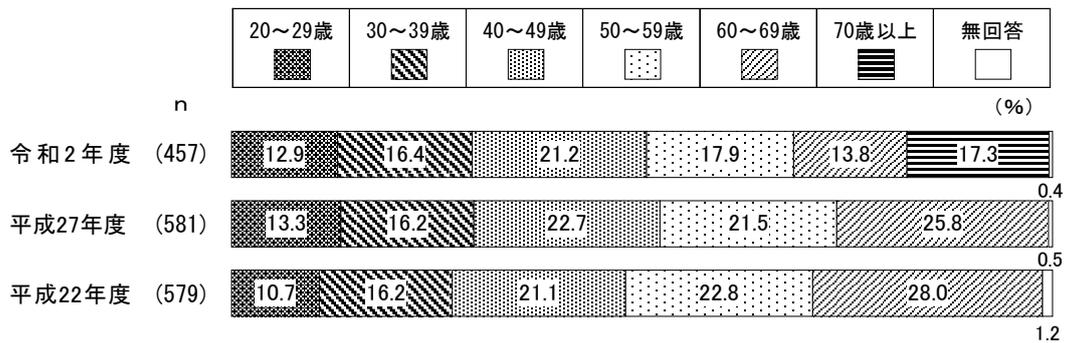


性別は、「男性」が39.4%、「女性」は60.0%となっている。

(2) 年齢

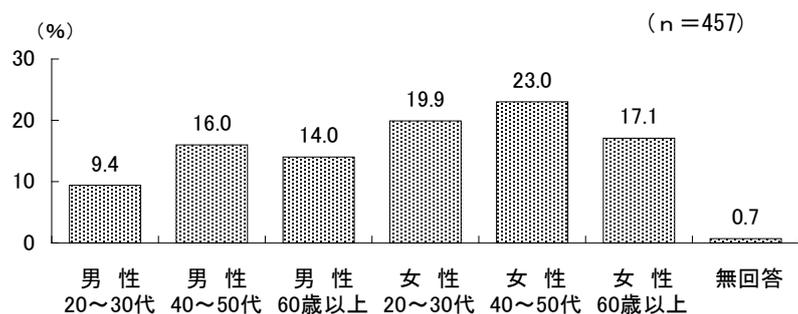
◇「40～49歳」が21.2%

問2 あなたの年齢はいくつですか。（令和2年5月1日現在）



※平成27年度までは「60～69歳」と「70歳以上」は「60歳以上」としていた

【性・年齢別】

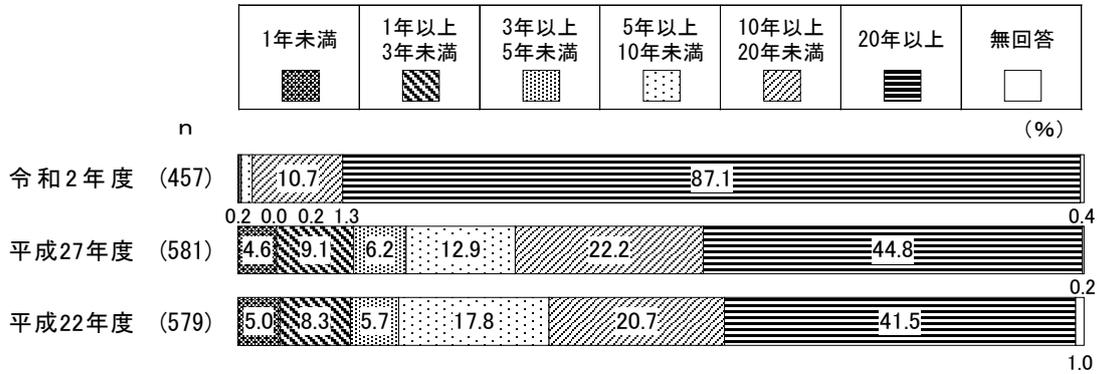


年齢は、「40～49歳」が21.2%で最も高く、次いで「50～59歳」(17.9%)、「70歳以上」(17.3%)、「30～39歳」(16.4%)、「60～69歳」(13.8%)、「20～29歳」(12.9%)と続いており、性・年齢別では「女性40～50代」が23.0%で最も高くなっている。

(3) 居住年数

◇「20年以上」が87.1%

問3 あなたは戸田市内に何年くらいお住みですか。



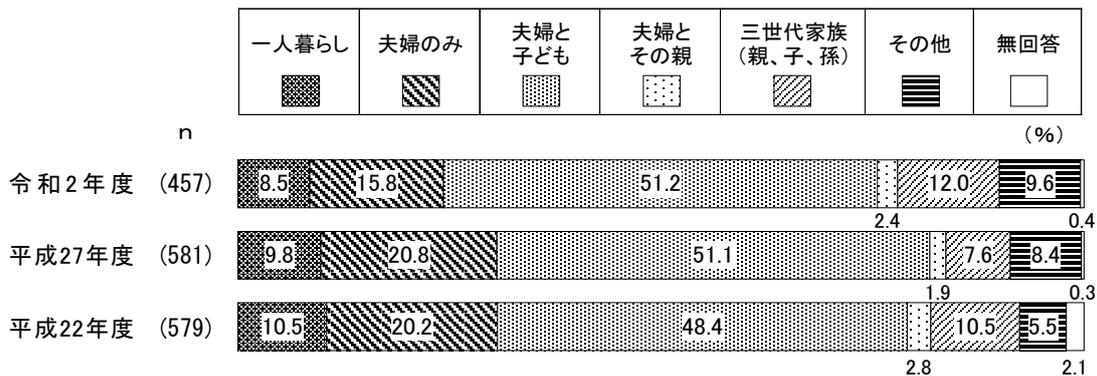
居住年数は、「20年以上」が87.1%で最も高く、次いで「10年以上20年未満」（10.7%）と続いている。

過去の調査結果と比較すると、「20年以上」は平成27年度より42.3ポイント増加している。

(4) 家族構成

◇「夫婦と子ども」が51.2%

問4 （現在同居している）あなたの家族はどのような構成ですか。



家族構成は、「夫婦と子ども」が51.2%で最も高く、次いで「夫婦のみ」（15.8%）、「三世大家族（親、子、孫）」（12.0%）、「一人暮らし」（8.5%）と続いている。

過去の調査結果と比較すると、「三世大家族（親、子、孫）」は平成27年度より4.4ポイント増加している。一方、「夫婦のみ」は平成27年度より5.0ポイント減少している。

2 市民の生涯学習の実態

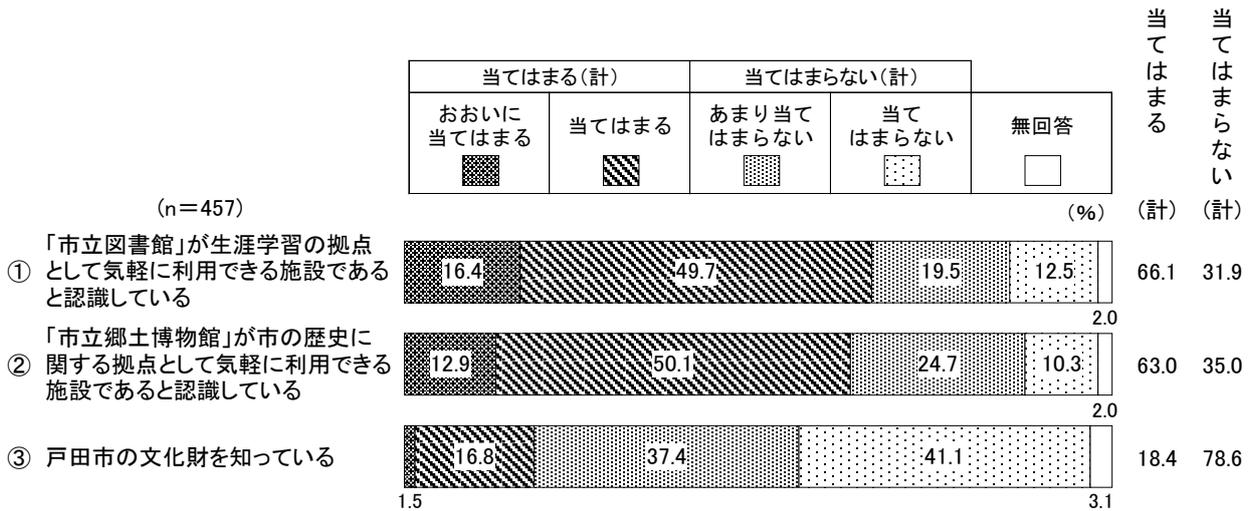
〔結果と課題（概要）〕

- ◇市立図書館、市立郷土博物館については、半数以上が「生涯学習活動の拠点として気軽に利用できる施設である」と認識している。一方で、文化財については認識が低いことが課題。
- ◇学習活動をしている人の割合は、前々回調査の平成22年度以降減少傾向で、今回は40.5%である。
- ◇学習活動の内容は、従前より「体力づくり・スポーツ」が抜きん出て多い。過去の調査と比較すると、「趣味」「日常の暮らしに役立つもの」「一般的な教養を高めるもの」「職業上必要な知識・技能を高めるもの」の割合は増加傾向にある。
- ◇個別の活動内容をみると、「ウォーキング・散歩」が42.2%で最も多く、次いで「芸術鑑賞」(29.2%)、「料理」と「健康管理」(ともに21.1%)となっている。
- ◇週に1~2回、1回あたり2時間未満で、体力づくりや気分転換のために学習活動を行う人が多い。過去の調査と比較すると、学習活動を「ほぼ毎日」行う人の割合が増加傾向にあり、特に20~29歳では活動頻度の高まりがみられる。
- ◇過去の調査と比較すると、ほぼすべての学習活動の内容や目的の回答割合が増加しており、学習活動の内容や目的が多様化していることがうかがえる。自分自身の体力や教養を高めることに加え、人とのつながりの形成など、様々な効果を期待し、活動していることがわかる。
- ◇今回の調査では、現在学習活動を行っている人と回答した人に限定し、その充実度について尋ねた（前回調査では全員に尋ねた）。現在学習活動を行っている人にとっては、学習活動はおおむね充実したものとなっているといえる。
- ◇学習活動の阻害要因として、環境・制度的要因の認識は低く、当人の忙しさときっかけのなさが課題となっている。

(1) 生涯学習に関する認識

◇『当てはまる（計）』は“「市立図書館」が生涯学習の拠点として気軽に利用できる施設であると認識している”で66.1%、“「市立郷土博物館」が市の歴史に関する拠点として気軽に利用できる施設であると認識している”は63.0%
 『当てはまらない（計）』は“戸田市の文化財を知っている”で78.6%

問5 生涯学習に関して、以下の①～③について、あてはまるものについてお答えください。
 （それぞれ1つだけに○印）



生涯学習に関する認識を3項目に分けて聞いたところ、「おおいに当てはまる」と「当てはまる」を合わせた『当てはまる（計）』は“「市立図書館」が生涯学習の拠点として気軽に利用できる施設であると認識している”で66.1%と最も高く、次いで“「市立郷土博物館」が市の歴史に関する拠点として気軽に利用できる施設であると認識している”（63.0%）、“戸田市の文化財を知っている”（18.4%）と続いている。

一方、「あまり当てはまらない」と「当てはまらない」を合わせた『当てはまらない（計）』は“戸田市の文化財を知っている”で78.6%と最も高く、次いで“「市立郷土博物館」が市の歴史に関する拠点として気軽に利用できる施設であると認識している”（35.0%）、“「市立図書館」が生涯学習の拠点として気軽に利用できる施設であると認識している”（31.9%）と続いている。

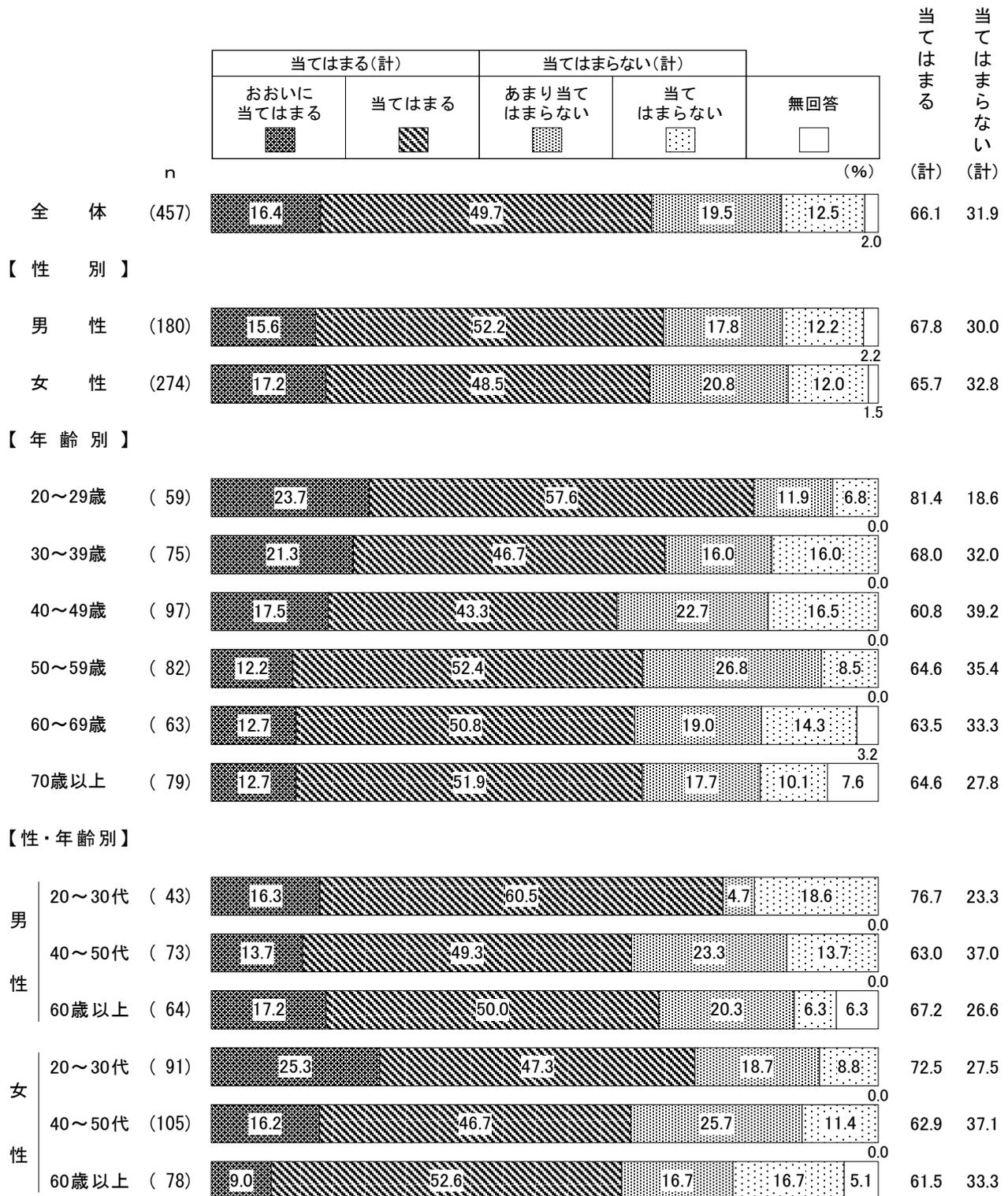
<性別、年齢別、性・年齢別>

①「市立図書館」が生涯学習の拠点として気軽に利用できる施設であると認識している

性別でみると、大きな違いはみられない。

年齢別でみると、『当てはまる（計）』は20～29歳で81.4%と高くなっている。一方、『当てはまらない（計）』は40～49歳で39.2%と高くなっている。

性・年齢別でみると、『当てはまる（計）』は男性20～30代で76.7%、女性20～30代で72.5%と高くなっている。一方、『当てはまらない（計）』は女性40～50代で37.1%、男性40～50代で37.0%と高くなっている。

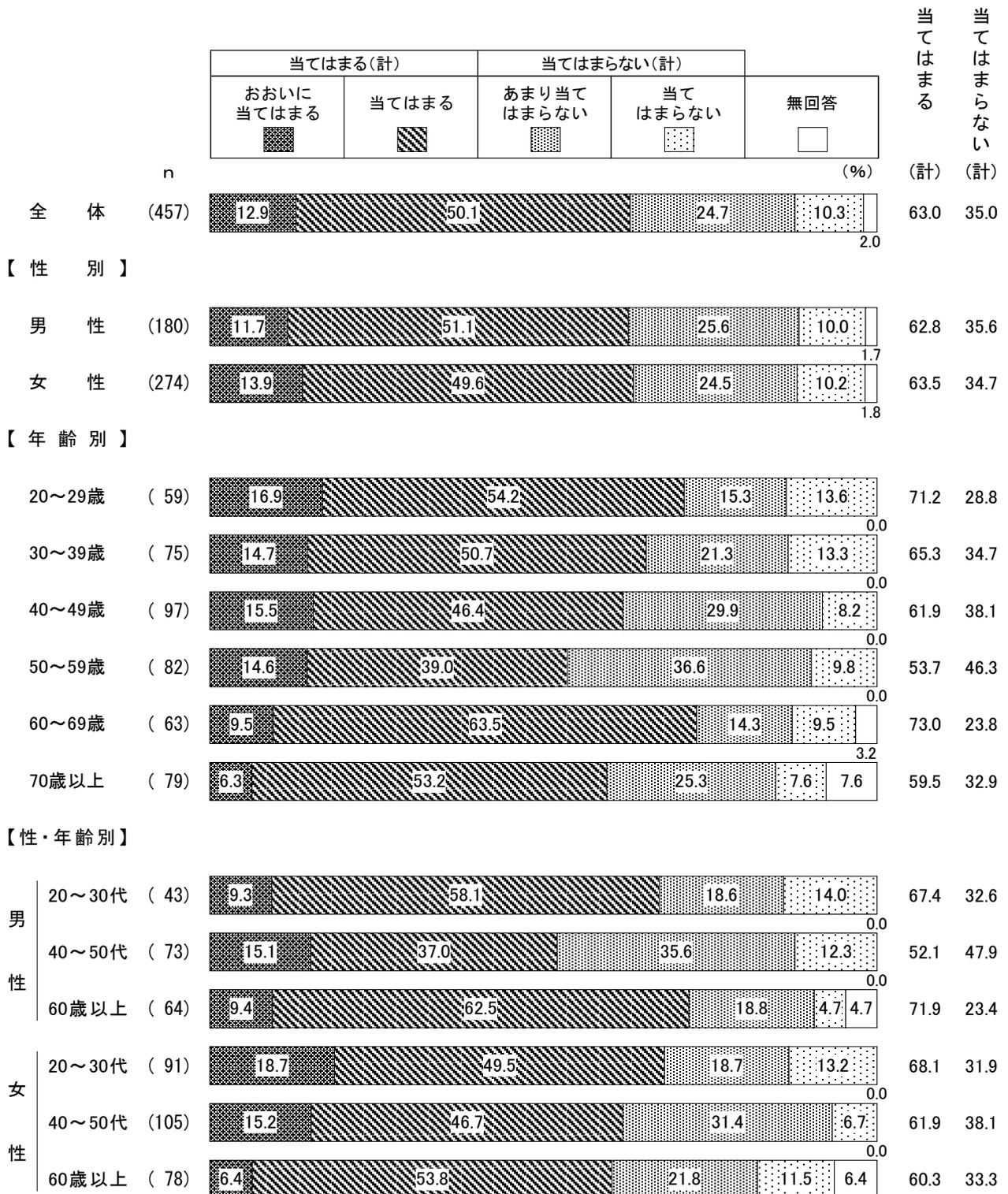


<性別、年齢別、性・年齢別>

②「市立郷土博物館」が市の歴史に関する拠点として気軽に利用できる施設であると認識している性別でみると、大きな違いはみられない。

年齢別でみると、『当てはまる（計）』は60～69歳で73.0%、20～29歳で71.2%と高くなっている。一方、『当てはまらない（計）』は50～59歳で46.3%と高くなっている。

性・年齢別でみると、『当てはまる（計）』は男性60歳以上で71.9%と高くなっている。一方、『当てはまらない（計）』は男性40～50代で47.9%と高くなっている。



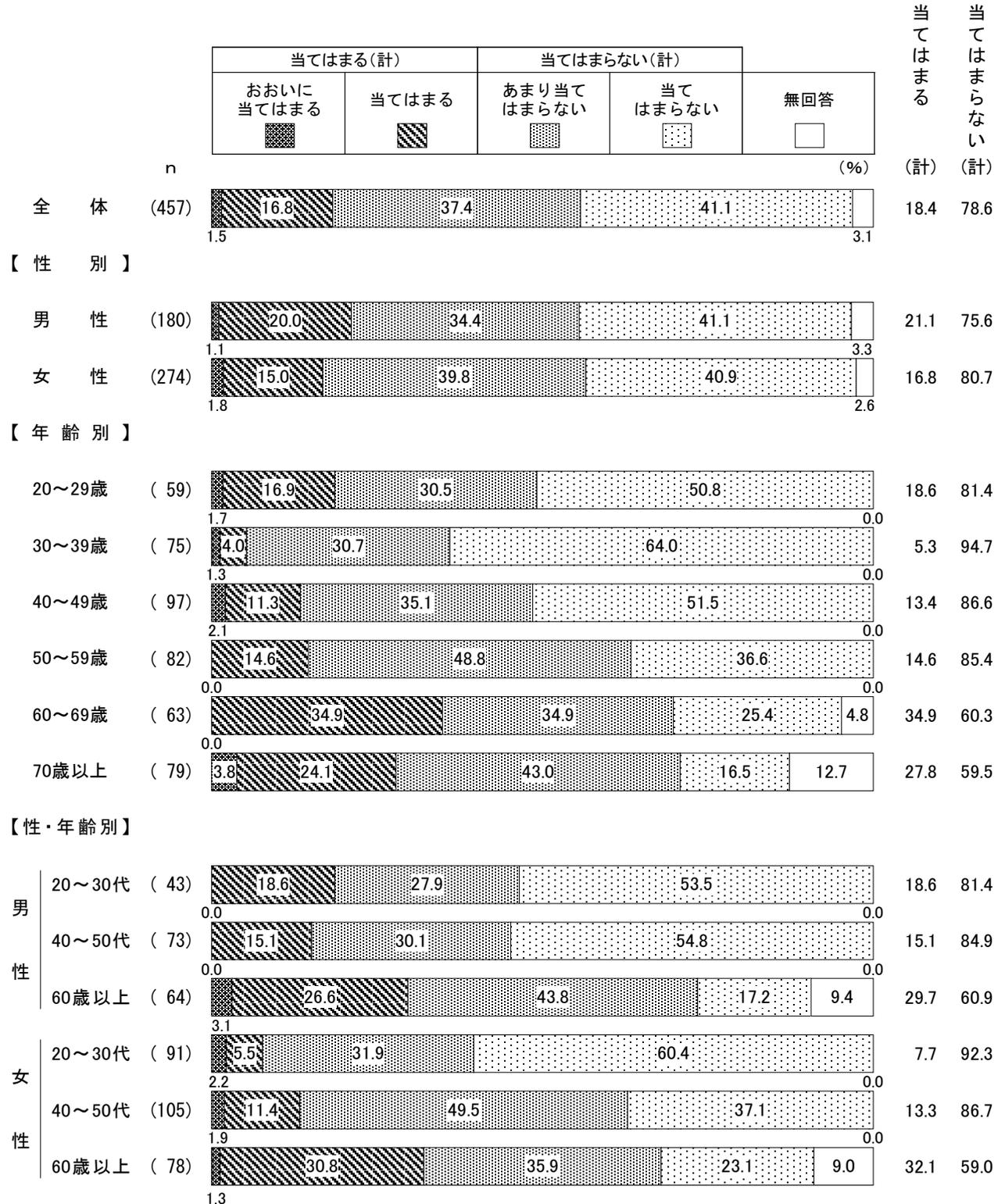
<性別、年齢別、性・年齢別>

③ 戸田市の文化財を知っている

性別でみると、『当てはまる（計）』は男性（21.1%）が女性（16.8%）より4.3ポイント高くなっている。

年齢別でみると、『当てはまる（計）』は60～69歳で34.9%と高くなっている。一方、『当てはまらない（計）』は30～39歳で94.7%と高くなっている。

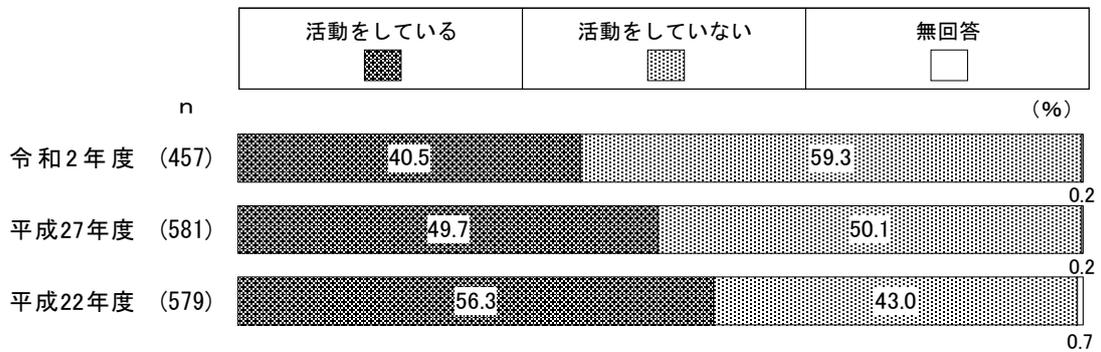
性・年齢別でみると、『当てはまる（計）』は女性60歳以上で32.1%と高くなっている。一方、『当てはまらない（計）』は女性20～30代で92.3%と高くなっている。



(2) 現在の「学習活動」の状況

◇「活動をしている」が40.5%

問6 あなたは現在（または過去1～2年の間に）文化・趣味・スポーツなどの活動（学習活動）をしていますか。（1つだけに○印）



現在の「学習活動」の状況を聞いたところ、「活動をしている」が40.5%、「活動をしていない」は59.3%となっている。

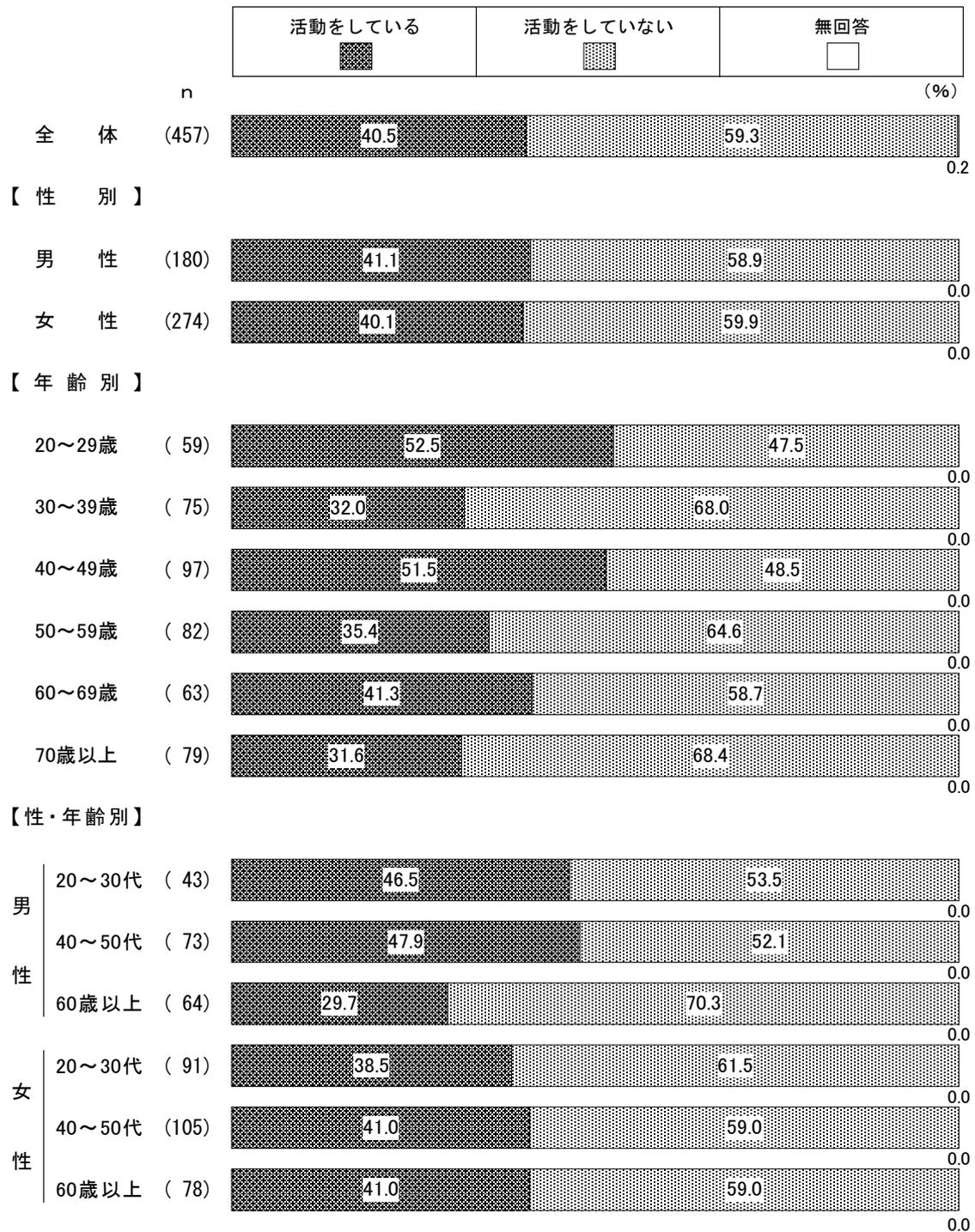
過去の調査結果と比較すると、「活動をしている」は平成22年度以降減少傾向にあり、平成27年度より9.2ポイント減少している。

＜性別、年齢別、性・年齢別＞

性別でみると、大きな違いはみられない。

年齢別でみると、「活動をしている」は20～29歳で52.5%、40～49歳で51.5%と高くなっている。一方、「活動をしていない」は70歳以上で68.4%、30～39歳で68.0%と高くなっている。

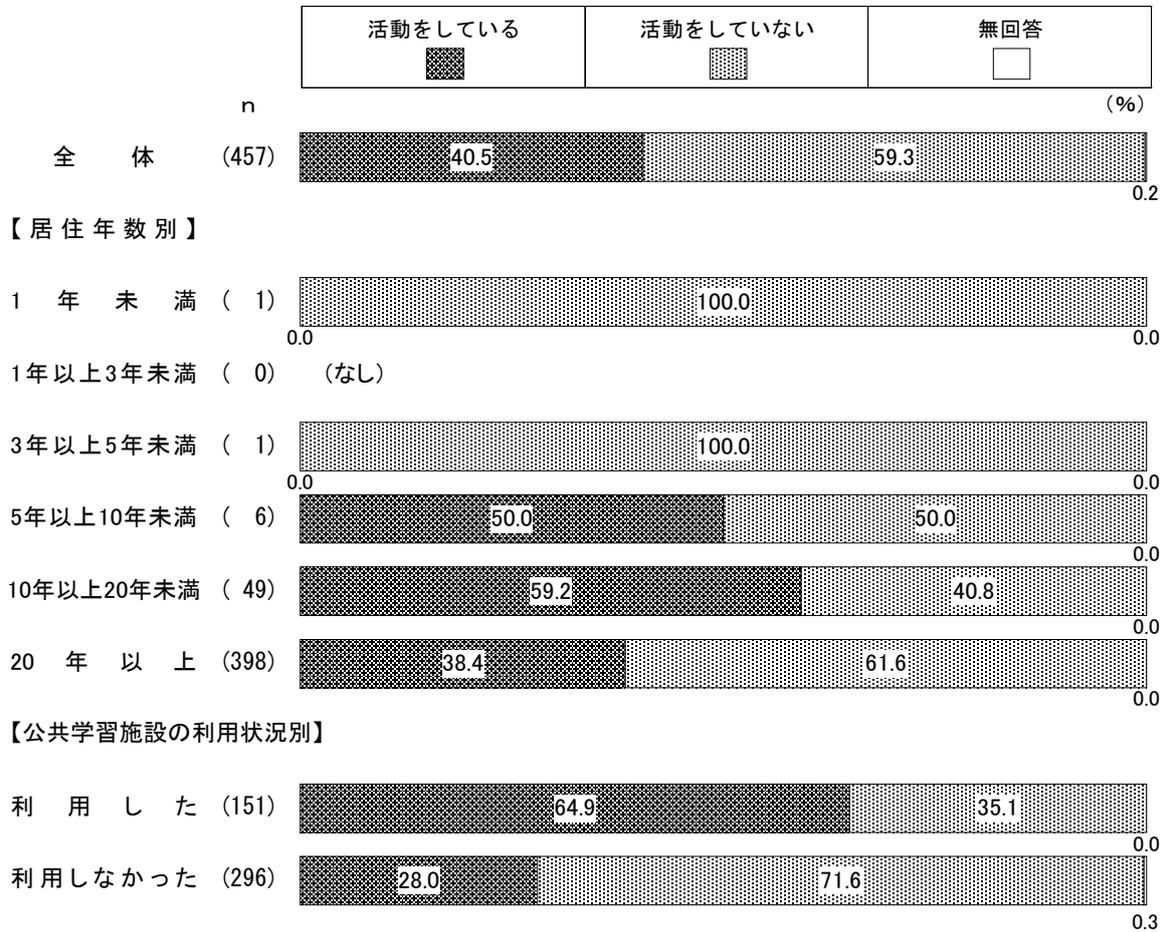
性・年齢別でみると、「活動をしている」は男性40～50代で47.9%、男性20～30代で46.5%と高くなっている。一方、「活動をしていない」は男性60歳以上で70.3%と高くなっている。



＜居住年数別、公共学習施設の利用状況別＞

居住年数別でみると、「活動をしている」は10年以上20年未満で59.2%と高くなっている。一方、「活動をしていない」は20年以上で61.6%と高くなっている。

公共学習施設の利用状況別でみると、「活動をしている」は公共学習施設を利用した人（64.9%）が利用しなかった人（28.0%）より36.9ポイント高くなっている。



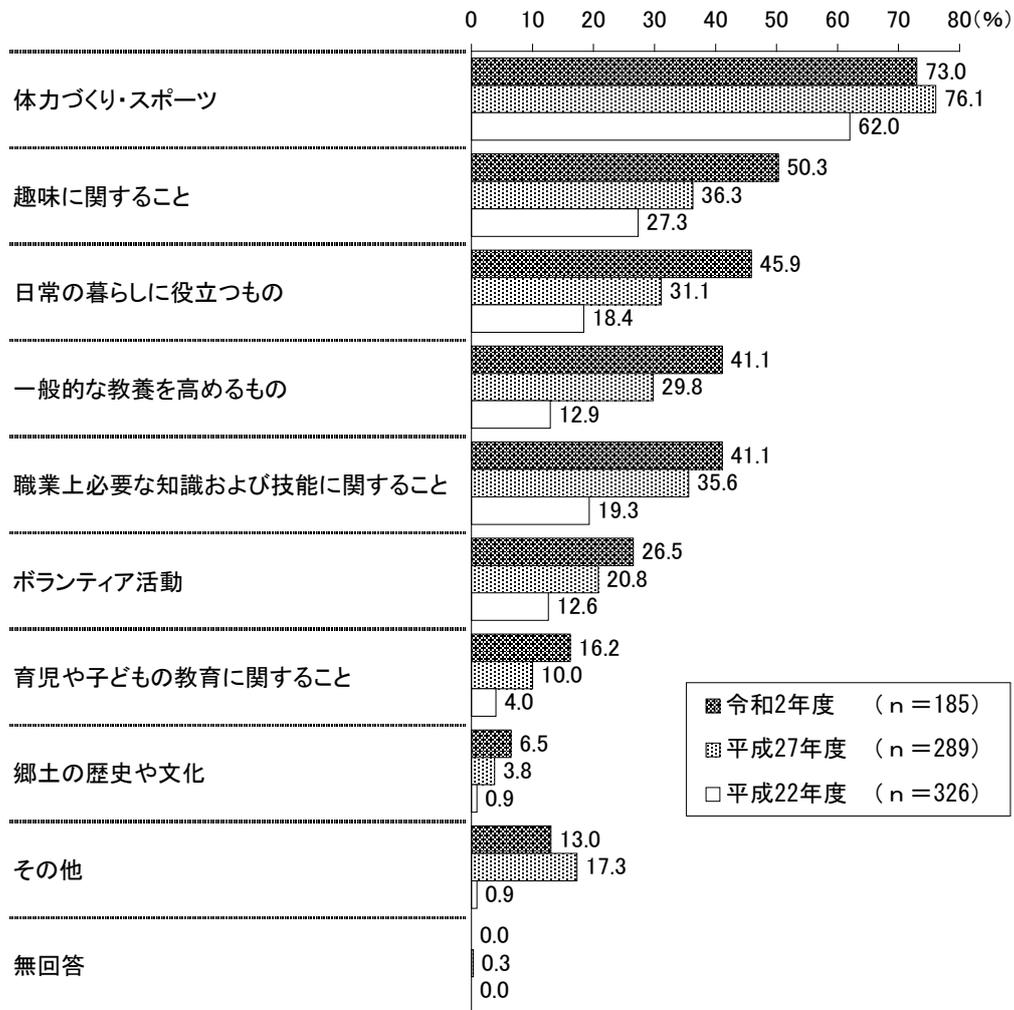
(3) 現在の具体的な「学習活動」

◇「体力づくり・スポーツ」が73.0%

【問6で、「活動をしている」と答えた方にお聞きします】

問6-1 どのような活動（学習活動）を行っていますか。

(1) 以下の（1～62）の中から、あてはまるものにもいくつか○印をつけてください。

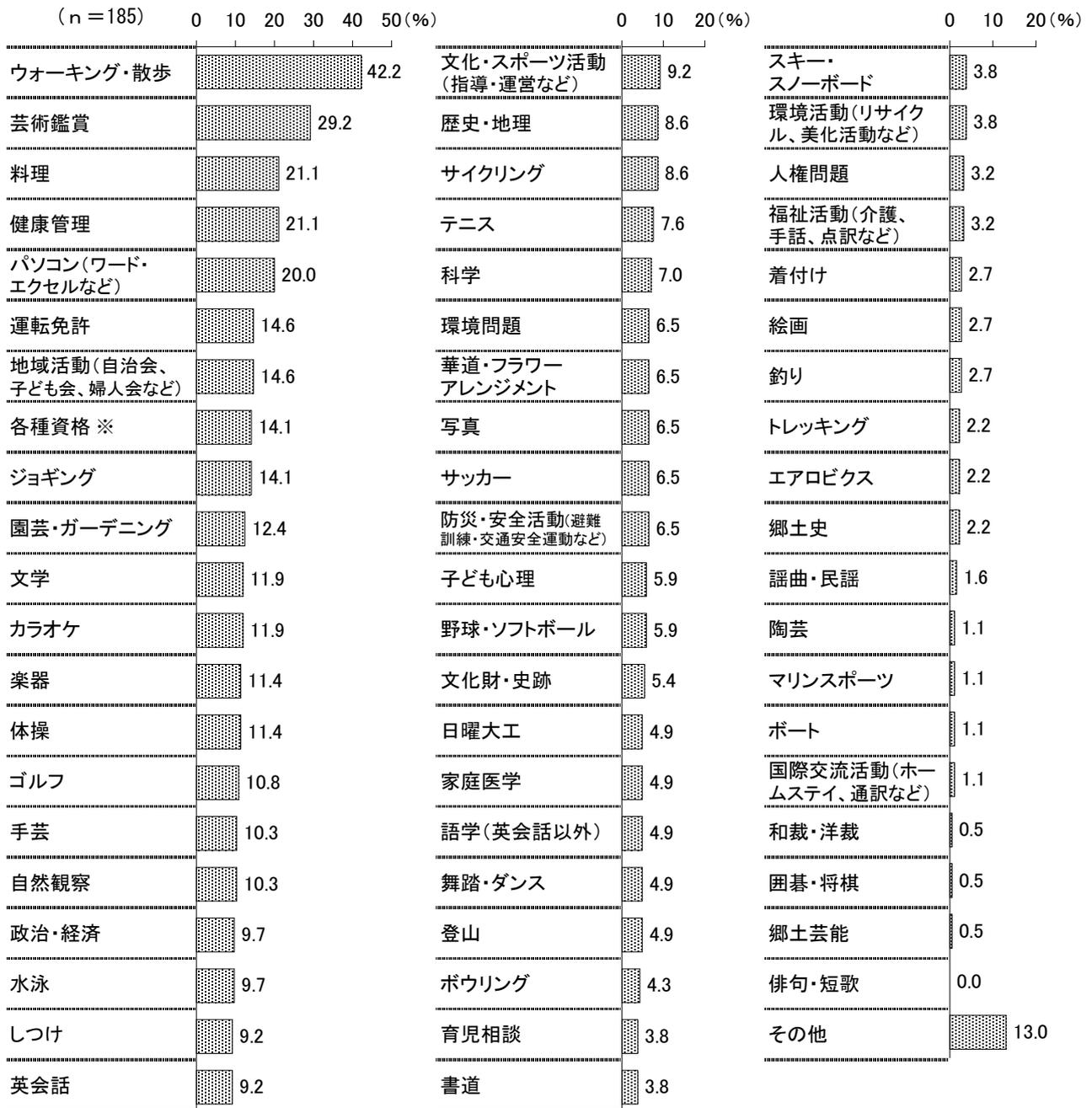


※平成22年度では回答個数を2つまでとしていた

「学習活動をしている」と答えた方に、その内容を聞いたところ、「体力づくり・スポーツ」が73.0%で最も高く、次いで「趣味に関すること」(50.3%)、「日常の暮らしに役立つもの」(45.9%)、「一般的な教養を高めるもの」と「職業上必要な知識および技能に関すること」(ともに41.1%)と続いている。

過去の調査結果と比較すると、「日常の暮らしに役立つもの」は平成27年度より14.8ポイント、「趣味に関すること」は平成27年度より14.0ポイント、「一般的な教養を高めるもの」は平成27年度より11.3ポイント、それぞれ増加している。

具体的な「学習活動」をみると、「ウォーキング・散歩」が42.2%で最も高く、次いで「芸術鑑賞」（29.2%）、「料理」と「健康管理」（ともに21.1%）と続いている。



※「各種資格」の回答内容は次のとおりである。

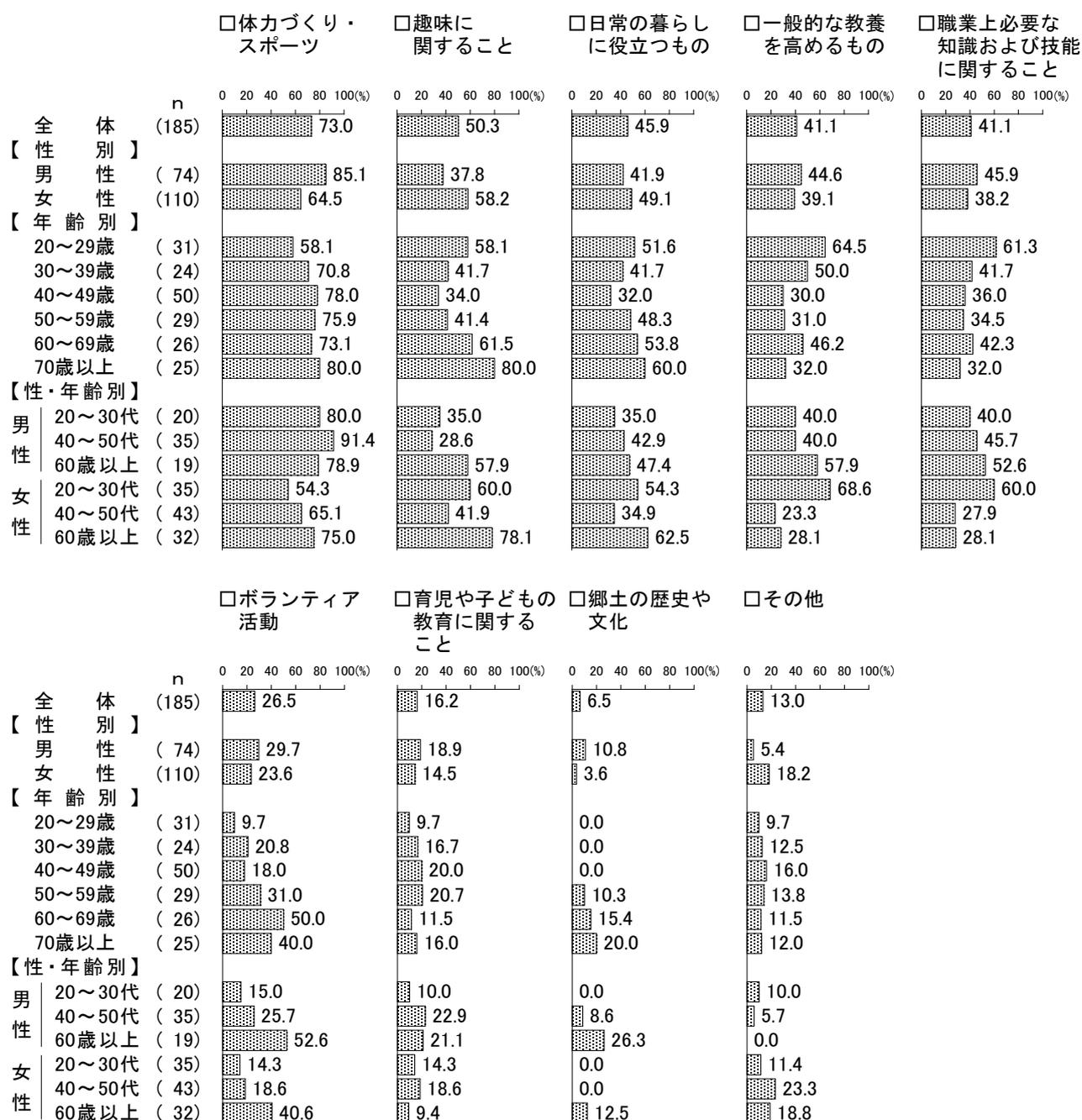
ファイナンシャル・プランナー・情報処理・ニュース検定・基本情報技術者試験・生涯学習支援実践講座・Cisco Certified Network Professional・救急救命士国家資格・薬剤師免許・電気工事士・保育士・幼稚園教諭・着付け・手芸・職業上必要な知識・宅地建物取引士・社会保険労務士・CFP・建築施工管理技士・陶磁器製造絵付け一級技能士・栄養士・公害防止管理者

<性別、年齢別、性・年齢別>

性別でみると、「体力づくり・スポーツ」は男性（85.1%）が女性（64.5%）より20.6ポイント高くなっている。一方、「趣味に関すること」は女性（58.2%）が男性（37.8%）より20.4ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「趣味に関すること」は70歳以上で80.0%と高くなっている。「一般的な教養を高めるもの」は20～29歳で64.5%と高くなっている。

性・年齢別でみると、「体力づくり・スポーツ」は男性40～50代で91.4%と高くなっている。「趣味に関すること」は女性60歳以上で78.1%と高くなっている。「一般的な教養を高めるもの」は女性20～30代で68.6%と高くなっている。



<性別、年齢別、性・年齢別>（具体的な「学習活動」の上位5位）

性別で見ると、男女ともに「ウォーキング・散歩」が第1位となっており、男性では「健康管理」、女性では「芸術鑑賞」が第2位となっている。

年齢別で見ると、全ての年齢で「ウォーキング・散歩」が第1位となっている。50～59歳と70歳以上では「健康管理」、それ以外では「芸術鑑賞」が第2位となっている。

性・年齢別で見ると、同率を含め女性20～30代と女性40～50代で「芸術鑑賞」が第1位となっており、それ以外では同率を含め「ウォーキング・散歩」が第1位となっている。

属性		順位	n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体			185	ウォーキング・散歩 (42.2)	芸術鑑賞 (29.2)	料理/健康管理 (21.1)		パソコン(ワード・エクセルなど) (20.0)
性 別	男 性		74	ウォーキング・散歩 (50.0)	健康管理 (28.4)	芸術鑑賞 (25.7)	パソコン(ワード・エクセルなど) (23.0)	運転免許/ジョギング (20.3)
	女 性		110	ウォーキング・散歩 (36.4)	芸術鑑賞 (31.8)	料理 (25.5)	パソコン(ワード・エクセルなど) (18.2)	手芸/健康管理 (16.4)
年 齢 別	20～29歳		31	ウォーキング・散歩 (38.7)	芸術鑑賞 (35.5)	料理 (32.3)	パソコン(ワード・エクセルなど)/ 各種資格/カラオケ (25.8)	
	30～39歳		24	ウォーキング・散歩 (37.5)	芸術鑑賞 (33.3)	料理/パソコン(ワード・エクセルなど) (25.0)		文学 (20.8)
	40～49歳		50	ウォーキング・散歩 (36.0)	芸術鑑賞 (22.0)	ジョギング/ゴルフ (20.0)		健康管理/しつけ/ 運転免許/園芸・ ガーデニング (16.0)
	50～59歳		29	ウォーキング・散歩 (44.8)	健康管理 (31.0)	芸術鑑賞 (27.6)	料理/パソコン(ワード・エクセルなど)/ 運転免許 (20.7)	
	60～69歳		26	ウォーキング・散歩 (46.2)	芸術鑑賞 (42.3)	地域活動(自治会、子ども会、 婦人会など) (34.6)	料理/園芸・ガーデニング/体操 (23.1)	
	70歳以上		25	ウォーキング・散歩 (56.0)	健康管理 (32.0)	パソコン(ワード・エクセルなど)/ 体操 (24.0)		同率で5項目 (注)下記参照 (20.0)
性・年 齢 別	男性20～30代		20	ウォーキング・散歩 (35.0)	サッカー (25.0)	料理/健康管理/各種資格/ カラオケ/ジョギング (20.0)		
	40～50代		35	ウォーキング・散歩 (57.1)	健康管理 (31.4)	芸術鑑賞 (25.7)	パソコン(ワード・エクセルなど)/ 運転免許/ジョギング/ゴルフ (22.9)	
	60歳以上		19	ウォーキング・散歩 (52.6)	芸術鑑賞 (42.1)	健康管理/パソコン(ワード・エクセルなど)/自然観察/ 地域活動(自治会、子ども会、婦人会など) (31.6)		
	女性20～30代		35	芸術鑑賞 (48.6)	ウォーキング・散歩 (40.0)	料理 (34.3)	パソコン(ワード・エクセルなど) (31.4)	文学 (28.6)
	40～50代		43	芸術鑑賞/ ウォーキング・散歩 (23.3)		料理/手芸/ジョギング/ゴルフ/テニス (16.3)		
	60歳以上		32	ウォーキング・散歩 (50.0)	体操 (31.3)	料理 (28.1)	芸術鑑賞/手芸/華道・フラワー アレンジメント/地域活動(自治会、 子ども会、婦人会など) (25.0)	

※表中で、活動名ごとにスラッシュ（/）で区切り、まとめているものは、同率で複数の回答があるもの

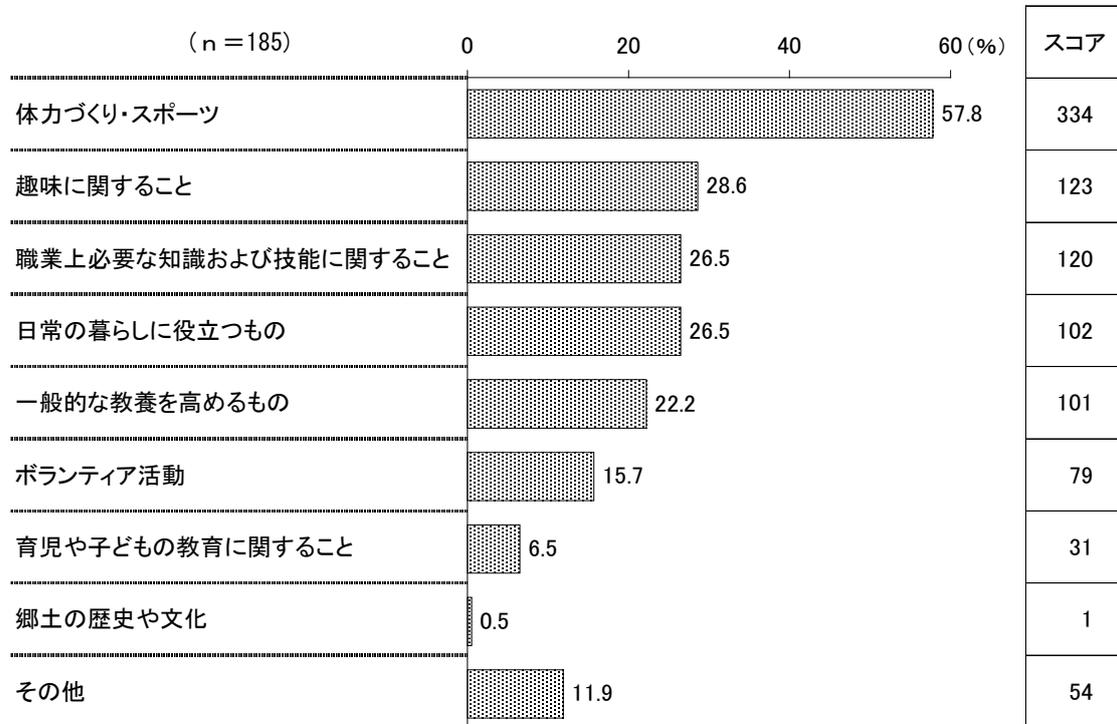
(注)「70歳以上」の同率5位の5項目は、下記の通り。

「芸術鑑賞/手芸/華道・フラワーアレンジメント/カラオケ/地域活動(自治会、子ども会、婦人会など)」

(4) 特に力を入れた「学習活動」

◇「体力づくり・スポーツ」が57.8%、スコアでも334点でトップ

問6-1 (2) (1) で○印をつけた活動（学習活動）のうち、特に力を入れた活動について、順に3つまで、番号でお答えください。



※スコアは、順位付けの回答結果に1位=3点、2位=2点、3位=1点を与えて集計したもの。

特に力を入れた「学習活動」の順位付け回答について、1位から3位の累計では「体力づくり・スポーツ」が57.8%で最も高く、次いで「趣味に関すること」(28.6%)、「職業上必要な知識および技能に関すること」と「日常の暮らしに役立つもの」(ともに26.5%)と続いている。

また、1位に3点、2位に2点、3位に1点を与えて集計したスコアで見ると、「体力づくり・スポーツ」が334点で最も高く、次いで「趣味に関すること」(123点)、「職業上必要な知識および技能に関すること」(120点)、「日常の暮らしに役立つもの」(102点)と続いている。

＜具体的な「学習活動」の上位10位（スコア）＞

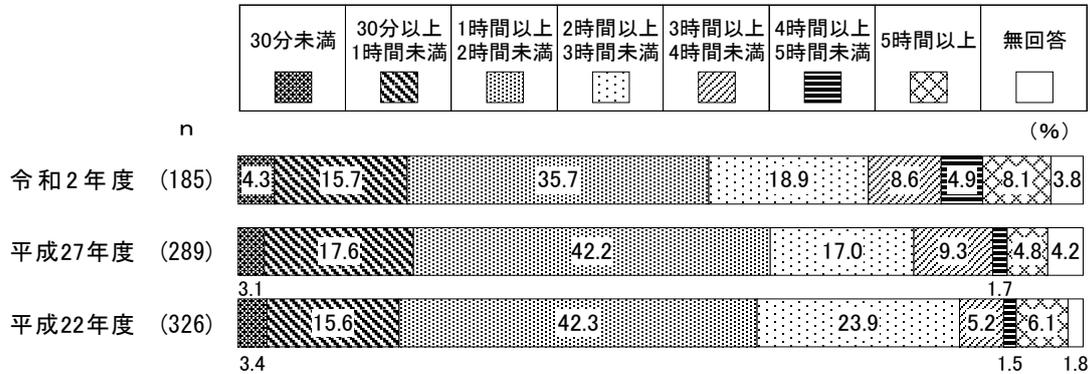
具体的な「学習活動」のスコアをみると、「ウォーキング・散歩」が88点で最も高く、次いで「芸術鑑賞」（45点）、「料理」（42点）、「ゴルフ」（39点）と続いている。

順位	分野	具体的な学習活動	スコア
第1位	スポーツ	ウォーキング・散歩	88
第2位	一般的教養	芸術鑑賞	45
第3位	暮らし	料理	42
第4位	スポーツ	ゴルフ	39
第5位	職業上の知識・技能	各種資格	37
第6位	ボランティア	地域活動(自治会、子ども会、婦人会など)	34
第7位	暮らし	健康管理	32
	趣味	楽器	
第9位	職業上の知識・技能	パソコン（ワード・エクセルなど）	30
第10位	スポーツ	体操	29

(5) 特に力を入れた「学習活動」の1回あたりの時間

◇「1時間以上2時間未満」が35.7%

問6-1 (3) (2) で一番力を入れて取り組んだ活動において、1回あたりの活動時間はどれくらいですか。(1つだけに○印)



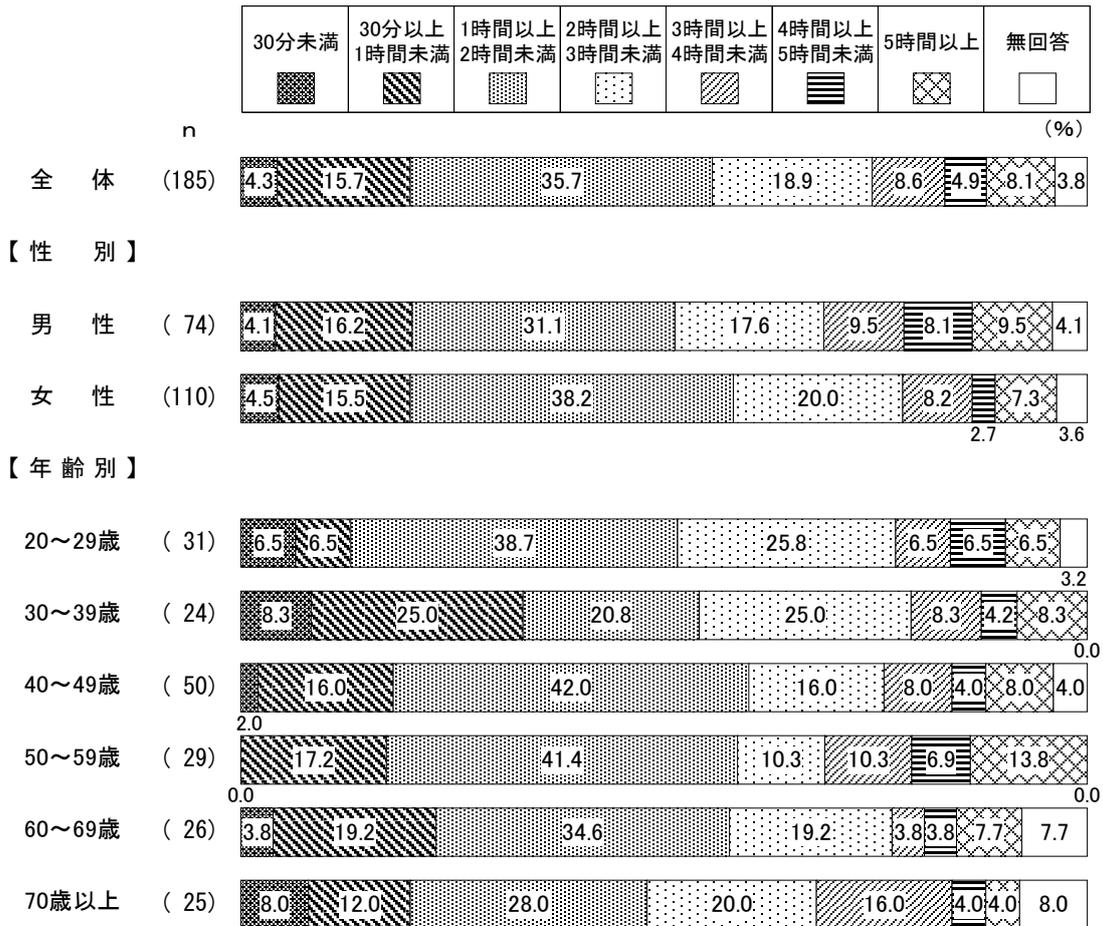
特に力を入れた「学習活動」の1回あたりの時間を聞いたところ、「1時間以上2時間未満」が35.7%で最も高く、次いで「2時間以上3時間未満」(18.9%)、「30分以上1時間未満」(15.7%)、「3時間以上4時間未満」(8.6%)と続いている。

過去の調査結果と比較すると、「1時間以上2時間未満」は平成27年度より6.5ポイント減少している。一方、3時間以上の長時間活動する人の割合が増加傾向にある。

<性別、年齢別>

性別で見ると、「1時間以上2時間未満」は女性（38.2%）が男性（31.1%）より7.1ポイント高くなっている。一方、「4時間以上5時間未満」は男性（8.1%）が女性（2.7%）より5.4ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、「30分以上1時間未満」は30～39歳で25.0%と高くなっている。「1時間以上2時間未満」は40～49歳で42.0%、50～59歳で41.4%と高くなっている。「2時間以上3時間未満」は20～29歳で25.8%、30～39歳で25.0%、「5時間以上」は50～59歳で13.8%と高くなっている。

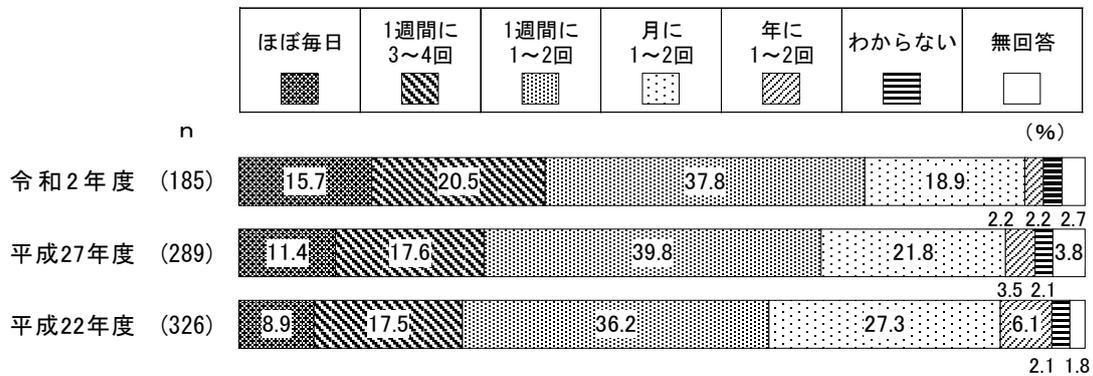


(6) 「学習活動」の頻度

◇ 「1週間に1～2回」が37.8%

【問6で、「活動をしている」と答えた方にお聞きします】

問6-2 ここ1年間で（複数の活動も含めて）どのくらい活動をしましたか。（1つだけに○印）



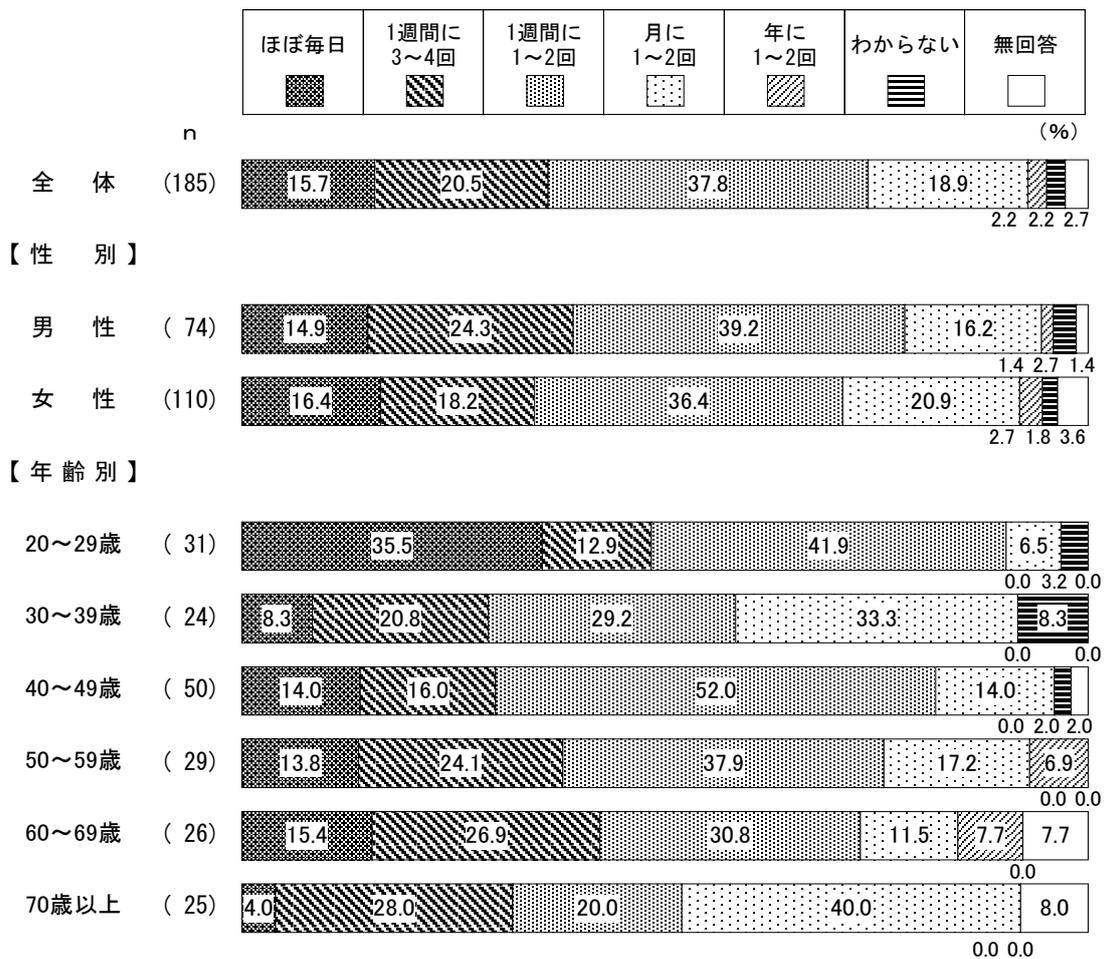
「学習活動をしている」と答えた方に、「学習活動」の頻度を聞いたところ、「1週間に1～2回」が37.8%で最も高く、次いで「1週間に3～4回」(20.5%)、「月に1～2回」(18.9%)、「ほぼ毎日」(15.7%)と続いている。

過去の調査結果と比較すると、「ほぼ毎日」は平成22年度以降増加傾向にあり、平成27年度より4.3ポイント増加している。

<性別、年齢別>

性別で見ると、「1週間に3～4回」は男性（24.3%）が女性（18.2%）より6.1ポイント高くなっている。一方、「月に1～2回」は女性（20.9%）が男性（16.2%）より4.7ポイント高くなっている。過去の調査結果と比較すると、「ほぼ毎日」は女性で平成27年度（8.0%）より8.4ポイント増加している。

年齢別で見ると、「ほぼ毎日」は20～29歳で35.5%と高くなっている。過去の調査結果と比較すると、「ほぼ毎日」は20～29歳で平成27年度（19.4%）より16.1ポイント大幅に増加している。「1週間に1～2回」は40～49歳で52.0%、20～29歳で41.9%と高くなっている。「月に1～2回」は70歳以上で40.0%、30～39歳で33.3%と高くなっている。

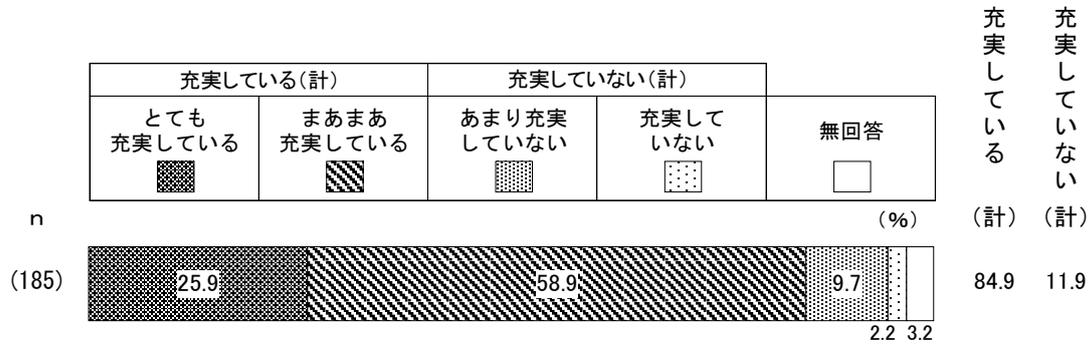


(7) 現在の「学習活動」の充実度

◇『充実している（計）』が84.9%

【問6で、「活動をしている」と答えた方にお聞きします】

問6-3 あなたの現在の活動（学習）の充実度はどの程度ですか。（1つだけに○印）

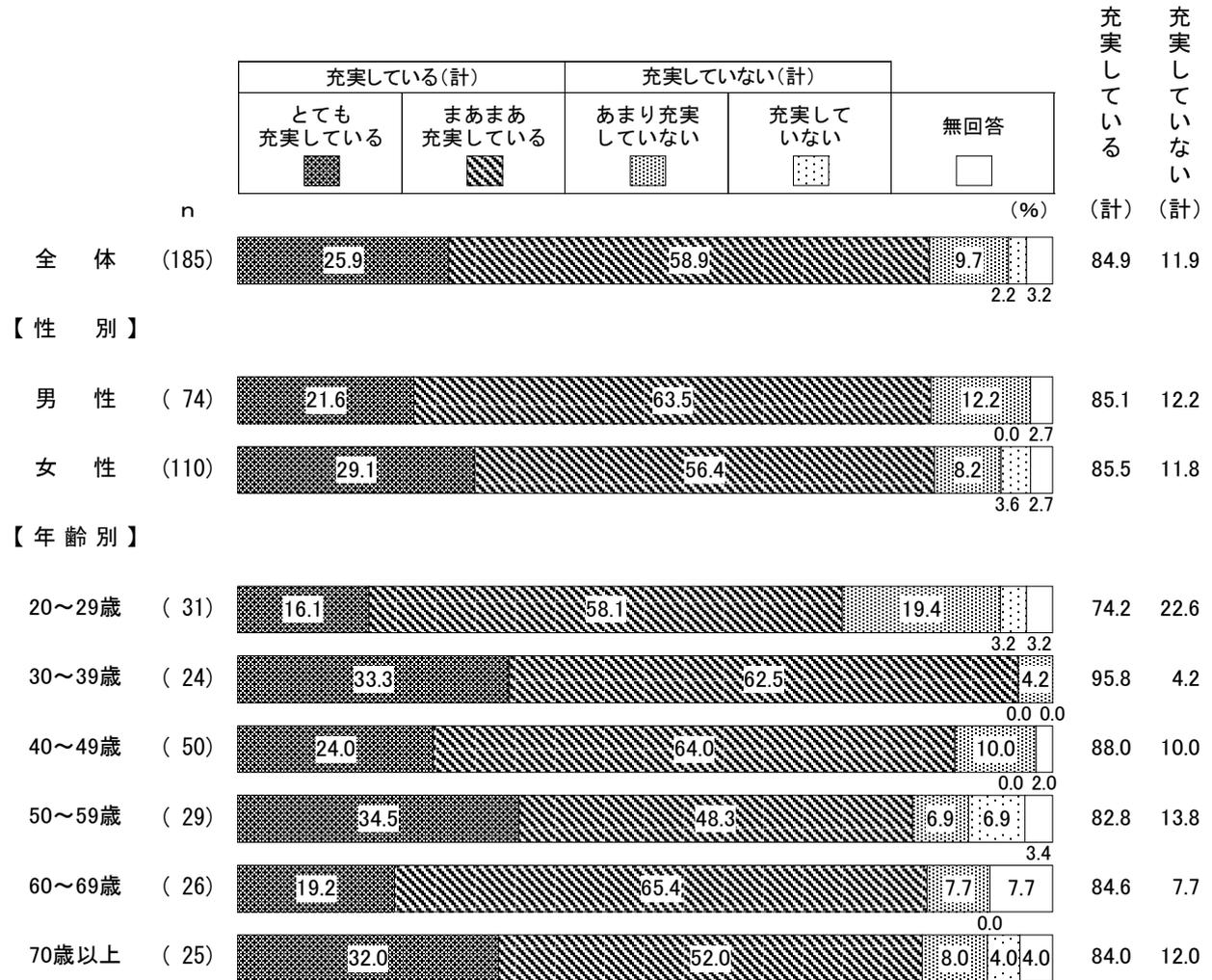


「学習活動をしている」と答えた方に、現在の「学習活動」の充実度を聞いたところ、「とても充実している」と「まあまあ充実している」を合わせた『充実している（計）』は84.9%となっている。一方、「あまり充実していない」と「充実していない」を合わせた『充実していない（計）』は11.9%となっている。

<性別、年齢別>

性別でみると、大きな違いはみられない。

年齢別でみると、『充実している（計）』は30～39歳で95.8%と高くなっている。一方、『充実していない（計）』は20～29歳で22.6%と高くなっている。

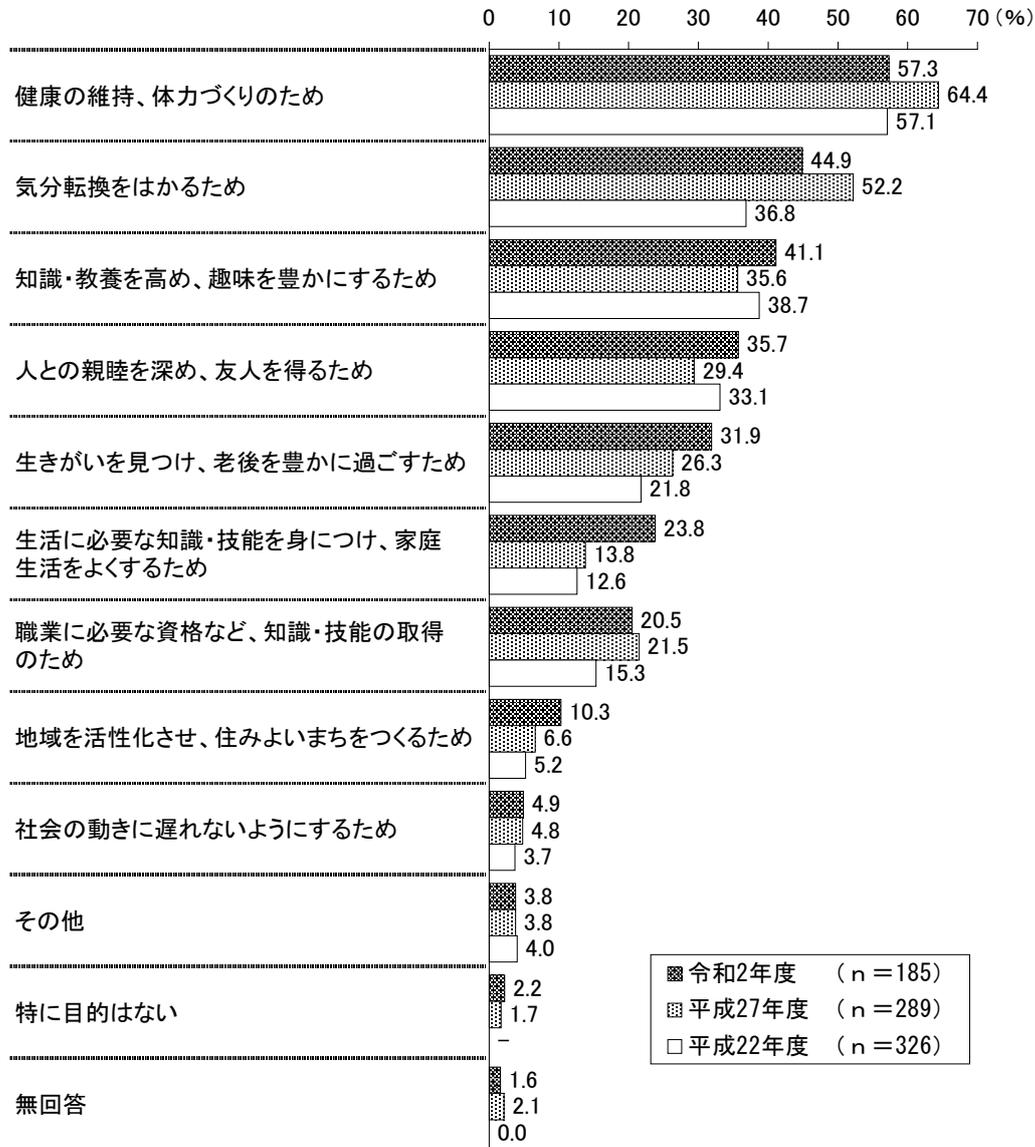


(8) 「学習活動」の目的

◇「健康の維持、体力づくりのため」が57.3%

【問6で、「活動をしている」と答えた方にお聞きします】

問6-4 あなたが学習活動をした主な目的は何ですか。(いくつでも○印)



※「特に目的はない」は平成27年度から追加された選択肢
 ※平成22年度では回答個数を3つまでとしていた

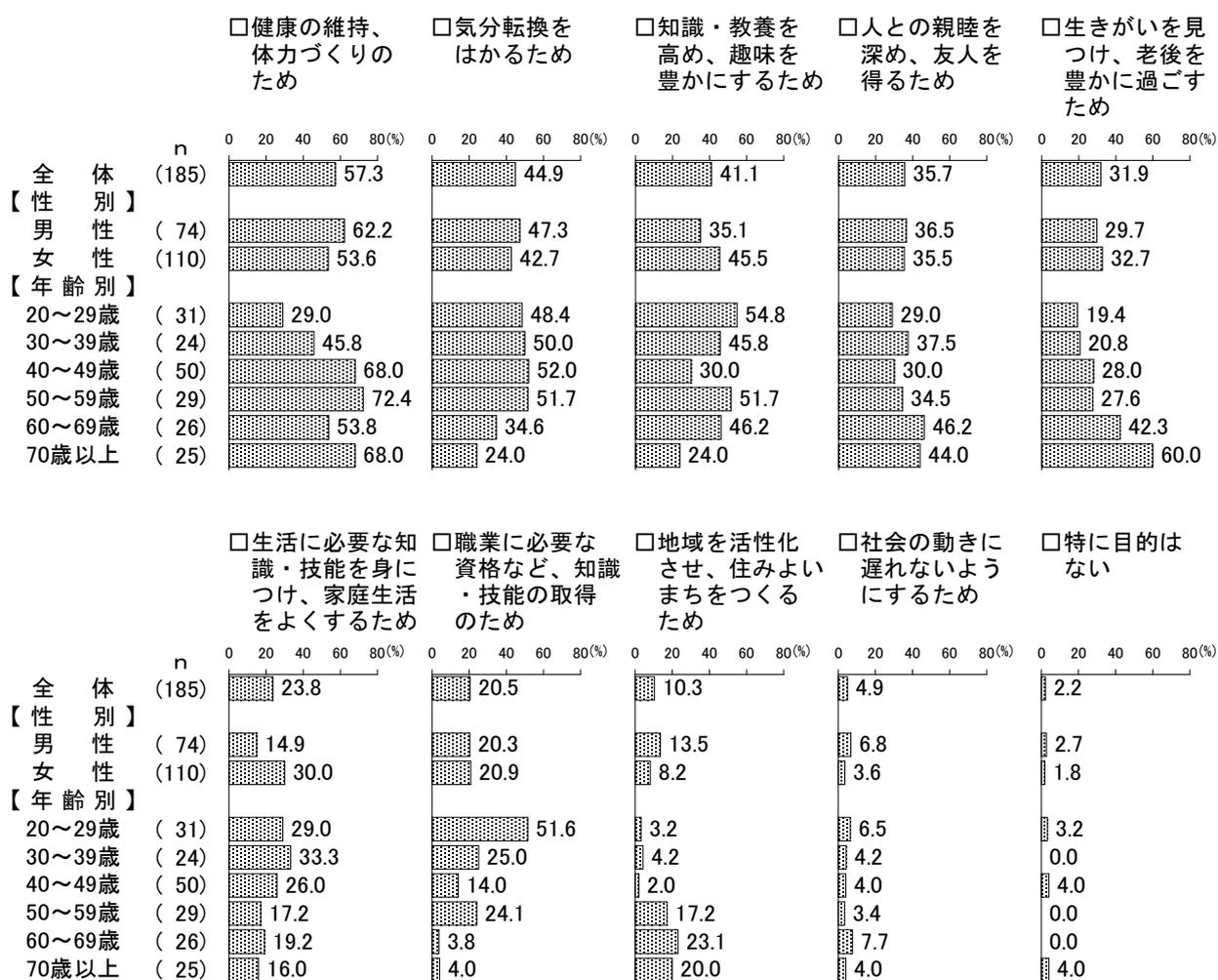
「学習活動をしている」と答えた方に、「学習活動」の目的を聞いたところ、「健康の維持、体力づくりのため」が57.3%で最も高く、次いで「気分転換をはかるため」(44.9%)、「知識・教養を高め、趣味を豊かにするため」(41.1%)、「人との親睦を深め、友人を得るため」(35.7%)と続いている。

過去の調査結果と比較すると、「気分転換をはかるため」は平成27年度より7.3ポイント、「健康の維持、体力づくりのため」は平成27年度より7.1ポイント、それぞれ減少しているが、一方で上位3位以下の項目の割合が増加しており、目的が多様化しているといえる。なお、「生活に必要な知識・技能を身につけ、家庭生活をよくするため」は平成27年度より10.0ポイント増加している。

<性別、年齢別>

性別で見ると、「生活に必要な知識・技能を身につけ、家庭生活をよくするため」は女性（30.0%）が男性（14.9%）より15.1ポイント、「知識・教養を高め、趣味を豊かにするため」は女性（45.5%）が男性（35.1%）より10.4ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「健康の維持、体力づくりのため」は男性（62.2%）が女性（53.6%）より8.6ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、「健康の維持、体力づくりのため」は50～59歳で72.4%と高くなっている。「知識・教養を高め、趣味を豊かにするため」は20～29歳で54.8%と高くなっている。「生きがいを見つけ、老後を豊かに過ごすため」は70歳以上で60.0%と高くなっている。

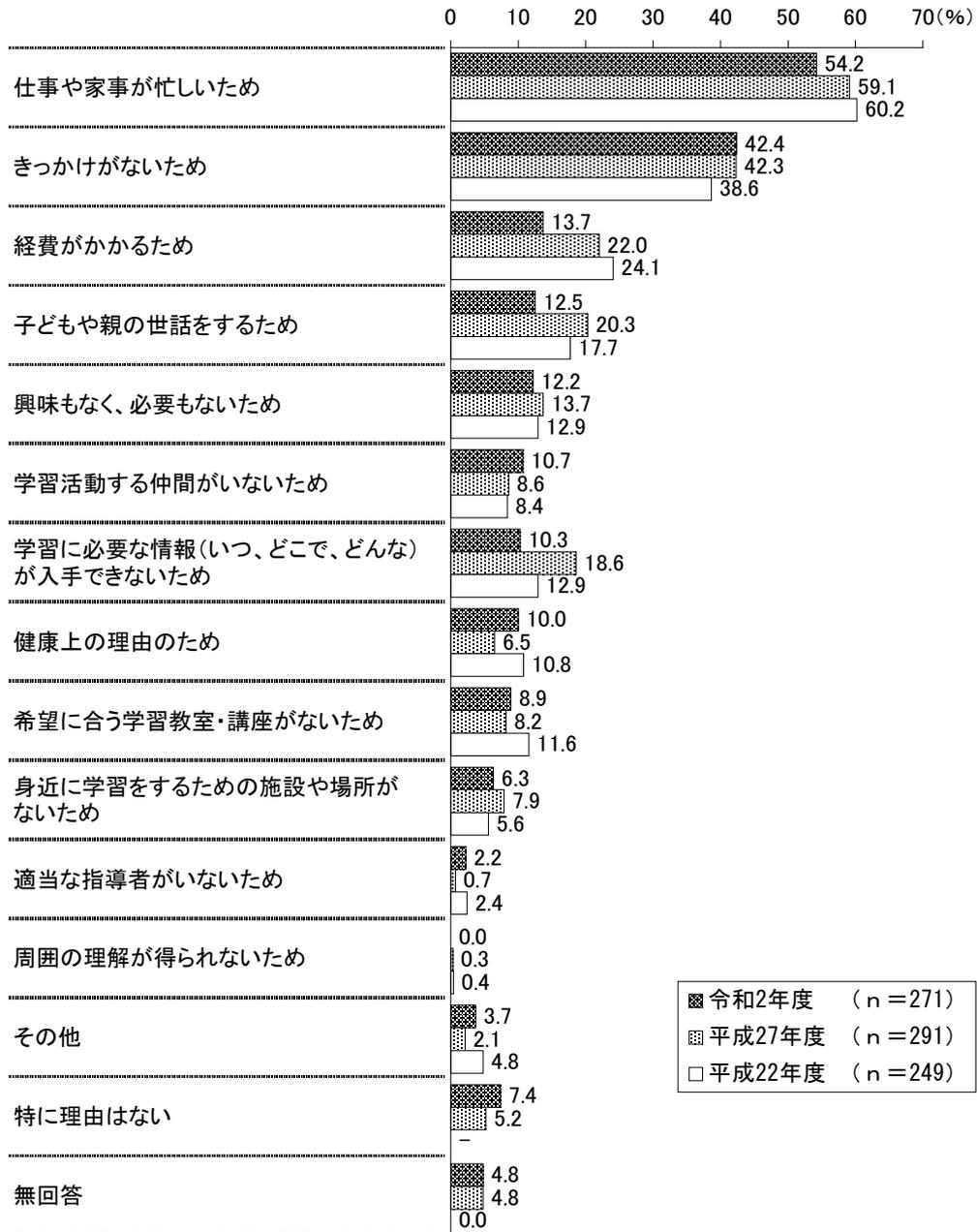


(9) 「学習活動」をしなかった理由

◇ 「仕事や家事が忙しいため」が54.2%、「きっかけがないため」が42.4%

【問6で、「活動をしていない」と答えた方にお聞きします】

問7 あなたが学習活動をしなかった理由は何ですか。（いくつでも○印）



※「特に理由はない」は平成27年度から追加された選択肢

※平成22年度では回答個数を3つまでとしていた

「学習活動をしていない」と答えた方に、その理由を聞いたところ、「仕事や家事が忙しいため」が54.2%で最も高く、次いで「きっかけがないため」(42.4%)、「経費がかかるため」(13.7%)、「子どもや親の世話をするため」(12.5%)と続いている。

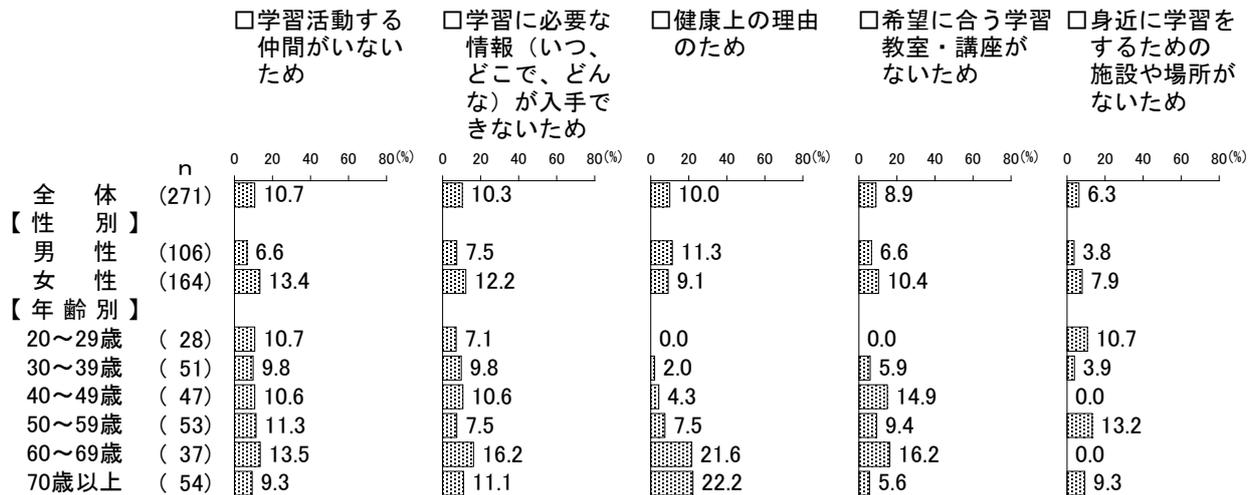
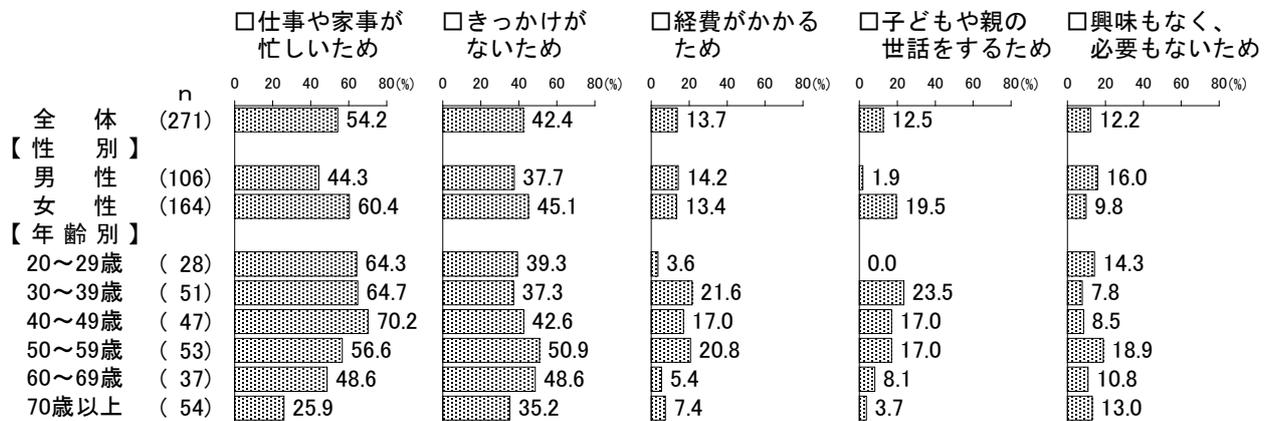
過去の調査結果と比較すると、「経費がかかるため」は平成27年度より8.3ポイント、「学習に必要な情報(いつ、どこで、どんな)が入手できないため」は平成27年度より8.3ポイント、それぞれ減少している。

<性別、年齢別>（上位10項目）

性別で見ると、「子どもや親の世話をするため」は女性（19.5%）が男性（1.9%）より17.6ポイント、「仕事や家事が忙しいため」は女性（60.4%）が男性（44.3%）より16.1ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「興味もなく、必要もないため」は男性（16.0%）が女性（9.8%）より6.2ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、「仕事や家事が忙しいため」は40～49歳で70.2%と高くなっている。「きっかけがないため」は50～59歳で50.9%と高くなっている。「経費がかかるため」は30～39歳で21.6%、50～59歳で20.8%、40～49歳で17.0%と高くなっている。「子どもや親の世話をするため」は30～39歳で23.5%、40～49歳で17.0%、50～59歳で17.0%と高くなっている。「健康上の理由のため」は70歳以上で22.2%、60～69歳で21.6%と高くなっている。

回答率自体は低い「経費がかかるため」は30～39歳及び50～59歳、「子どもや親の世話をするため」は30～39歳、「健康上の理由のため」は60～69歳及び70歳以上でそれぞれ比較的高めである。



3 市民の生涯学習の意向

〔結果と課題（概要）〕

◇今後の学習方法の希望

インターネットをはじめとした、場所を選ばず個人で学習できる形式へのニーズの高まりが読み取れる。また、市の公共施設を利用しての学習のニーズは減少傾向にある。しかしながら、世代ごとに希望する媒体は様々であることから、特定の媒体に偏るのではなく、学習機会を多様な媒体に変換しながら展開していく必要がある。

◇生涯学習事業の情報に接しやすいと思う媒体

「広報『戸田市』」(67.2%)が最も多く、「戸田市ホームページ」(39.2%)と続いている。Twitter(15.8%)は20～29歳で半数以上を占めている。

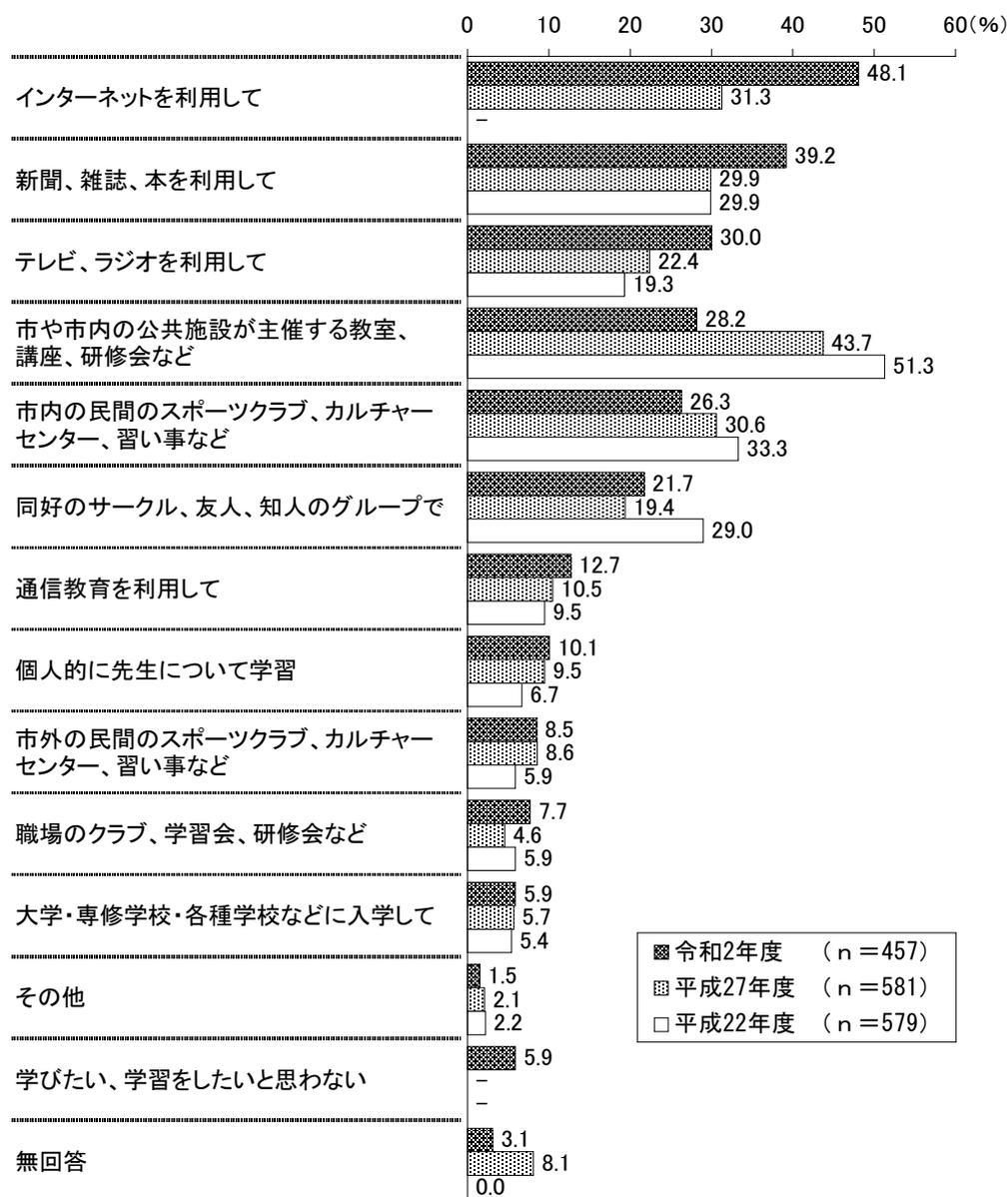
◇新たに始めたい学習活動

- ・新たに始めたい学習活動があると回答した人は半数以上。特に20～50代の女性が多い。その内容については、特定の分野に偏ることなく、「趣味に関すること」、「体力づくり・スポーツ」、「職業上必要な知識および技能に関すること」など様々であることから、多様な学習活動の機会を提供できるよう工夫することの必要性が改めて明らかとなった。なお、「職業上必要な知識および技能に関すること」は20～30代が多い。
- ・個別の活動内容を見ると、「料理」(28.6%)が最も多く、「英会話」(26.7%)、「パソコン」(25.6%)、「ウォーキング・散歩」(24.8%)と続いている。

(1) 今後の学習方法の希望

◇「インターネットを利用して」が48.1%

問8 あなたは、どのような方法で学んだり、学習をしたいと思いますか。（いくつでも○印）



※「インターネットを利用して」は平成27年度から追加された選択肢
 ※「学びたい、学習をしたいと思います」は令和2年度から追加された選択肢
 ※平成22年度では回答個数を3つまでとしていた

今後の学習方法の希望を聞いたところ、「インターネットを利用して」が48.1%で最も高く、次いで「新聞、雑誌、本を利用して」(39.2%)、「テレビ、ラジオを利用して」(30.0%)、「市や市内の公共施設が主催する教室、講座、研修会など」(28.2%)と続いている。

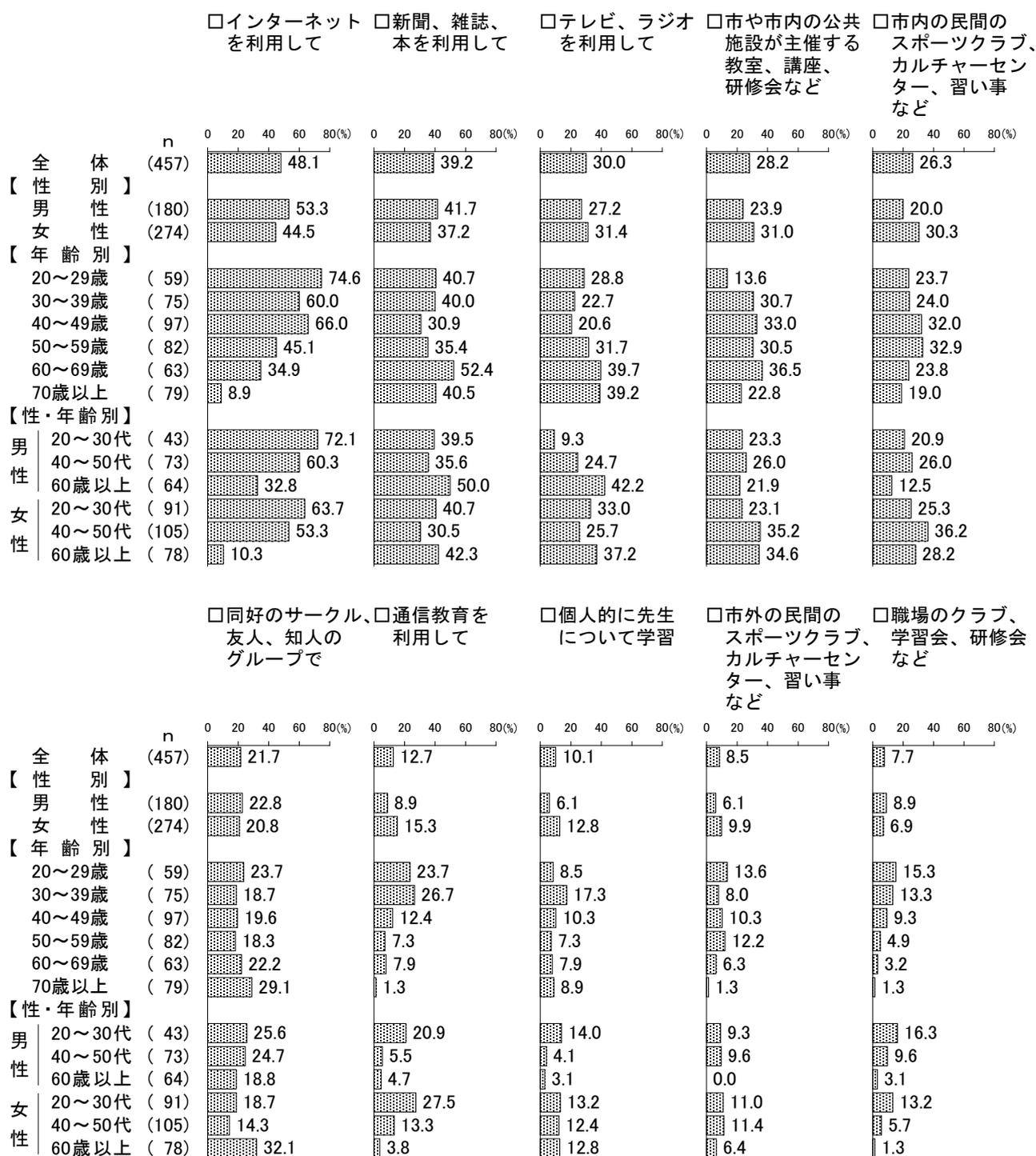
過去の調査結果と比較すると、「新聞、雑誌、本を利用して」は平成27年度より9.3ポイント増加している。一方、「市や市内の公共施設が主催する教室、講座、研修会など」は平成27年度より15.5ポイント減少している。

＜性別、年齢別、性・年齢別＞（上位10項目）

性別でみると、「市内の民間のスポーツクラブ、カルチャーセンター、習い事など」は女性（30.3%）が男性（20.0%）より10.3ポイント高くなっている。一方、「インターネットを利用して」は男性（53.3%）が女性（44.5%）より8.8ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「インターネットを利用して」は20～29歳で74.6%と高くなっている。「新聞、雑誌、本を利用して」は60～69歳で52.4%と高くなっている。

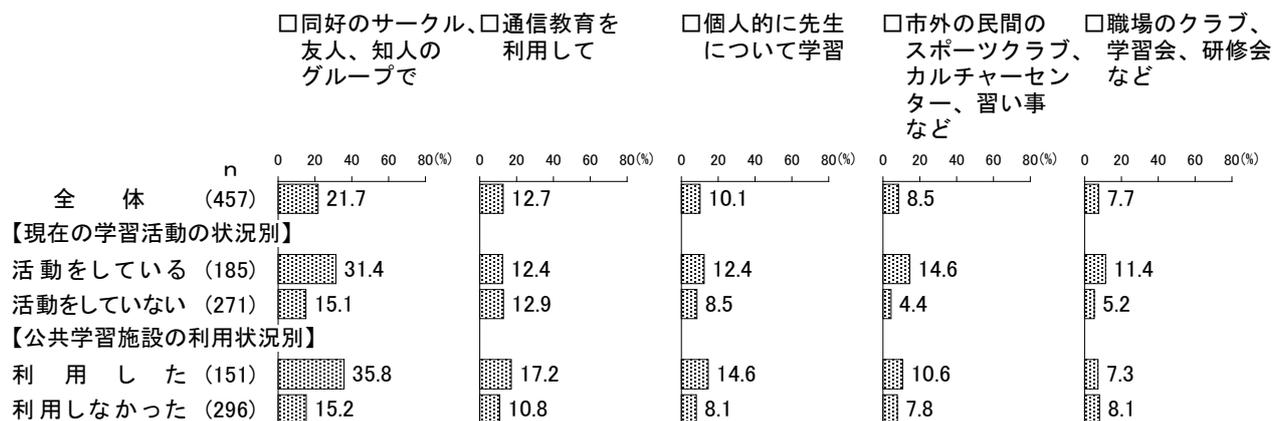
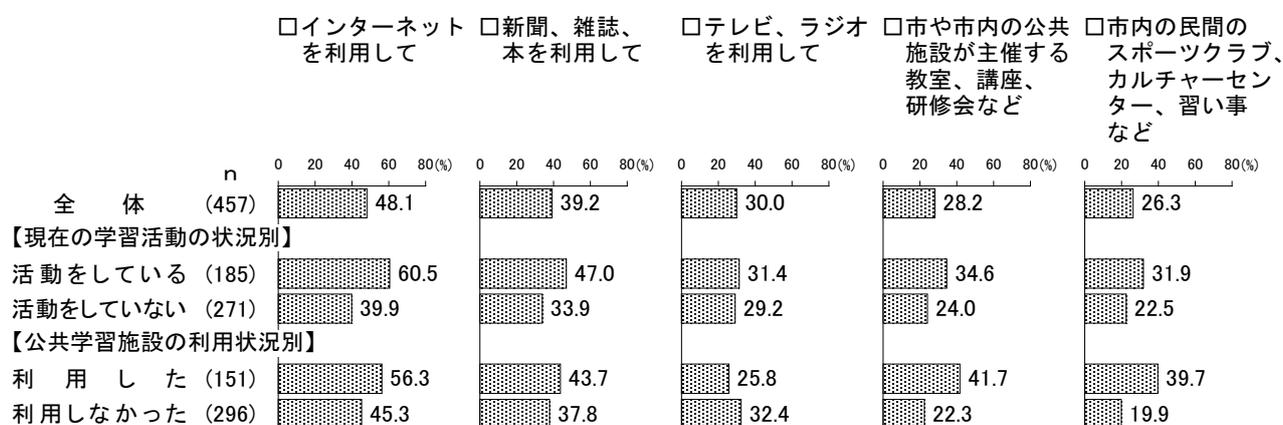
性・年齢別でみると、「インターネットを利用して」は男性20～30代で72.1%と高くなっている。「新聞、雑誌、本を利用して」は男性60歳以上で50.0%と高くなっている。



＜現在の学習活動の状況別、公共学習施設の利用状況別＞（上位10項目）

現在の学習活動の状況別でみると、「インターネットを利用して」は現在学習活動をしている人（60.5%）が活動をしていない人（39.9%）より20.6ポイント、「同好のサークル、友人、知人のグループで」は現在学習活動をしている人（31.4%）が活動をしていない人（15.1%）より16.3ポイント、それぞれ高くなっている。

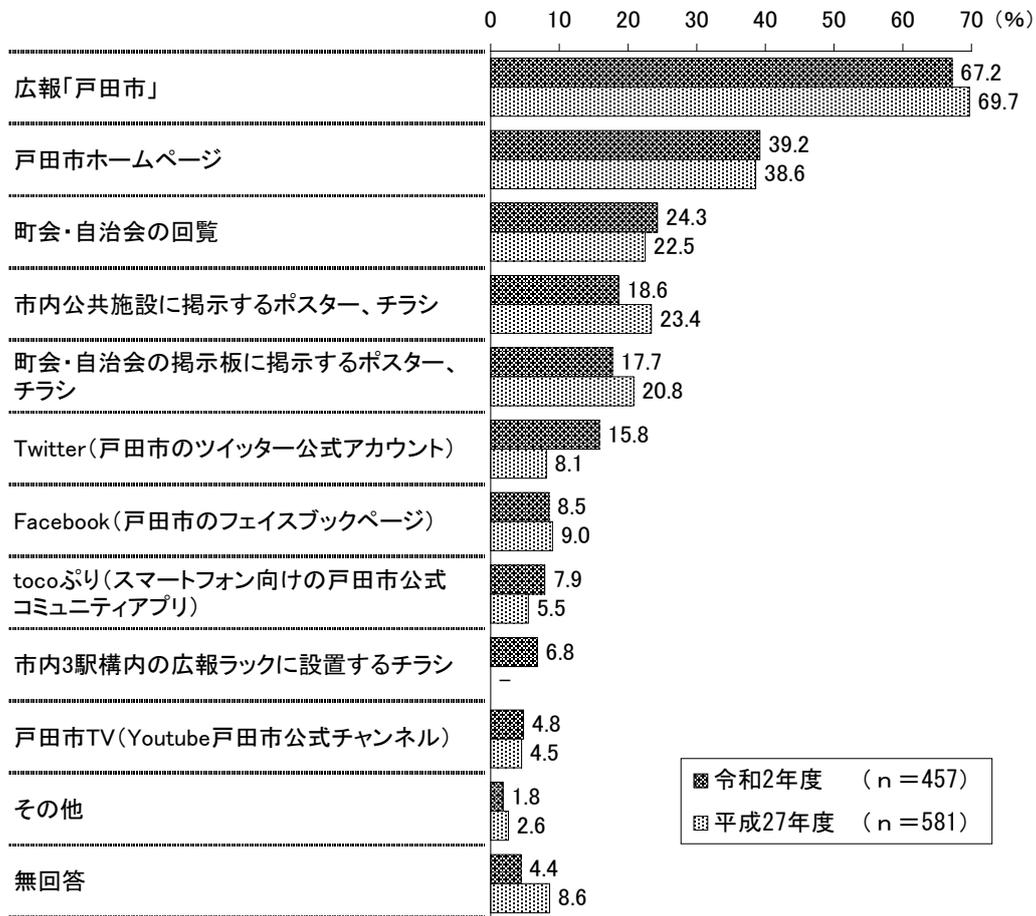
公共学習施設の利用状況別でみると、「同好のサークル、友人、知人のグループで」は公共学習施設を利用した人（35.8%）が利用しなかった人（15.2%）より20.6ポイント、「市内の民間のスポーツクラブ、カルチャーセンター、習い事など」は公共学習施設を利用した人（39.7%）が利用しなかった人（19.9%）より19.8ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「テレビ、ラジオを利用して」は公共学習施設を利用しなかった人（32.4%）が利用した人（25.8%）より6.6ポイント高くなっている。



(2) 「市民向け生涯学習事業」の情報に接しやすいと思う発信媒体

◇「広報『戸田市』」が67.2%、市ホームページが39.2%、Twitterは15.8%（20～29歳では55.9%）

問9 あなたにとって、講座をはじめとする市民向け生涯学習事業に関する情報は、どんな媒体を通じて発信されると、接しやすいと思いますか。（いくつでも○印）



※「市内3駅構内の広報ラックに設置するチラシ」は令和2年度から追加された選択肢

「市民向け生涯学習事業」の情報に接しやすいと思う発信媒体を聞いたところ、「広報『戸田市』」が67.2%で最も高く、次いで「戸田市ホームページ」(39.2%)、「町会・自治会の回覧」(24.3%)、「市内公共施設に掲示するポスター、チラシ」(18.6%)と続いている。

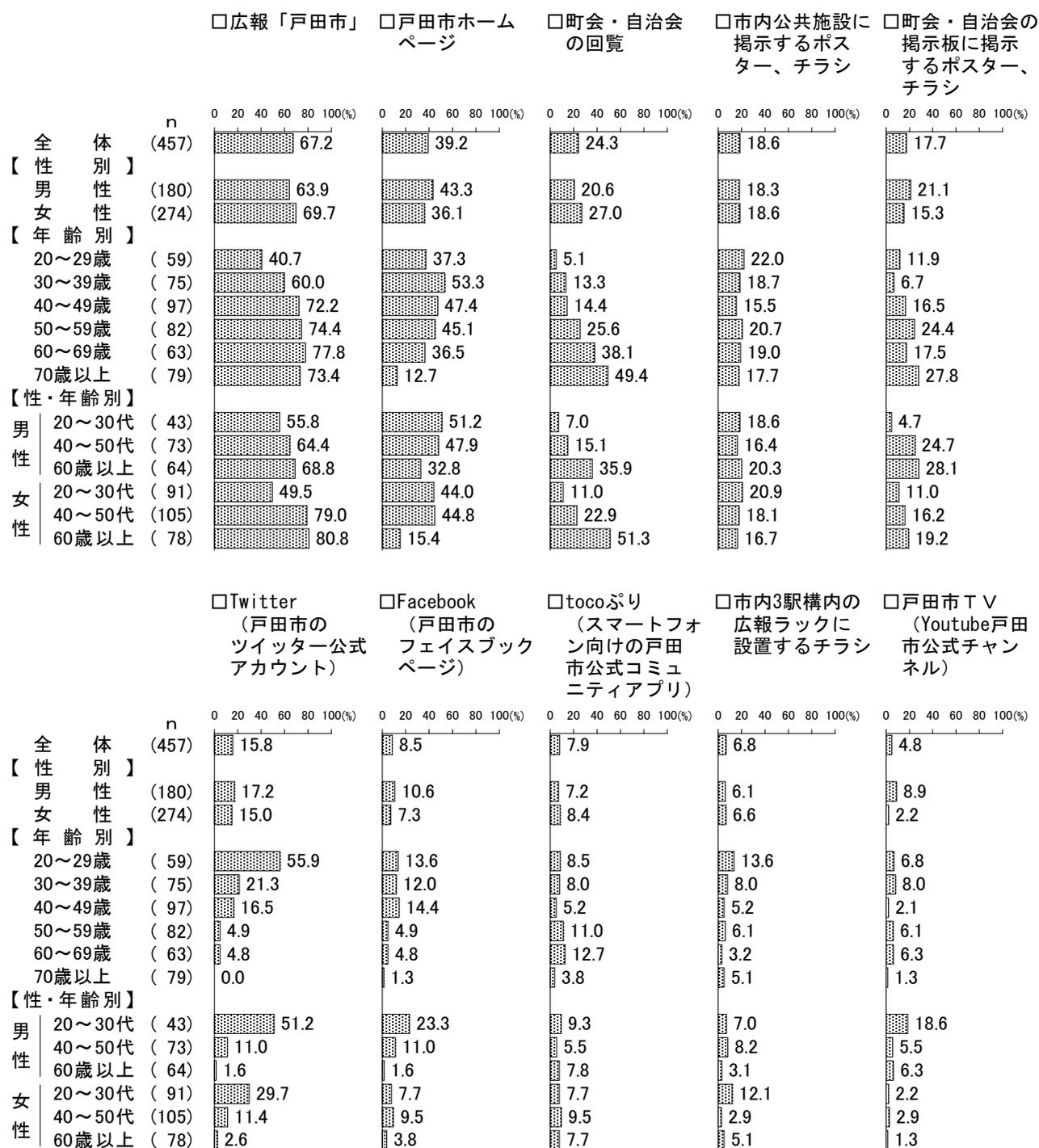
過去の調査結果と比較すると、「Twitter(戸田市のツイッター公式アカウント)」は平成27年度より7.7ポイント増加している。一方、「市内公共施設に掲示するポスター、チラシ」は平成27年度より4.8ポイント減少している。

＜性別、年齢別、性・年齢別＞

性別で見ると、「戸田市ホームページ」は男性（43.3%）が女性（36.1%）より7.2ポイント高くなっている。一方、「町会・自治会の回覧」は女性（27.0%）が男性（20.6%）より6.4ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、「広報『戸田市』」と「町会・自治会の回覧」はおおむね年齢が上がるにつれて高くなっている。「Twitter（戸田市のツイッター公式アカウント）」は年齢が下がるにつれて高くなっており、20～29歳で55.9%となっている。

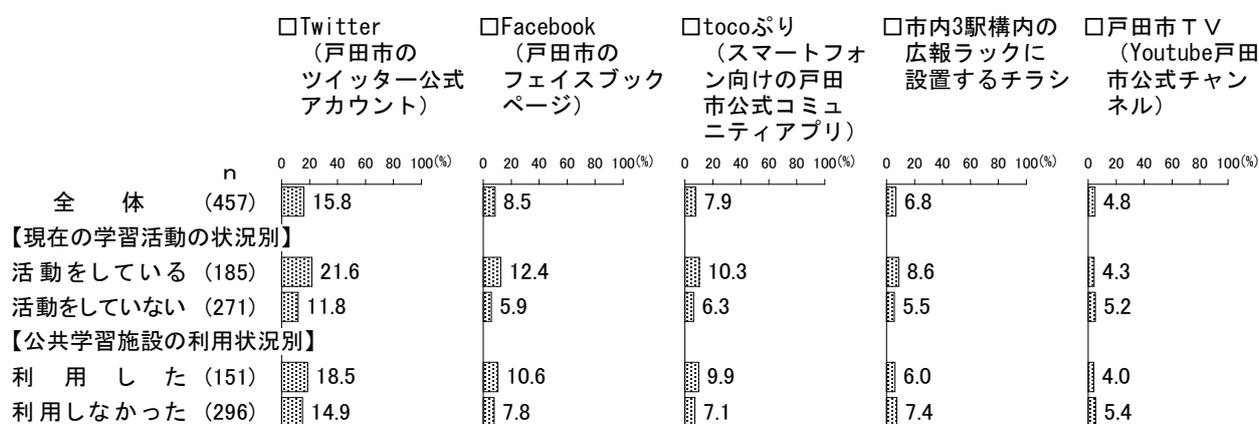
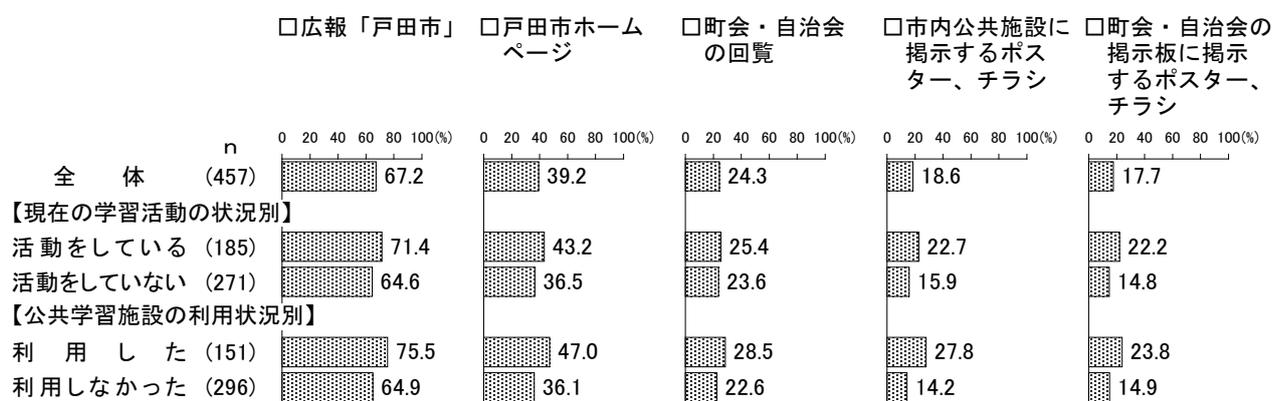
性・年齢別で見ると、「広報『戸田市』」は女性60歳以上で80.8%、女性40～50代で79.0%と高くなっている。「町会・自治会の回覧」は女性60歳以上で51.3%と高くなっている。



＜現在の学習活動の状況別、公共学習施設の利用状況別＞

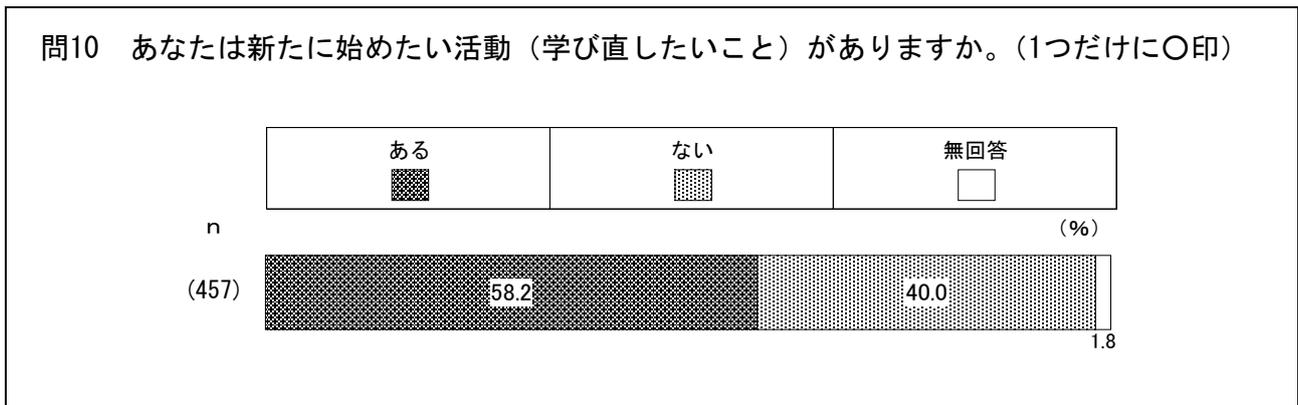
現在の学習活動の状況別でみると、「Twitter（戸田市のツイッター公式アカウント）」は現在学習活動をしている人（21.6%）が活動をしていない人（11.8%）より9.8ポイント、「町会・自治会の掲示板に掲示するポスター、チラシ」は現在学習活動をしている人（22.2%）が活動をしていない人（14.8%）より7.4ポイント、それぞれ高くなっている。

公共学習施設の利用状況別でみると、「市内公共施設に掲示するポスター、チラシ」は公共学習施設を利用した人（27.8%）が利用しなかった人（14.2%）より13.6ポイント、「戸田市ホームページ」は公共学習施設を利用した人（47.0%）が利用しなかった人（36.1%）より10.9ポイント、それぞれ高くなっている。



(3) 新たに始めたい「学習活動」の有無

◇「ある」が58.2%



新たに始めたい「学習活動」の有無を聞いたところ、「ある」が58.2%、「ない」は40.0%となっている。

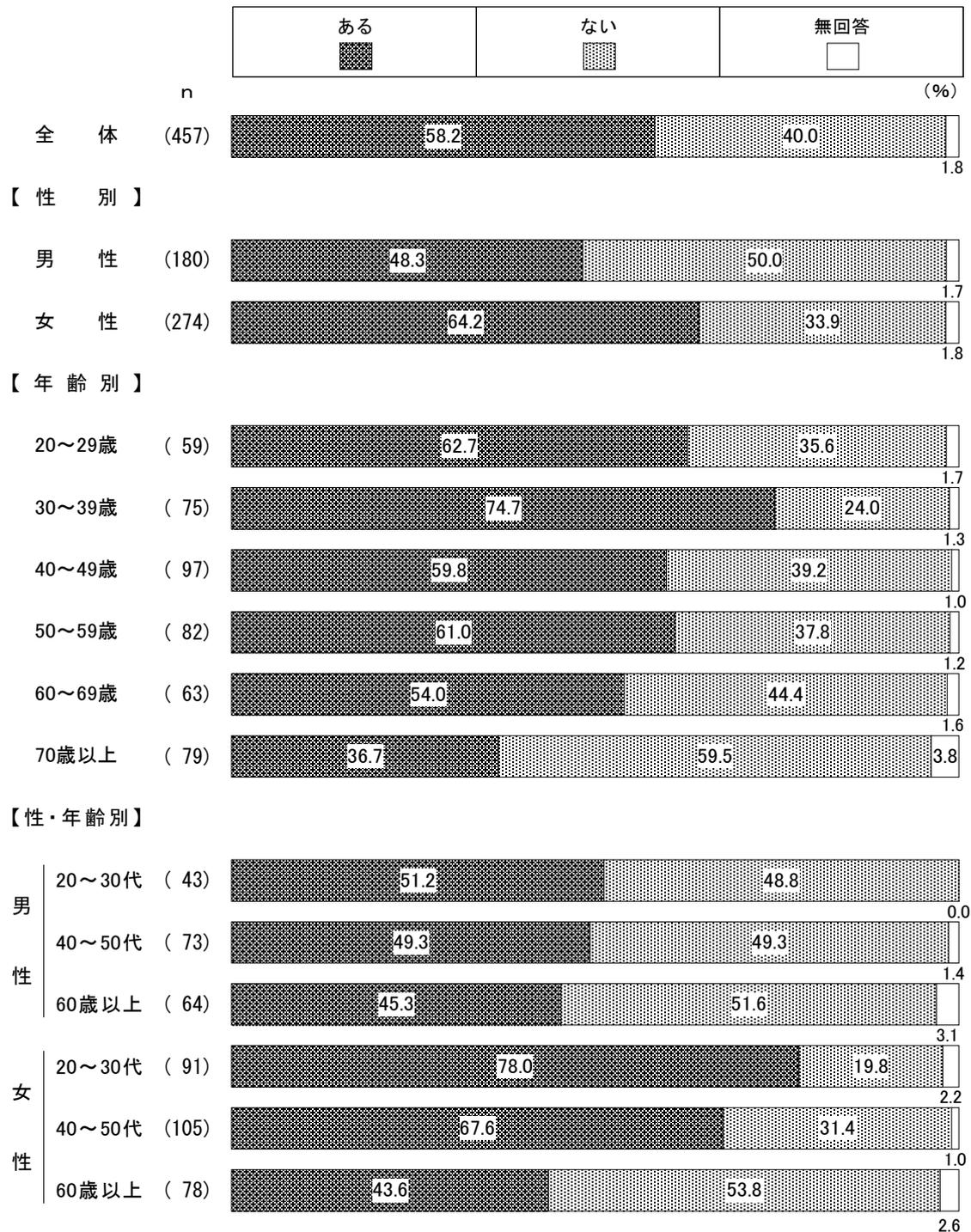
<性別、年齢別、性・年齢別>

性別でみると、「ある」は女性（64.2%）が男性（48.3%）より15.9ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「ある」は30～39歳で74.7%と高くなっている。一方、「ない」は70歳以上で59.5%と高くなっている。

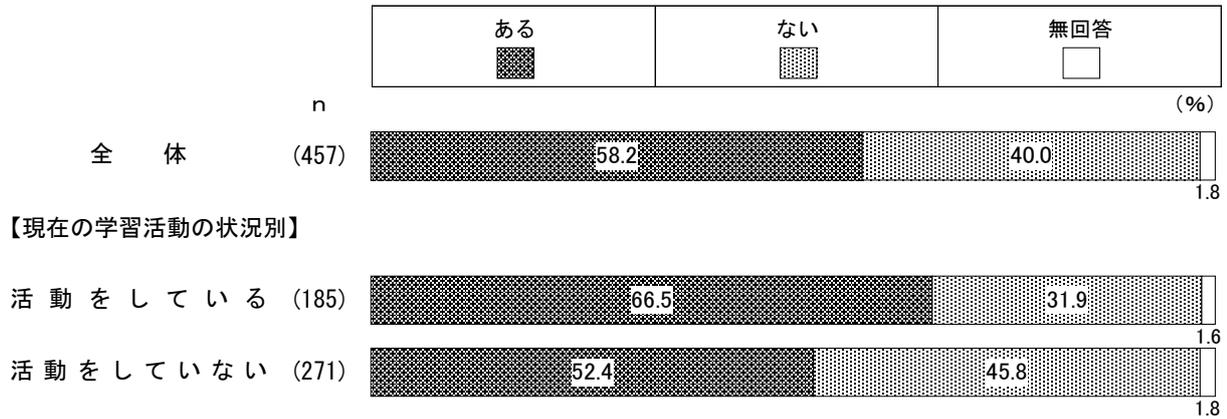
性・年齢別でみると、「ある」は女性20～30代で78.0%、女性40～50代で67.6%と高くなっている。一方、「ない」は女性60歳以上で53.8%、男性60歳以上で51.6%と高くなっている。

「新たに始めたい活動がある」と回答した人の割合は20～30代に多く、特に女性でその傾向は顕著である。



＜現在の学習活動の状況別＞

現在の学習活動状況別（問6）で見ると、「学習活動を行っていない」と回答した人は59.3%であるが、そのうち52.4%の人が「新たに始めたい活動がある」と回答している。なお、「新たに始めたい活動がある」は、“現在学習活動をしている”（66.5%）が“現在活動をしていない”（52.4%）より14.1ポイント高くなっている。

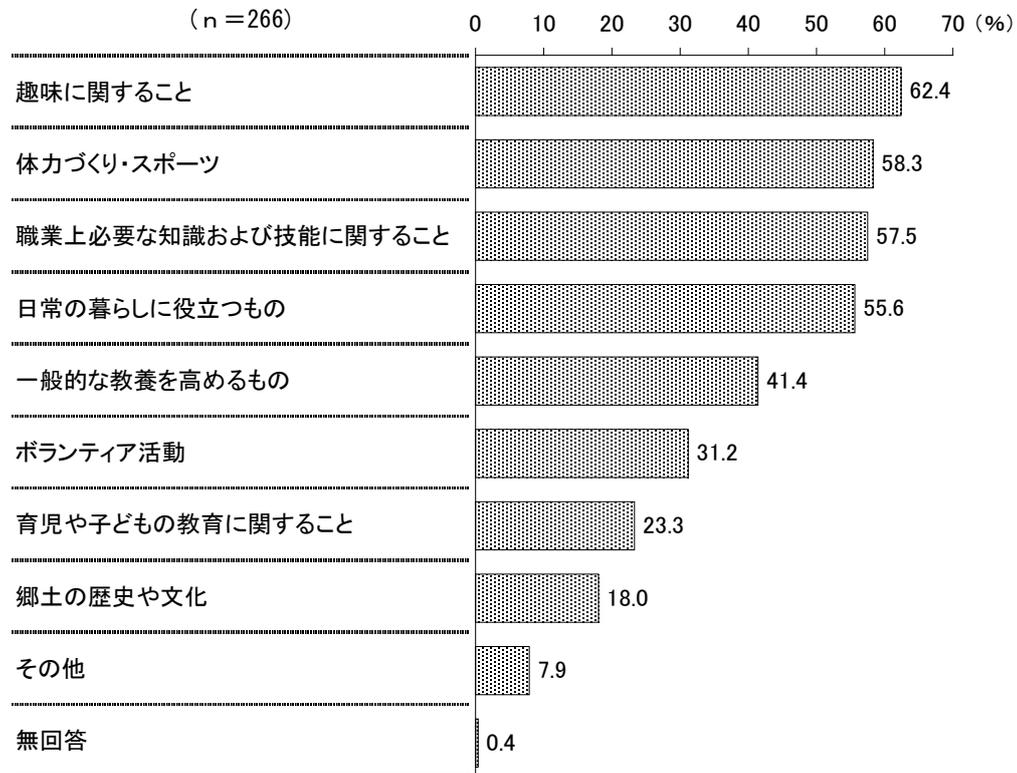


(4) 新たに始めたい具体的な「学習活動」

◇「趣味に関すること」が62.4%

【問10で、「ある」と答えた方にお聞きします】

問10-1 (1) 新たに始めたい活動について、以下の（1～62）の中から、あてはまるものについていくつでも○印をつけてください。



「新たに始めたい学習活動がある」と答えた方に、具体的な内容を聞いたところ、「趣味に関すること」が62.4%で最も高く、次いで「体力づくり・スポーツ」(58.3%)、「職業上必要な知識および技能に関すること」(57.5%)、「日常の暮らしに役立つもの」(55.6%)と続いている。

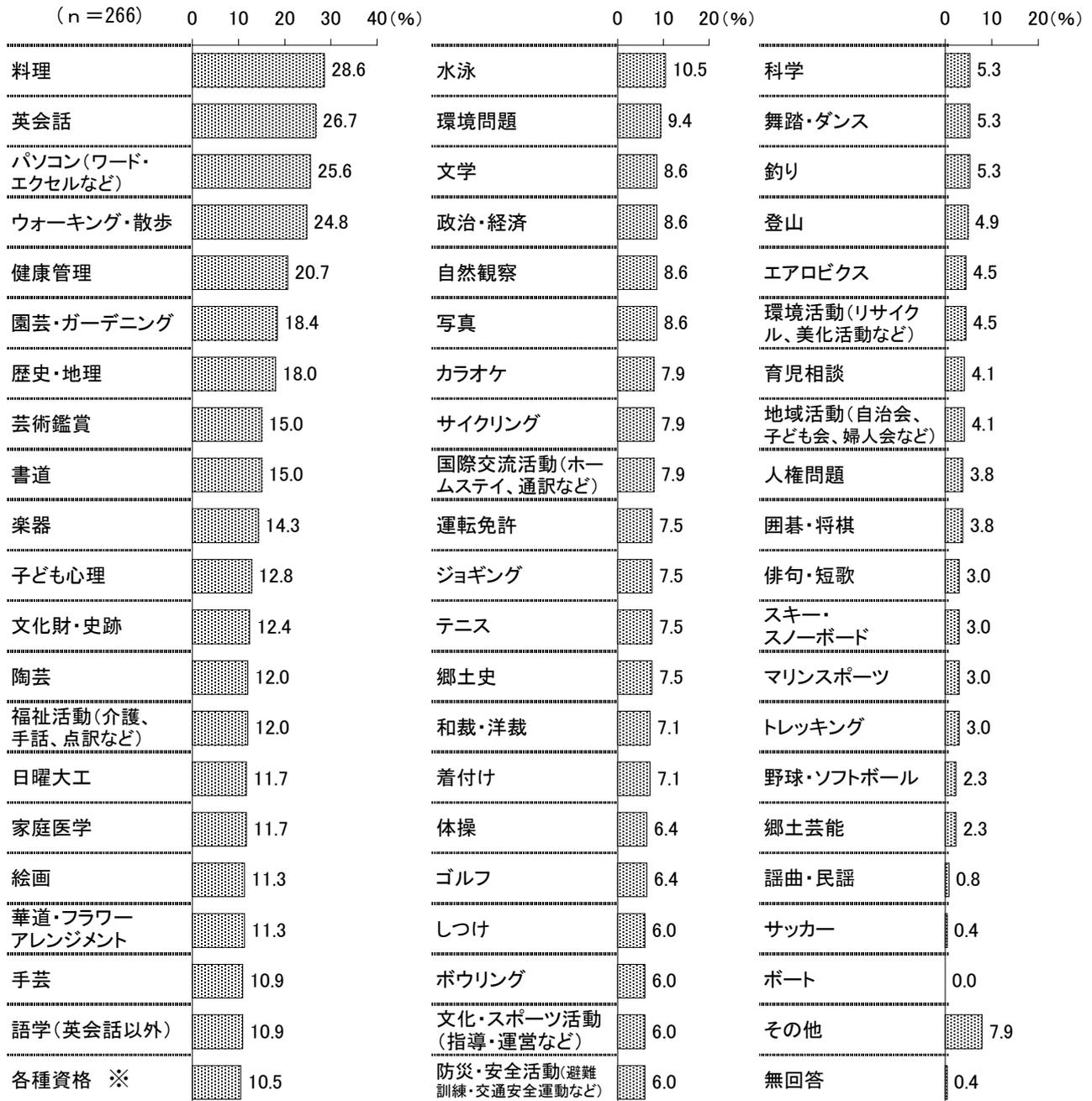
<平成27年度調査結果（参考）>

過去の調査結果との比較は回答対象者が異なるため、平成27年度の調査結果を参考に図示する。

分野 (N=581)	(%)
体力づくり・スポーツ	58.0
日常の暮らしに役立つもの	50.3
職業上必要な知識および技能に関すること	48.7
趣味に関すること	47.8
一般的な教養を高めるもの	28.2
ボランティア活動	24.4
育児や子どもの教育に関すること	17.6
郷土の歴史や文化	11.0
その他	3.8
無回答	13.8

※平成27年度では全員を回答対象者としていた

具体的な「学習活動」をみると、「料理」が28.6%で最も高く、次いで「英会話」（26.7%）、「パソコン（ワード・エクセルなど）」（25.6%）、「ウォーキング・散歩」（24.8%）と続いている。



※「各種資格」の回答内容は次のとおりである。

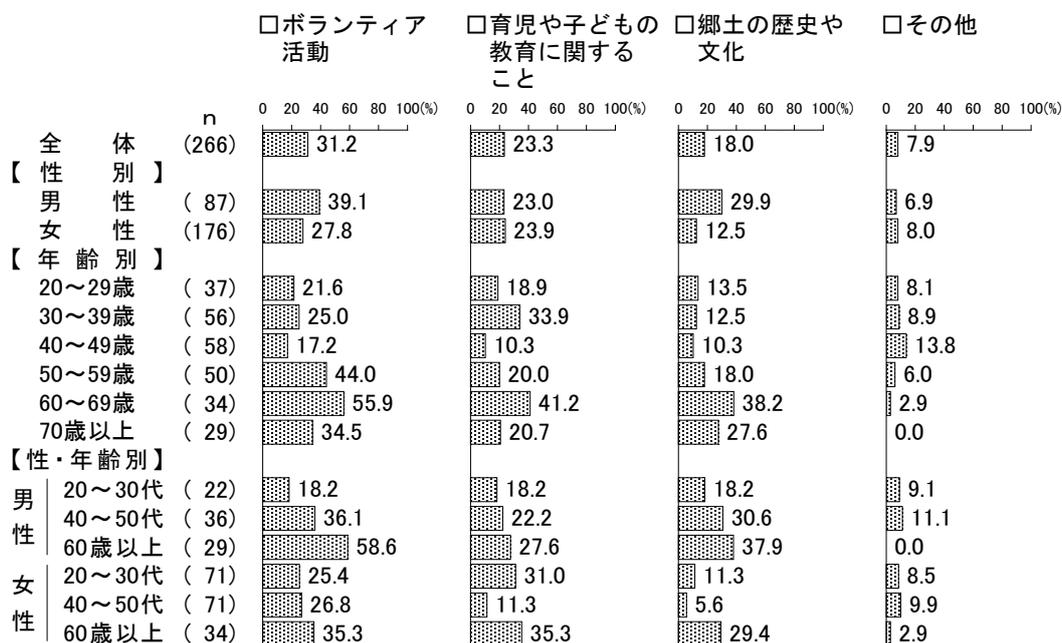
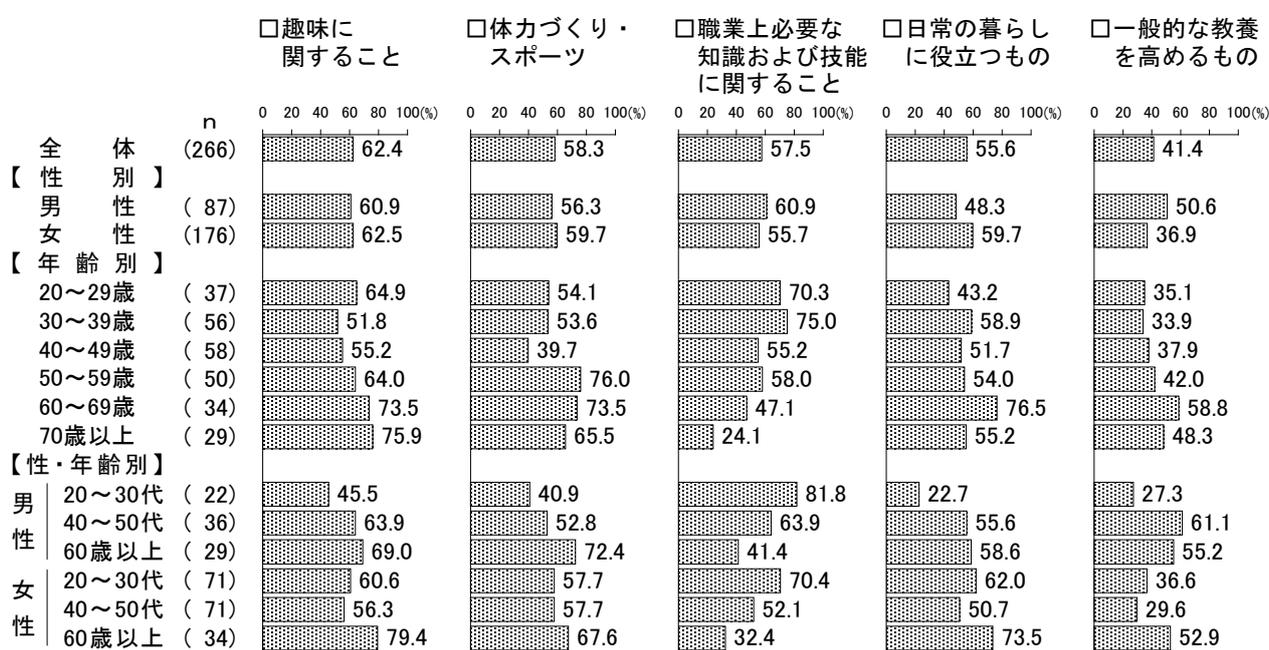
LinuC・簿記・ファイナンシャルプランナー・ハンゲル・カウンセリング・理学療法士・社労士・IT・土木一級・溶接・水道ガス工事・漢字検定・経営学・ケアマネージャー・宅地建物取引士資格試験

<性別、年齢別、性・年齢別>

性別で見ると、「郷土の歴史や文化」は男性（29.9%）が女性（12.5%）より17.4ポイント高くなっている。一方、「日常の暮らしに役立つもの」は女性（59.7%）が男性（48.3%）より11.4ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、「趣味に関すること」は70歳以上で75.9%、60～69歳で73.5%と高くなっている。「体力づくり・スポーツ」は50～59歳で76.0%、60～69歳で73.5%と高くなっている。「日常の暮らしに役立つもの」は60～69歳で76.5%と高くなっている。

性・年齢別で見ると、「趣味に関すること」は女性60歳以上で79.4%と高くなっている。「日常の暮らしに役立つもの」は女性60歳以上で73.5%と高くなっている。また、「職業上必要な知識および技能に関すること」は男性20～30代で81.8%、女性20～30代で70.4%と高くなっている。



<性別、年齢別、性・年齢別>（具体的な「学習活動」の上位5位）

性別で見ると、男性では「歴史・地理」、女性では「料理」が第1位となっている。

年齢別で見ると、39歳以下では「英会話」と「料理」が上位2位となっている。50歳以上では同率を含め「ウォーキング・散歩」が第1位となっている。

性・年齢別で見ると、男女ともに60歳以上では「ウォーキング・散歩」が第1位となっている。「英会話」は男性20～30代で第1位、女性20～30代で第2位となっている。

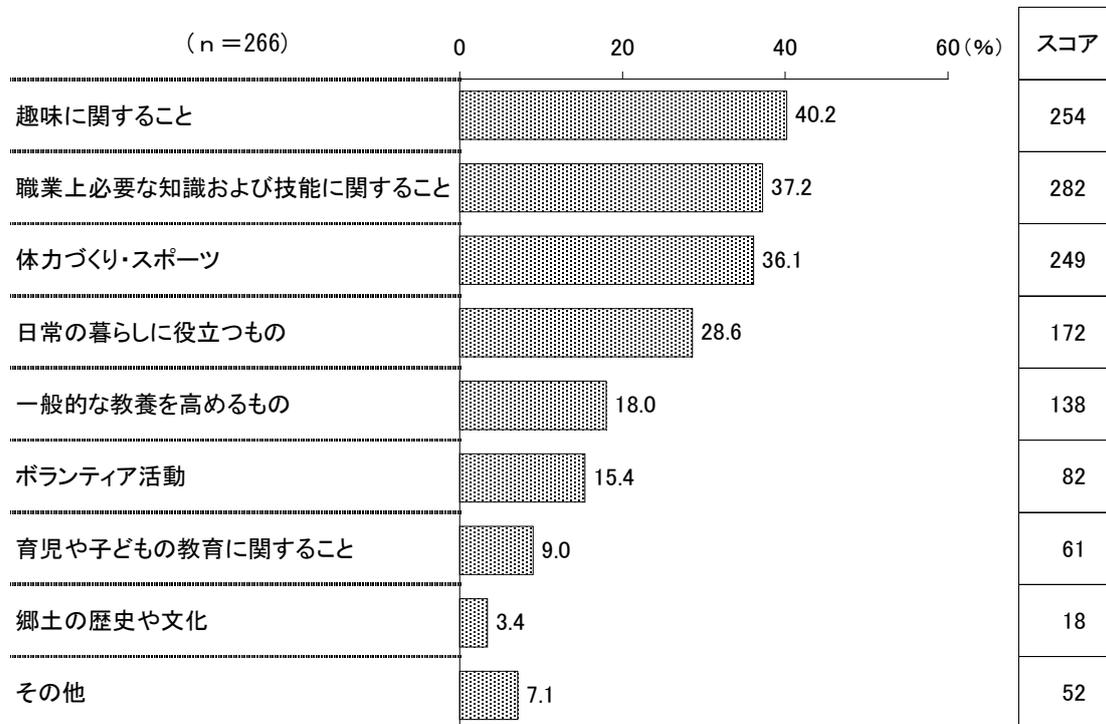
属性		順位	n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体			266	料理 (28.6)	英会話 (26.7)	パソコン(ワード・ エクセルなど) (25.6)	ウォーキング・ 散歩 (24.8)	健康管理 (20.7)
性 別	男 性		87	歴史・地理 (27.6)	パソコン(ワード・ エクセルなど) (25.3)	日曜大工/ウォーキング・散歩 (24.1)		英会話 (23.0)
	女 性		176	料理 (33.5)	英会話 (27.8)	パソコン(ワード・ エクセルなど) (26.1)	ウォーキング・ 散歩 (25.6)	健康管理/園芸・ ガーデニング (20.5)
年 齢 別	20～29歳		37	料理/英会話 (32.4)		パソコン(ワード・ エクセルなど) (27.0)	運転免許 (24.3)	歴史・地理 (21.6)
	30～39歳		56	英会話 (50.0)	料理 (37.5)	子ども心理/パソコン(ワード・ エクセルなど) (25.0)		ウォーキング・ 散歩 (19.6)
	40～49歳		58	パソコン(ワード・ エクセルなど) (25.9)	各種資格 (20.7)	歴史・地理/料理 (19.0)		英会話/楽器 (17.2)
	50～59歳		50	ウォーキング・ 散歩 (32.0)	パソコン(ワード・ エクセルなど) (30.0)	園芸・ガーデニング/ 福祉活動(介護、手話、点訳など) (28.0)		歴史・地理/ 健康管理/英会話 (22.0)
	60～69歳		34	健康管理/ウォーキング・散歩 (47.1)		料理 (38.2)	日曜大工/サイクリング (32.4)	
	70歳以上		29	ウォーキング・ 散歩 (48.3)	健康管理 (37.9)	料理 (31.0)	園芸・ ガーデニング (27.6)	文化財・史跡 (24.1)
性 ・ 年 齢 別	男性20～30代		22	英会話 (54.5)	パソコン(ワード・ エクセルなど) (27.3)	運転免許/楽器/文化財・史跡 (18.2)		
	40～50代		36	歴史・地理 (36.1)	日曜大工 (30.6)	各種資格 (27.8)	パソコン(ワード・エクセルなど)/ 文化財・史跡 (25.0)	
	60歳以上		29	ウォーキング・ 散歩 (48.3)	健康管理 (44.8)	歴史・地理/自然観察 (31.0)		日曜大工 (27.6)
	女性20～30代		71	料理 (43.7)	英会話 (39.4)	パソコン(ワード・ エクセルなど) (25.4)	子ども心理 (23.9)	語学 (英会話以外) (19.7)
	40～50代		71	パソコン(ワード・ エクセルなど) (29.6)	ウォーキング・ 散歩 (25.4)	園芸・ ガーデニング (22.5)	英会話 (21.1)	料理/福祉活動 (介護、手話、 点訳など) (18.3)
	60歳以上		34	ウォーキング・ 散歩 (47.1)	料理 (44.1)	健康管理 (41.2)	園芸・ ガーデニング (32.4)	芸術鑑賞/ 手芸 (26.5)

※表中で、活動名ごとにスラッシュ（/）で区切り、まとめているものは、同率で複数の回答があるもの

(5) 特に力を入れて行いたい「学習活動」

◇「趣味に関すること」が40.2%、スコアでは「職業上必要な知識および技能に関すること」が282点でトップ

問10-1 (2) (1) で○印をつけた活動（学習活動）のうち、特に力を入れて行いたいものについて、順に3つまで、番号でお答えください。



※スコアは、順位付けの回答結果に1位=3点、2位=2点、3位=1点を与えて集計したもの。

特に力を入れて行いたい「学習活動」の順位付け回答について、1位から3位の累計では「趣味に関すること」が40.2%で最も高く、次いで「職業上必要な知識および技能に関すること」(37.2%)、「体力づくり・スポーツ」(36.1%)、「日常の暮らしに役立つもの」(28.6%)と続いている。

また、1位に3点、2位に2点、3位に1点を与えて集計したスコアで見ると、「職業上必要な知識および技能に関すること」が282点で最も高く、次いで「趣味に関すること」(254点)、「体力づくり・スポーツ」(249点)、「日常の暮らしに役立つもの」(172点)と続いている。

＜具体的な「学習活動」の上位10位（スコア）＞

具体的な「学習活動」のスコアをみると、「英会話」が107点で最も高く、次いで「パソコン（ワード・エクセルなど）」（76点）、「ウォーキング・散歩」（72点）、「料理」（65点）と続いている。

順位	分野	新たに始めたい学習活動	スコア
第1位	職業上の知識・技能	英会話	107
第2位	職業上の知識・技能	パソコン（ワード・エクセルなど）	76
第3位	スポーツ	ウォーキング・散歩	72
第4位	暮らし	料理	65
第5位	一般的教養	歴史・地理	57
第6位	趣味	園芸・ガーデニング	53
第7位	暮らし	健康管理	44
第8位	職業上の知識・技能	各種資格	37
	趣味	絵画	
第10位	趣味	書道	36

4 公共学習施設の利用実態および評価

〔結果と課題（概要）〕

◇「公共学習施設」の利用状況

- ・「利用した」は平成22年度以降減少傾向にあり、前回調査より8.8ポイント減少している。
- ・忙しいため利用ができないということのほか、「特に理由がない」が上位に。公共学習施設でできることや、学習活動そのものに関する認知、関心を高める必要がある。

◇利用している「公共学習施設」

- ・平成27年に設立された「上戸田地域交流センター（あいパル）」が市民にとって新たな学習活動の場として位置づいてきていることがうかがえる。
- ・図書館の利用率の減少については、図書館本館が平成30年7月から令和2年3月まで工事のため休館していたことや、電子書籍の台頭等が影響していると思われるが、これからの図書館の在り方を再考する必要があると考えられる。

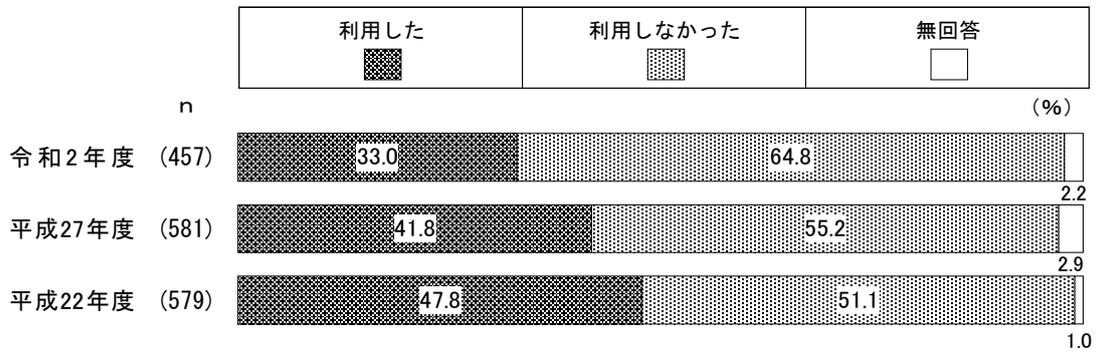
◇「公共学習施設」への改善希望

- ・「特になし」が突出して高い。現状に満足しているとも読み取れる一方で、施設そのものへの期待度の低さも伺える。
- ・施設の使用手続きの簡略化や利用時間については施設の利用状況に関らず改善へのニーズがある。

(1) 「公共学習施設」の利用状況

◇ 「利用した」が33.0%

問11 あなたはここ1年間に、市内にある公共の学習施設を利用しましたか。(1つだけに○印)



「公共学習施設」の利用状況を聞いたところ、「利用した」が33.0%、「利用しなかった」は64.8%となっている。

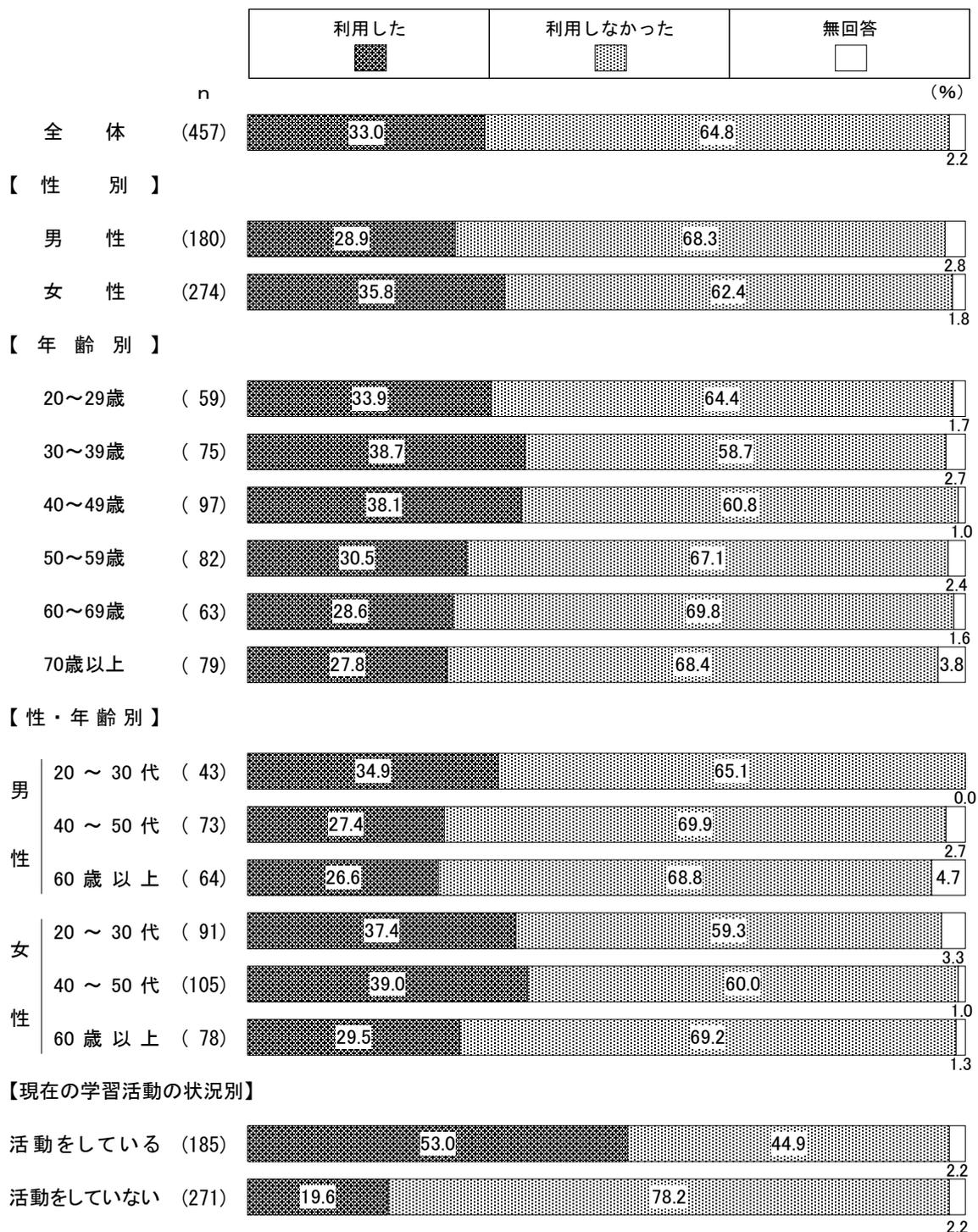
過去の調査結果と比較すると、「利用した」は平成22年度以降減少傾向にあり、平成27年度より8.8ポイント減少している。

＜性別、年齢別、性・年齢別、現在の学習活動の状況別＞

性別でみると、「利用した」は女性（35.8%）が男性（28.9%）より6.9ポイント高くなっている。
 年齢別でみると、「利用した」は30～39歳で38.7%、40～49歳で38.1%と高くなっている。一方、「利用しなかった」は60～69歳で69.8%と高くなっている。

性・年齢別でみると、「利用した」は女性40～50代で39.0%、女性20～30代で37.4%と高くなっている。一方、「利用しなかった」は男性40～50代で69.9%、女性60歳以上で69.2%、男性60歳以上で68.8%と高くなっている。

現在の学習活動の状況別でみると、「利用した」は現在学習活動をしている人（53.0%）が活動をしていない人（19.6%）より33.4ポイント高くなっている。

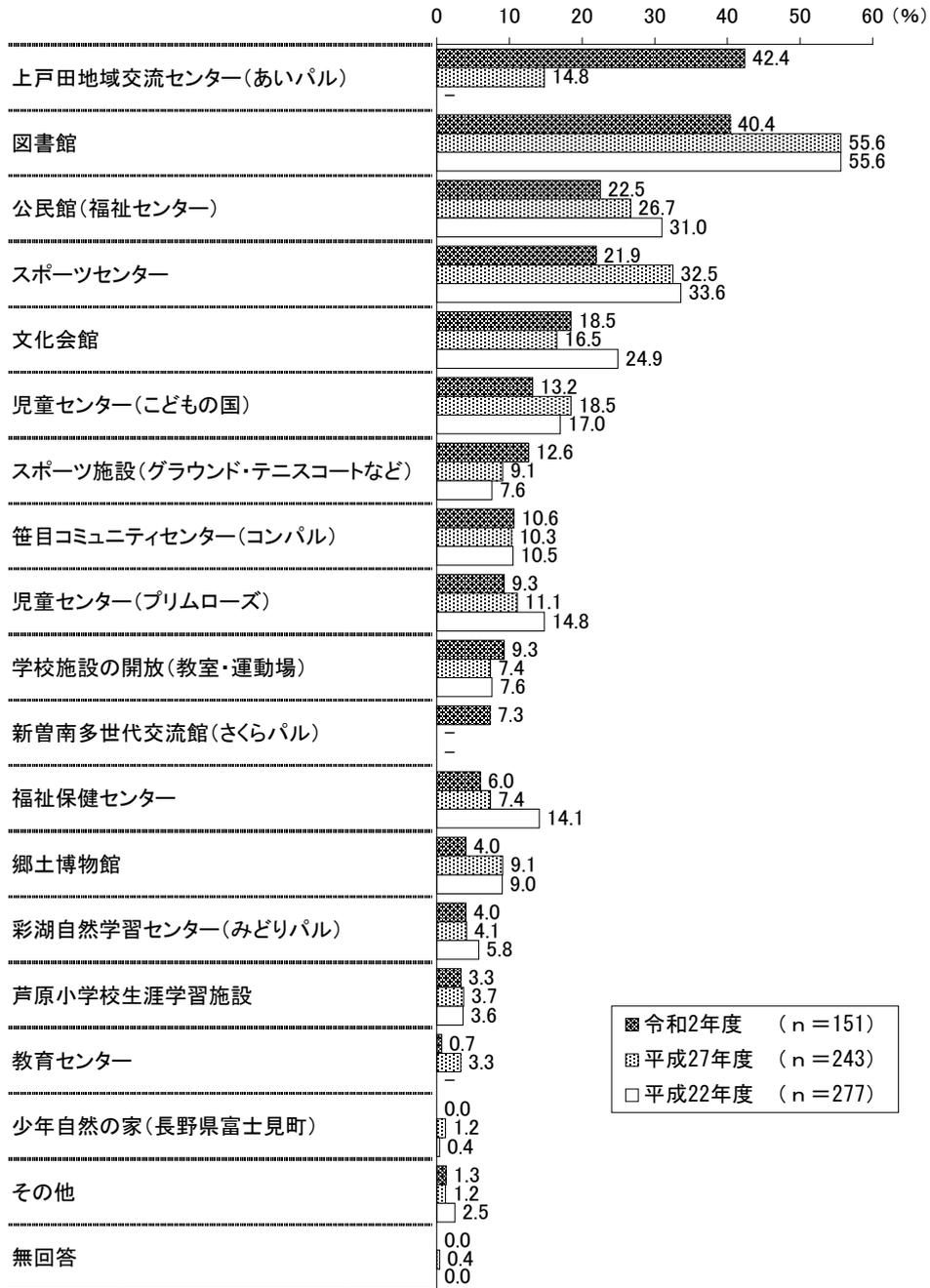


(2) 利用している「公共学習施設」

◇「上戸田地域交流センター（あいパル）」が42.4%

【問11で、「利用した」と答えた方にお聞きします】

問11-1 どの施設を利用しましたか。（いくつでも○印）



- ※「上戸田地域交流センター（あいパル）」は平成27年度から追加された選択肢
- ※「新曽南多世代交流館（さくらパル）」は令和2年度から追加された選択肢
- ※「教育センター」は平成22年度では「芦原小学校生涯学習施設」に含まれていた
- ※「図書館本館」「スポーツセンター」「文化会館」「郷土博物館」は工事のため一部休館期間あり

「公共学習施設を利用した」と答えた方に、具体的な施設を聞いたところ、「上戸田地域交流センター（あいパル）」が42.4%で最も高く、次いで「図書館」（40.4%）と続いている。

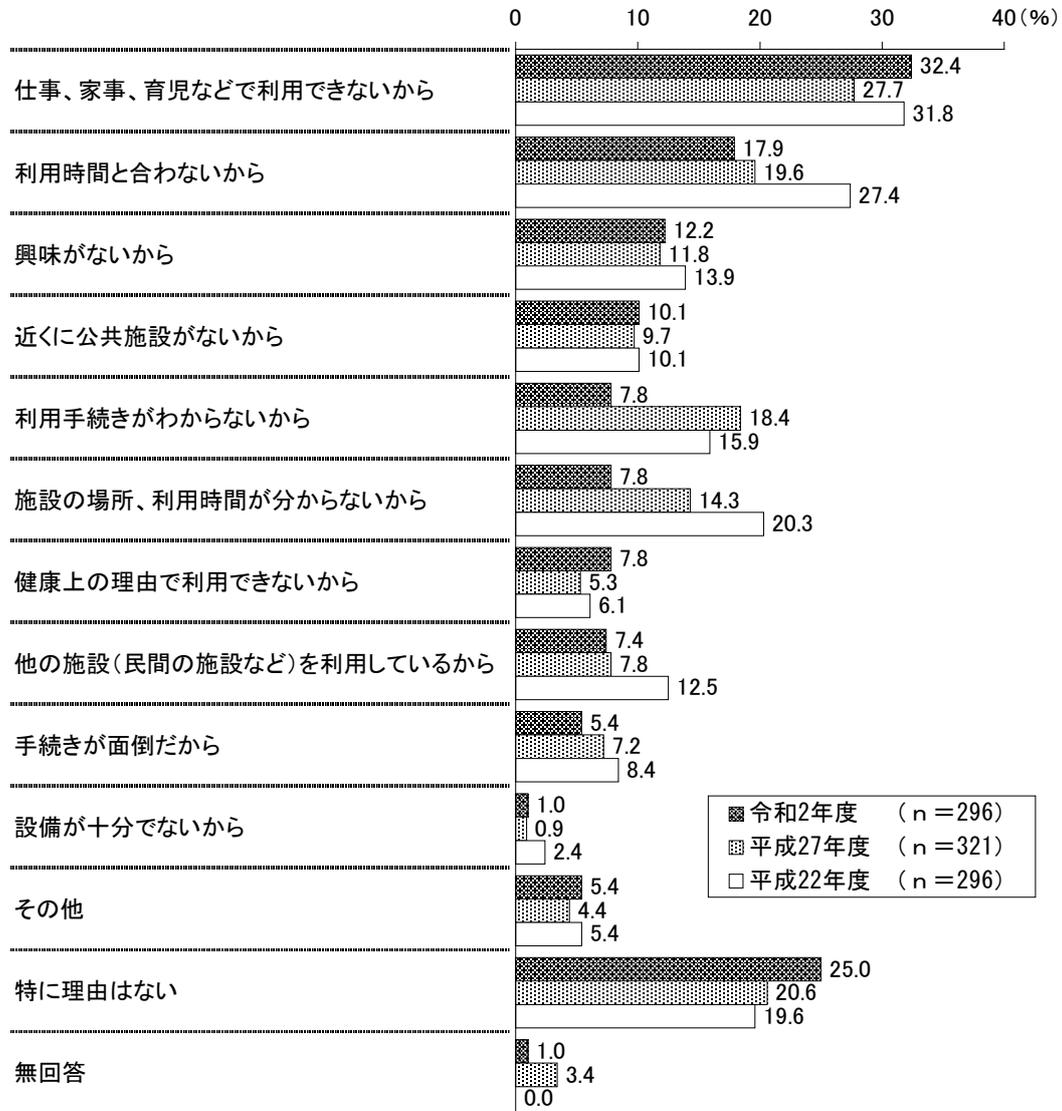
過去の調査結果と比較すると、「上戸田地域交流センター（あいパル）」は平成27年度より27.6ポイント増加している。一方、「図書館」は平成27年度より15.2ポイント減少している。

(3) 「公共学習施設」を利用していない理由

◇「仕事、家事、育児などで利用できないから」が32.4%、「特に理由はない」が25.0%

【問11で、「利用しなかった」と答えた方にお聞きします】

問12 施設を利用しなかった理由は何ですか。（いくつでも○印）



※平成22年度では回答個数を3つまでとしていた

「公共学習施設を利用しなかった」と答えた方に、その理由を聞いたところ、「仕事、家事、育児などで利用できないから」が32.4%で最も高く、次いで「利用時間と合わないから」(17.9%)、「興味がないから」(12.2%)、「近くに公共施設がないから」(10.1%)と続いている。また、「特に理由はない」が25.0%となっている。

過去の調査結果と比較すると、「仕事、家事、育児などで利用できないから」は平成27年度より4.7ポイント増加している。一方、「利用手続きがわからないから」は平成27年度より10.6ポイント、「施設の場所、利用時間が分からないから」は平成27年度より6.5ポイント、それぞれ減少している。

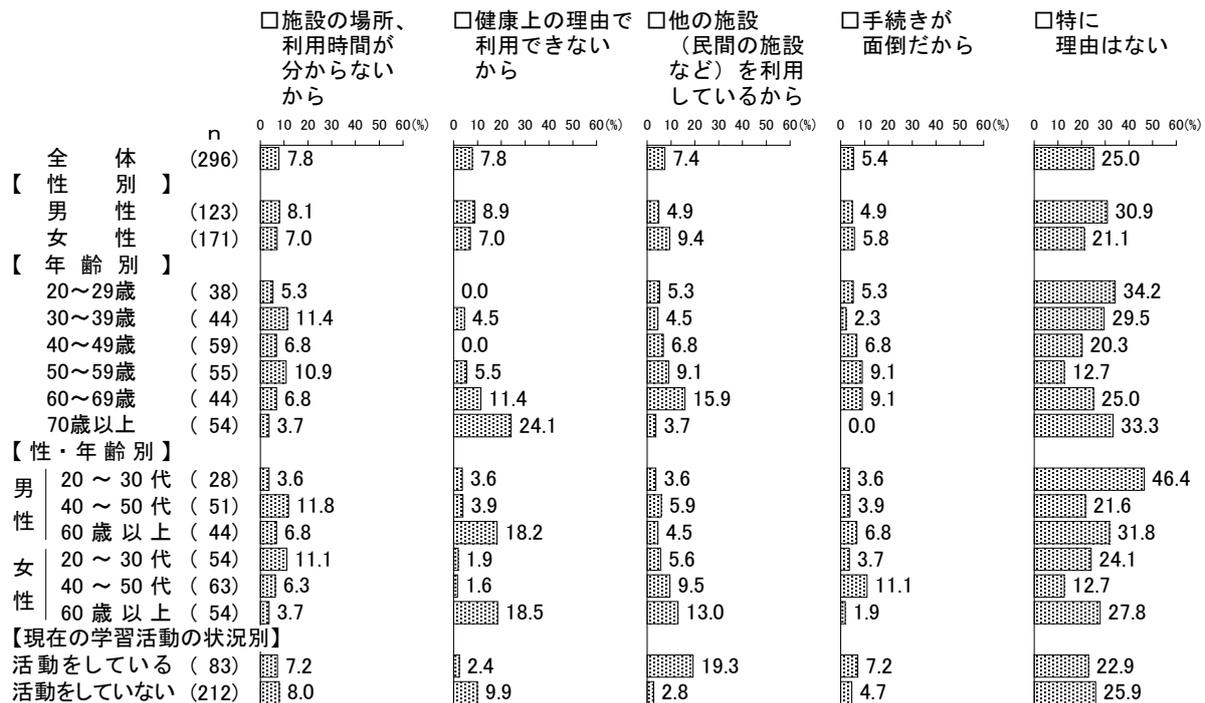
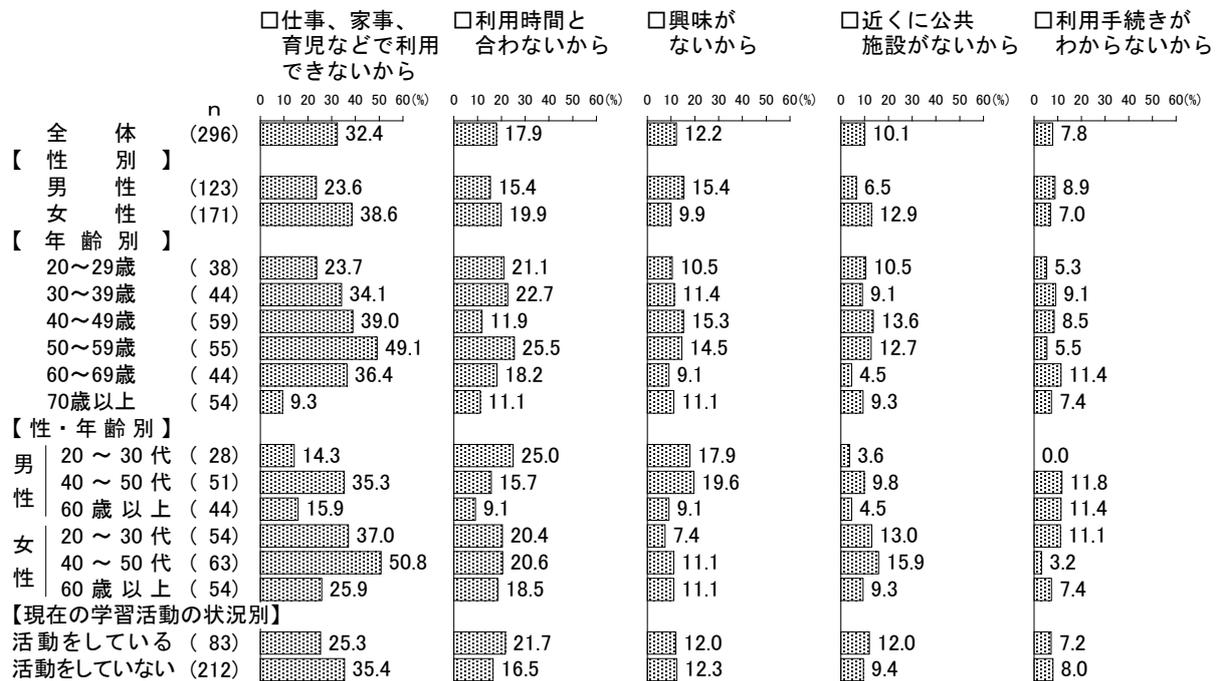
＜性別、年齢別、性・年齢別、現在の学習活動の状況別＞（上位10項目）

性別で見ると、「仕事、家事、育児などで利用できないから」は女性（38.6%）が男性（23.6%）より15.0ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、「仕事、家事、育児などで利用できないから」は50～59歳で49.1%と高くなっている。

性・年齢別で見ると、「仕事、家事、育児などで利用できないから」は女性40～50代で50.8%と高くなっている。

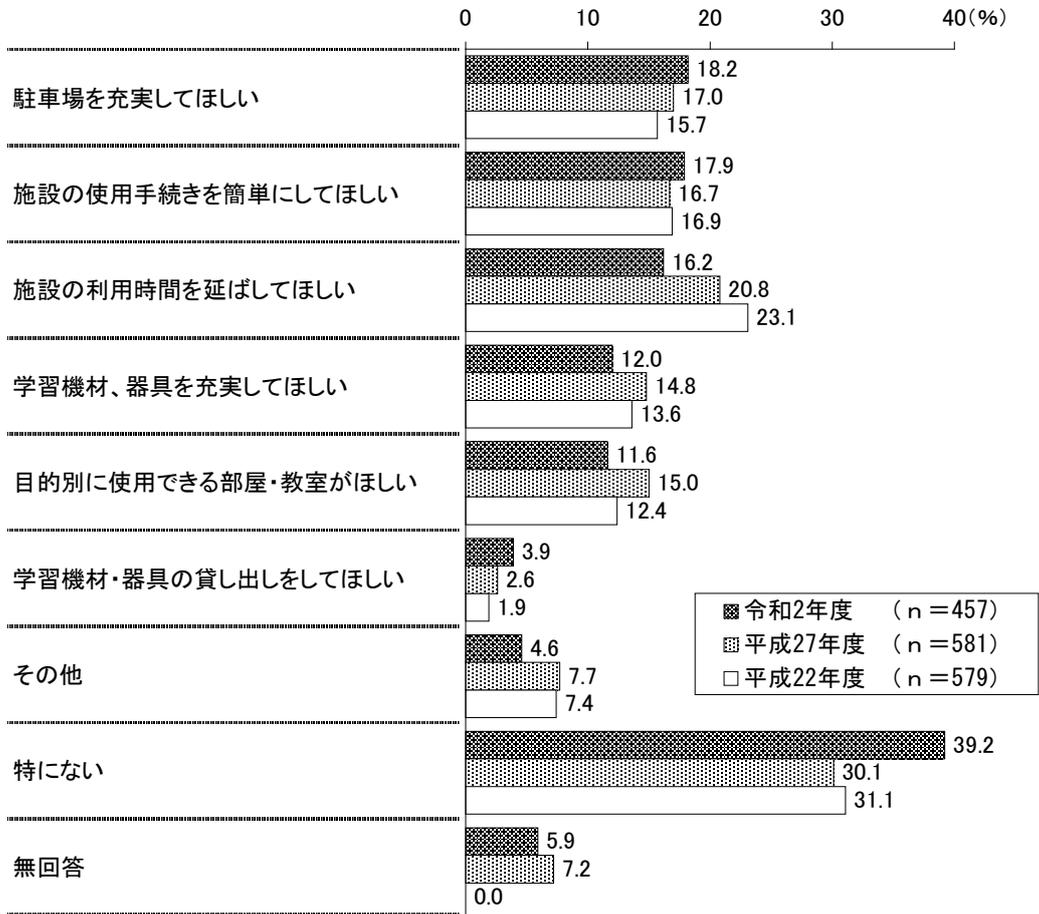
現在の学習活動の状況別で見ると、「他の施設（民間の施設など）を利用しているから」は現在学習活動をしている人（19.3%）が活動をしていない人（2.8%）より16.5ポイント高くなっている。一方、「仕事、家事、育児などで利用できないから」は現在学習活動をしていない人（35.4%）が活動をしている人（25.3%）より10.1ポイント高くなっている。



(4) 「公共学習施設」への改善希望

◇ 「駐車場を充実してほしい」が18.2%、「特にない」は39.2%

問13 公共の学習施設の設備・サービスでさらに望むものは何ですか。(2つ以内に○印)



「公共学習施設」への改善希望を聞いたところ、「駐車場を充実してほしい」が18.2%で最も高く、次いで「施設の使用手続きを簡単にしてほしい」(17.9%)、「施設の利用時間を延ばしてほしい」(16.2%)、「学習機材、器具を充実してほしい」(12.0%)と続いている。一方、「特にない」は39.2%となっている。

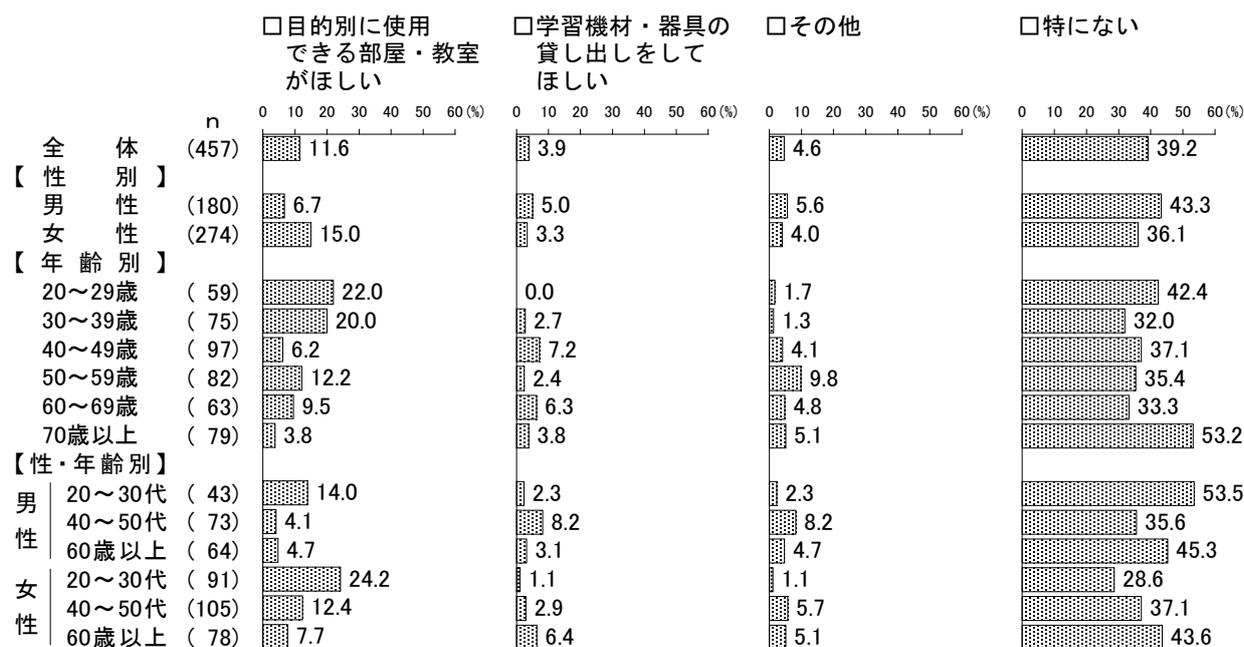
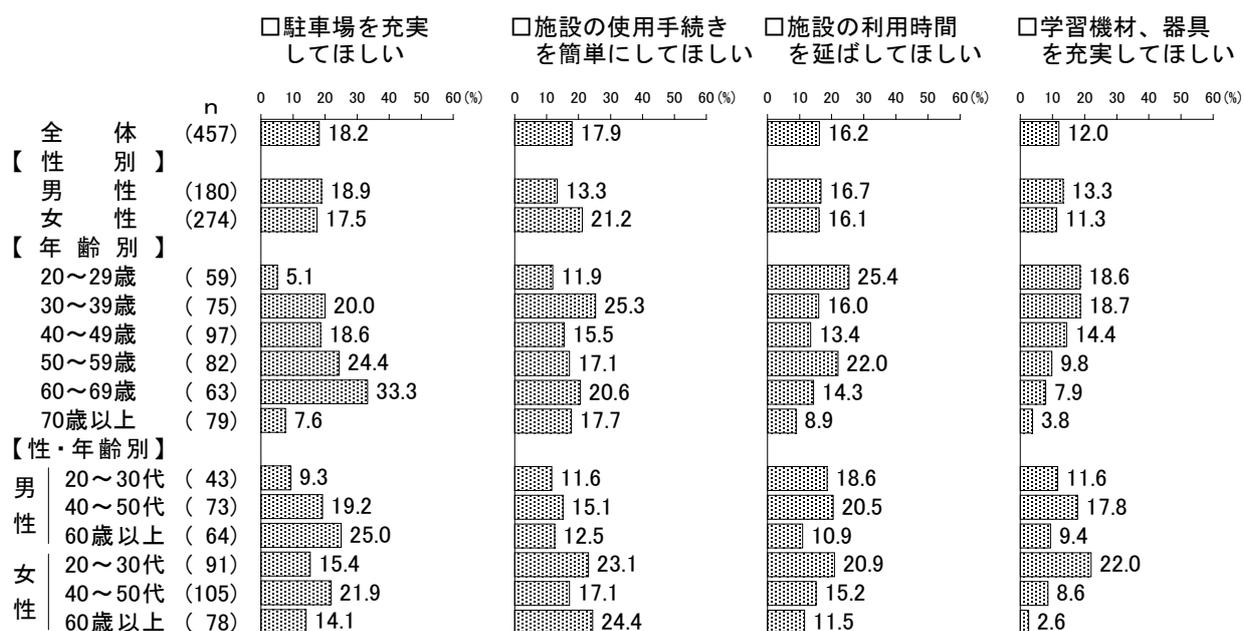
過去の調査結果と比較すると、「特にない」は平成27年度より9.1ポイント増加している。一方、「施設の利用時間を延ばしてほしい」は平成22年度以降減少傾向にあり、平成27年度より4.6ポイント減少している。

＜性別、年齢別、性・年齢別＞

性別でみると、「目的別に使用できる部屋・教室がほしい」は女性（15.0%）が男性（6.7%）より8.3ポイント、「施設の使用手続きを簡単にしてほしい」は女性（21.2%）が男性（13.3%）より7.9ポイント、それぞれ高くなっている。

年齢別でみると、「駐車場を充実してほしい」は60～69歳で33.3%と高くなっている。「施設の利用時間を延ばしてほしい」は20～29歳で25.4%と高くなっている。

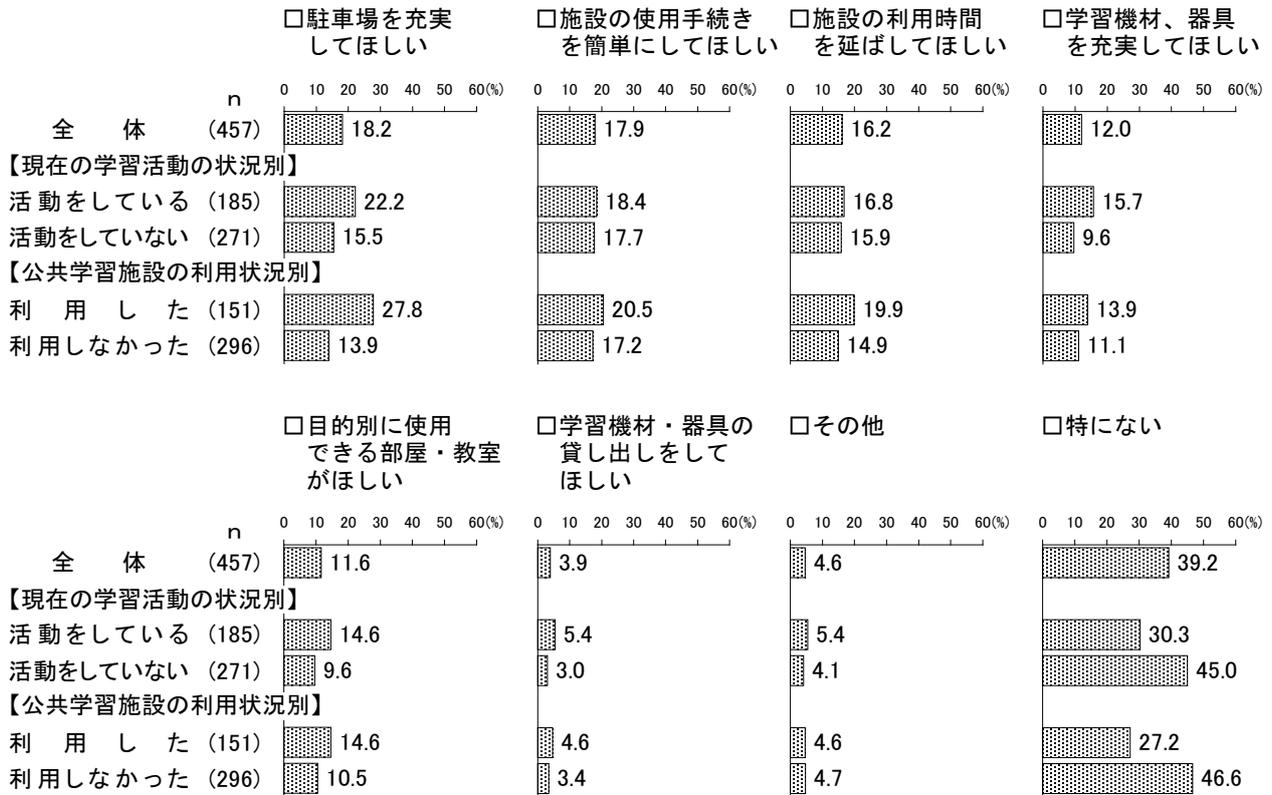
性・年齢別でみると、「駐車場を充実してほしい」は男性60歳以上で25.0%と高くなっている。「施設の使用手続きを簡単にしてほしい」は女性60歳以上で24.4%と高くなっている。



＜現在の学習活動の状況別、公共学習施設の利用状況別＞

現在の学習活動の状況別でみると、「駐車場を充実してほしい」は現在学習活動をしている人（22.2%）が活動をしていない人（15.5%）より6.7ポイント、「学習機材・器具の貸し出しをしてほしい」は現在学習活動をしている人（15.7%）が活動をしていない人（9.6%）より6.1ポイント、それぞれ高くなっている。

公共学習施設の利用状況別でみると、公共学習施設を利用している人は「駐車場を充実してほしい」が最も高く、利用しなかった人より13.9ポイント高くなっている。「施設の使用手続きを簡単にしてほしい」、「施設の利用時間を延ばしてほしい」は、公共学習施設の利用状況に関わらず、改善へのニーズがある。



5 市の「市民向け生涯学習事業」の利用実態および評価

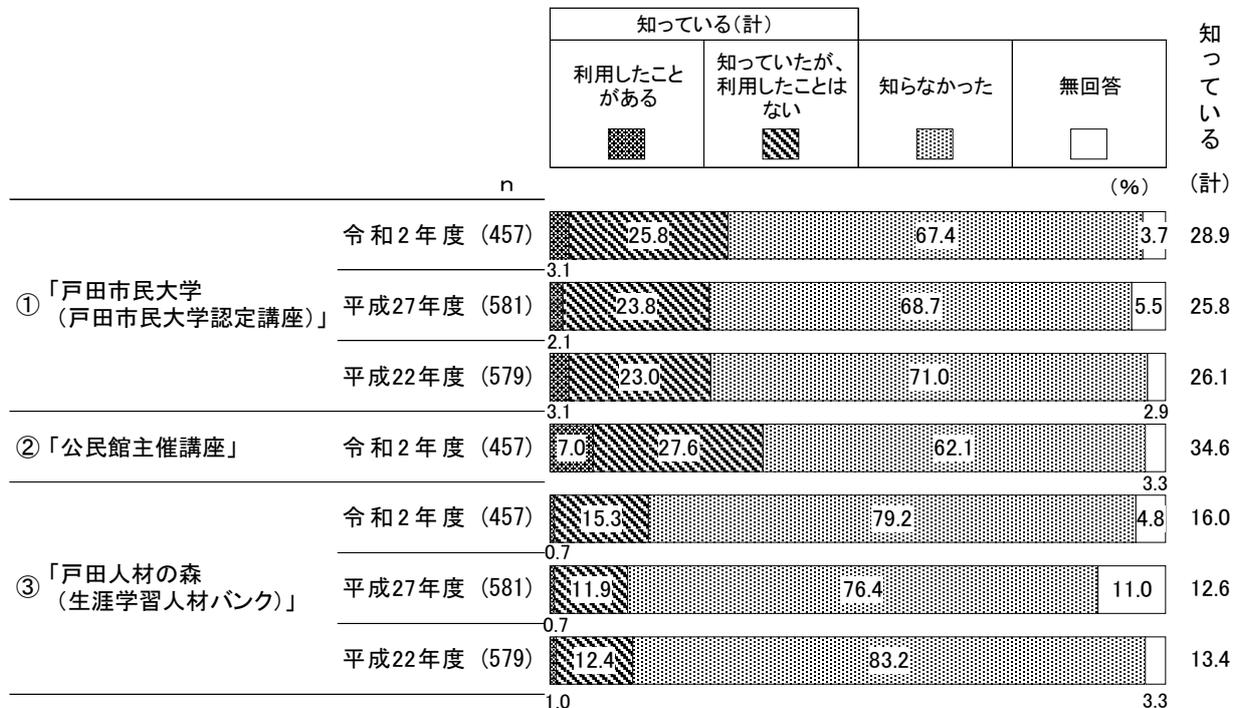
〔結果と課題（概要）〕

- ◇「市民向け生涯学習事業」の利用・認知状況
 - ・「利用したことがある」は①「戸田市民大学」(3.1%)、②「公民館講座」(7.0%)、③「戸田人材の森」(0.7%)と低い結果となった。「知っていたが、利用したことがない」を含めた認知率は①28.9%、②34.6%、③16%であった。
- ◇「市民向け生涯学習事業」の認知方法
 - ・「広報戸田市」を通して認知する人がほとんどである。
- ◇「市民向け生涯学習事業」を知っていたが利用しなかった人の理由
 - ・市民大学や公民館講座に関しては、開催日時の分散化や、内容の工夫などを、世代ごとのニーズに合わせて検討していくことが求められる。人材の森については、利用しなかった理由として「特に理由はない」、「講座に参加する時間がない」、「それ自体に興味がない」などの理由が上位を占めており、制度そのものの在り方や周知方法等についても改めて検討することが必要である。
- ◇開催を希望する講座
 - ・「趣味講座」が突出して高い。また、「資格取得につながる講座」は女性20～30代で特に高い。
- ◇講座に参加する場合に都合のよい日時
 - ・平日の午前・午後は60歳以上が多く希望しており、20代では平日の夜間、30代では土曜日の午前・午後を望む声が多い。
- ◇受講したいと思う講座の進め方
 - ・世代によって講座の進め方に関する嗜好は異なっているため、ターゲットとする参加者の年齢層に合わせた開催方法を検討することも必要である。

(1) 「市民向け生涯学習事業」の利用・認知状況

◇「利用したことがある」は“「公民館主催講座」”で7.0%、『知っている（計）』は“「公民館主催講座」”で34.6%

問14 戸田市では市民向け生涯学習事業として、以下の①～③のような講座や支援制度を実施しています。あなたは、これらを利用したことはありますか。（それぞれ1つだけに○印）



※「公民館主催講座」は令和2年度から追加された項目

「市民向け生涯学習事業」の利用・認知状況を聞いたところ、「利用したことがある」は“「公民館主催講座」”で7.0%と最も高くなっている。

また、「利用したことがある」と「知っていたが、利用したことはない」を合わせた『知っている（計）』は“「公民館主催講座」”で34.6%と最も高く、次いで“「戸田市民大学（戸田市民大学認定講座）」”（28.9%）、“「戸田人材の森（生涯学習人材バンク）」”（16.0%）と続いている。

一方、「知らなかった」は“「戸田人材の森（生涯学習人材バンク）」”で79.2%と最も高くなっている。

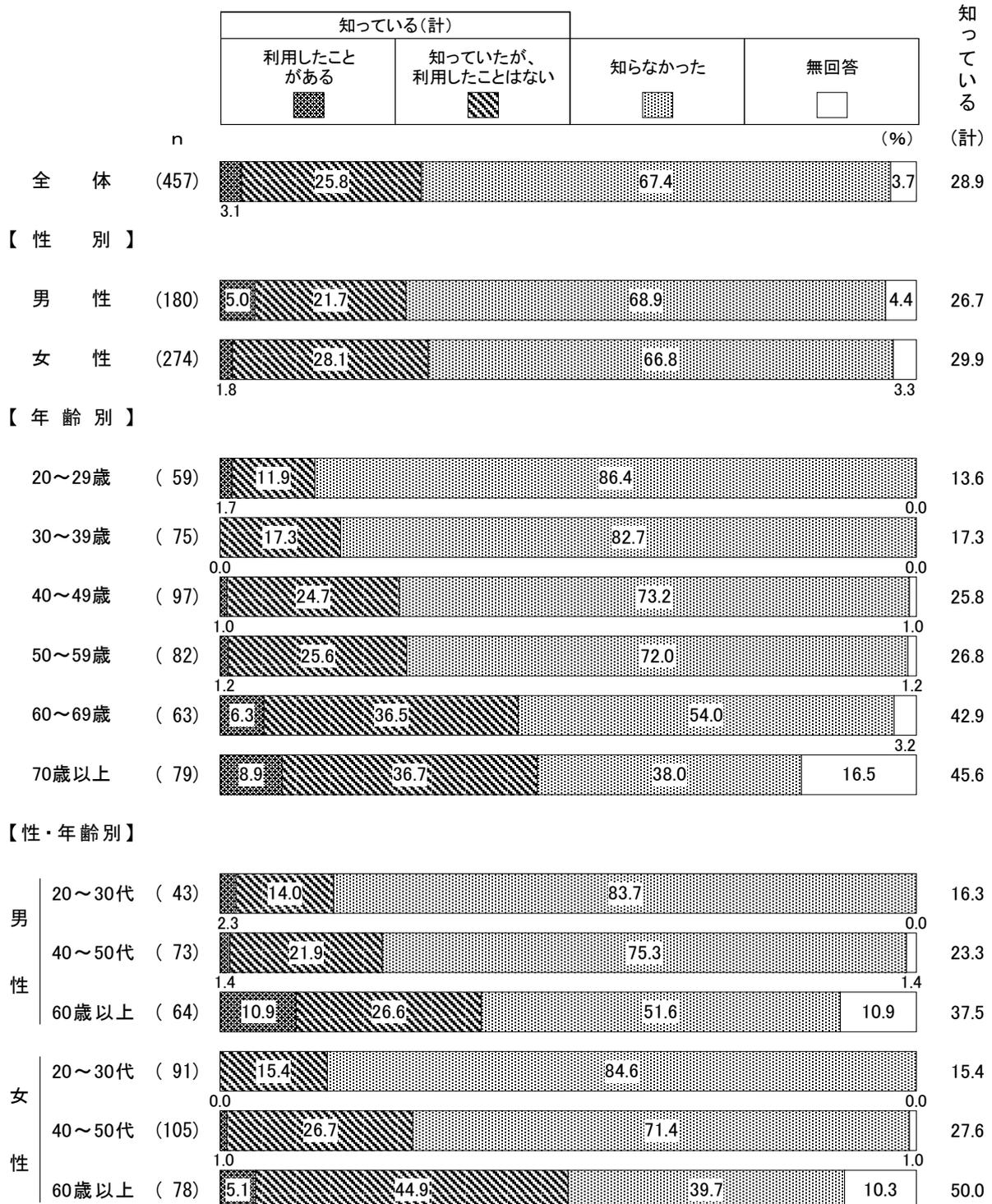
過去の調査結果と比較すると、『知っている（計）』は“「戸田人材の森（生涯学習人材バンク）」”で平成27年度より3.4ポイント、“「戸田市民大学（戸田市民大学認定講座）」”で平成27年度より3.1ポイント、それぞれ増加している。

<性別、年齢別、性・年齢別> ①「戸田市民大学（戸田市民大学認定講座）」

性別で見ると、『知っている（計）』は女性（29.9%）が男性（26.7%）より3.2ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、『知っている（計）』は年齢が上がるにつれて高くなっており、70歳以上で45.6%となっている。一方、「知らなかった」は20～29歳で86.4%と高くなっている。

性・年齢別で見ると、『知っている（計）』は女性60歳以上で50.0%と高くなっている。一方、「知らなかった」は女性20～30代で84.6%、男性20～30代で83.7%と高くなっている。

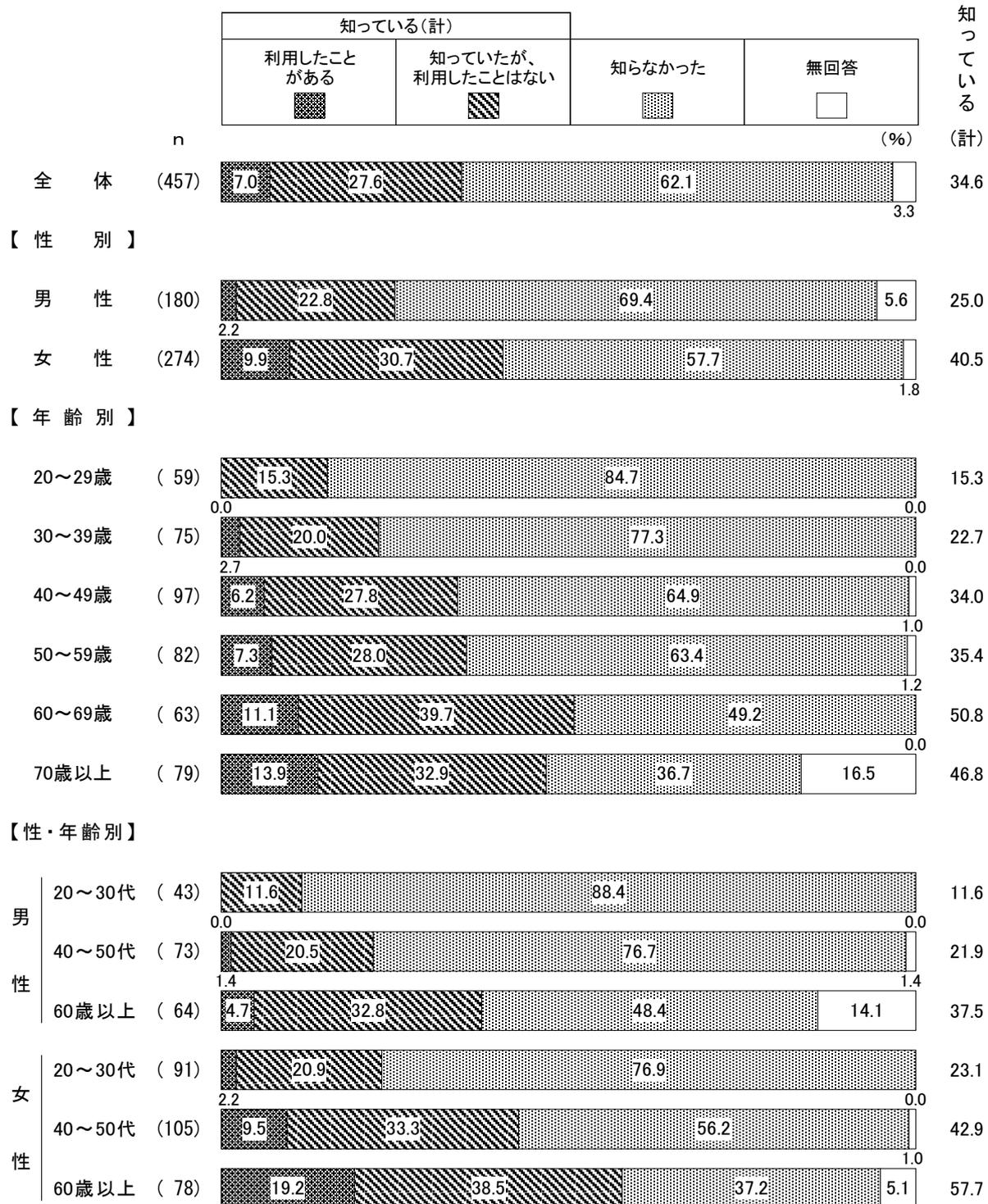


<性別、年齢別、性・年齢別> ②「公民館主催講座」

性別でみると、「利用したことがある」は女性（9.9%）が男性（2.2%）より7.7ポイント高くなっている。『知っている（計）』は女性（40.5%）が男性（25.0%）より15.5ポイント高くなっている。

年齢別でみると、『知っている（計）』はおおむね年齢が上がるにつれて高くなっており、60～69歳で50.8%となっている。一方、「知らなかった」は20～29歳で84.7%と高くなっている。

性・年齢別でみると、『知っている（計）』は女性60歳以上で57.7%と高くなっている。一方、「知らなかった」は男性20～30代で88.4%と高くなっている。

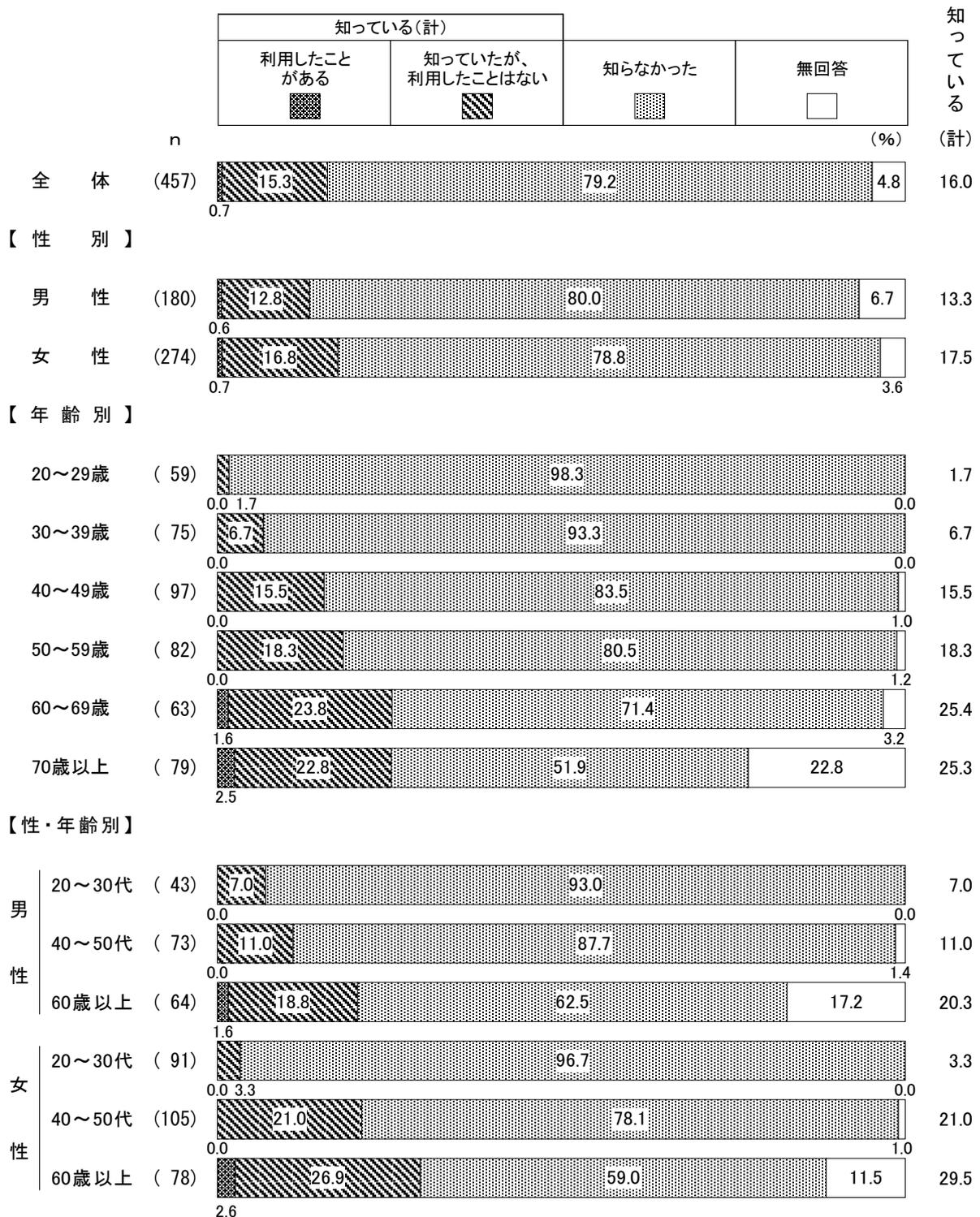


＜性別、年齢別、性・年齢別＞ ③「戸田人材の森（生涯学習人材バンク）」

性別で見ると、『知っている（計）』は女性（17.5%）が男性（13.3%）より4.2ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、『知っている（計）』はおおむね年齢が上がるにつれて高くなっており、60～69歳で25.4%、70歳以上で25.3%となっている。一方、「知らなかった」は20～29歳で98.3%、30～39歳で93.3%と高くなっている。

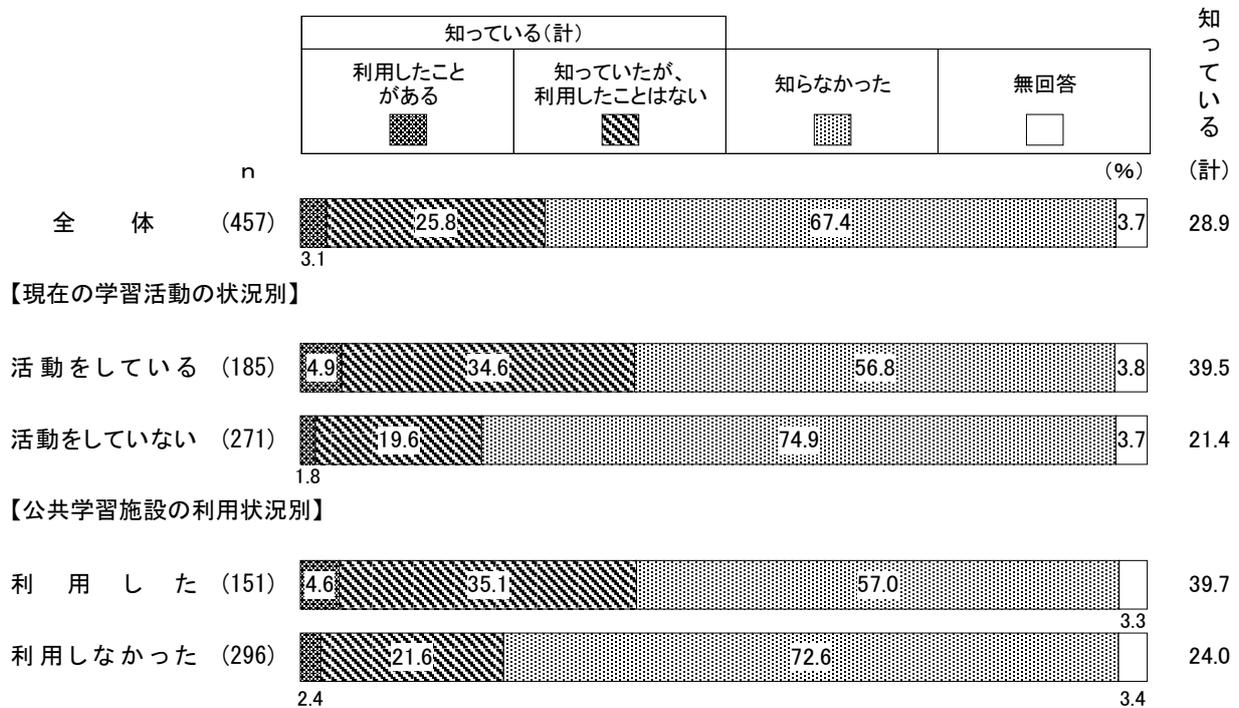
性・年齢別で見ると、『知っている（計）』は女性60歳以上で29.5%と高くなっている。一方、「知らなかった」は女性20～30代で96.7%、男性20～30代で93.0%と高くなっている。



＜現在の学習活動の状況別、公共学習施設の利用状況別＞ ①「戸田市民大学（戸田市民大学認定講座）」

現在の学習活動の状況別でみると、『知っている（計）』は現在学習活動をしている人（39.5%）が活動をしていない人（21.4%）より18.1ポイント高くなっている。

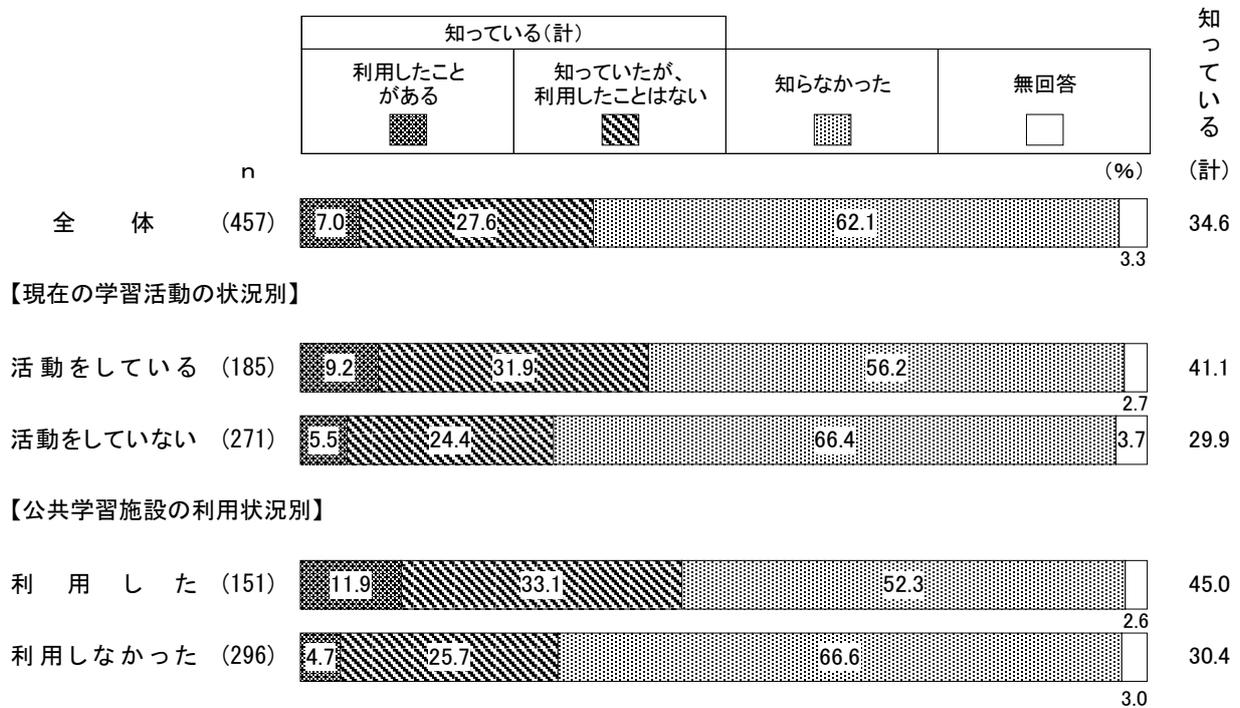
公共学習施設の利用状況別でみると、『知っている（計）』は公共学習施設を利用した人（39.7%）が利用しなかった人（24.0%）より15.7ポイント高くなっている。



＜現在の学習活動の状況別、公共学習施設の利用状況別＞ ②「公民館主催講座」

現在の学習活動の状況別でみると、『知っている（計）』は現在学習活動をしている人（41.1%）が活動をしていない人（29.9%）より11.2ポイント高くなっている。

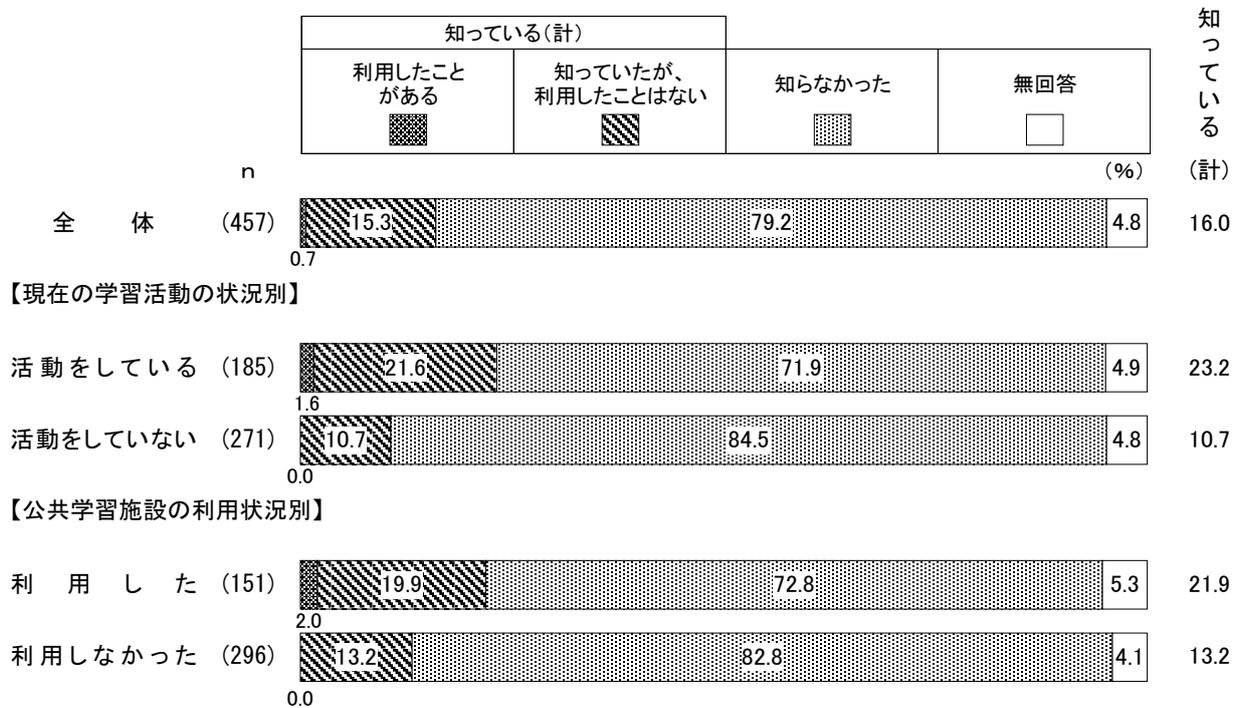
公共学習施設の利用状況別でみると、『知っている（計）』は公共学習施設を利用した人（45.0%）が利用しなかった人（30.4%）より14.6ポイント高くなっている。



＜現在の学習活動の状況別、公共学習施設の利用状況別＞ ③「戸田人材の森（生涯学習人材バンク）」

現在の学習活動の状況別でみると、『知っている（計）』は現在学習活動をしている人（23.2%）が活動をしていない人（10.7%）より12.5ポイント高くなっている。

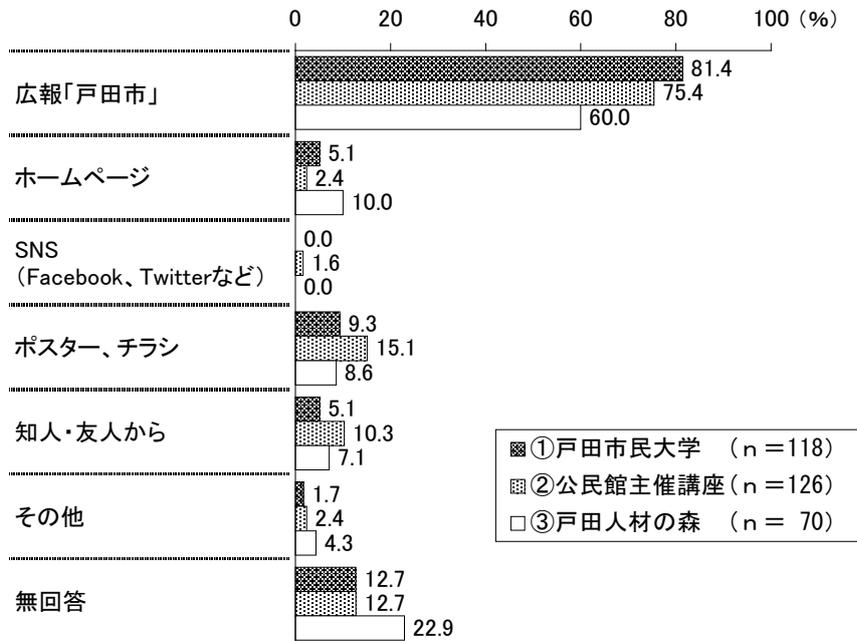
公共学習施設の利用状況別でみると、『知っている（計）』は公共学習施設を利用した人（21.9%）が利用しなかった人（13.2%）より8.7ポイント高くなっている。



(2) 「市民向け生涯学習事業」の認知方法

◇「広報『戸田市』」での認知が“戸田市民大学”は81.4%、“公民館主催講座”は75.4%、“戸田人材の森”は60.0%

【問14の①から③について、「知っていたが、利用したことはない」と答えた方にお聞きします】
 問14-1 あなたは、どこで「戸田市民大学」「公民館主催講座」「戸田人材の森」を知りましたか。（いくつでも○印）



「市民向け生涯学習事業を知っていたが、利用したことはない」と答えた方に、認知方法を聞いたところ、“戸田市民大学”では「広報『戸田市』」が81.4%で最も高く、次いで「ポスター、チラシ」(9.3%)、「知人・友人から」(5.1%)と続いている。

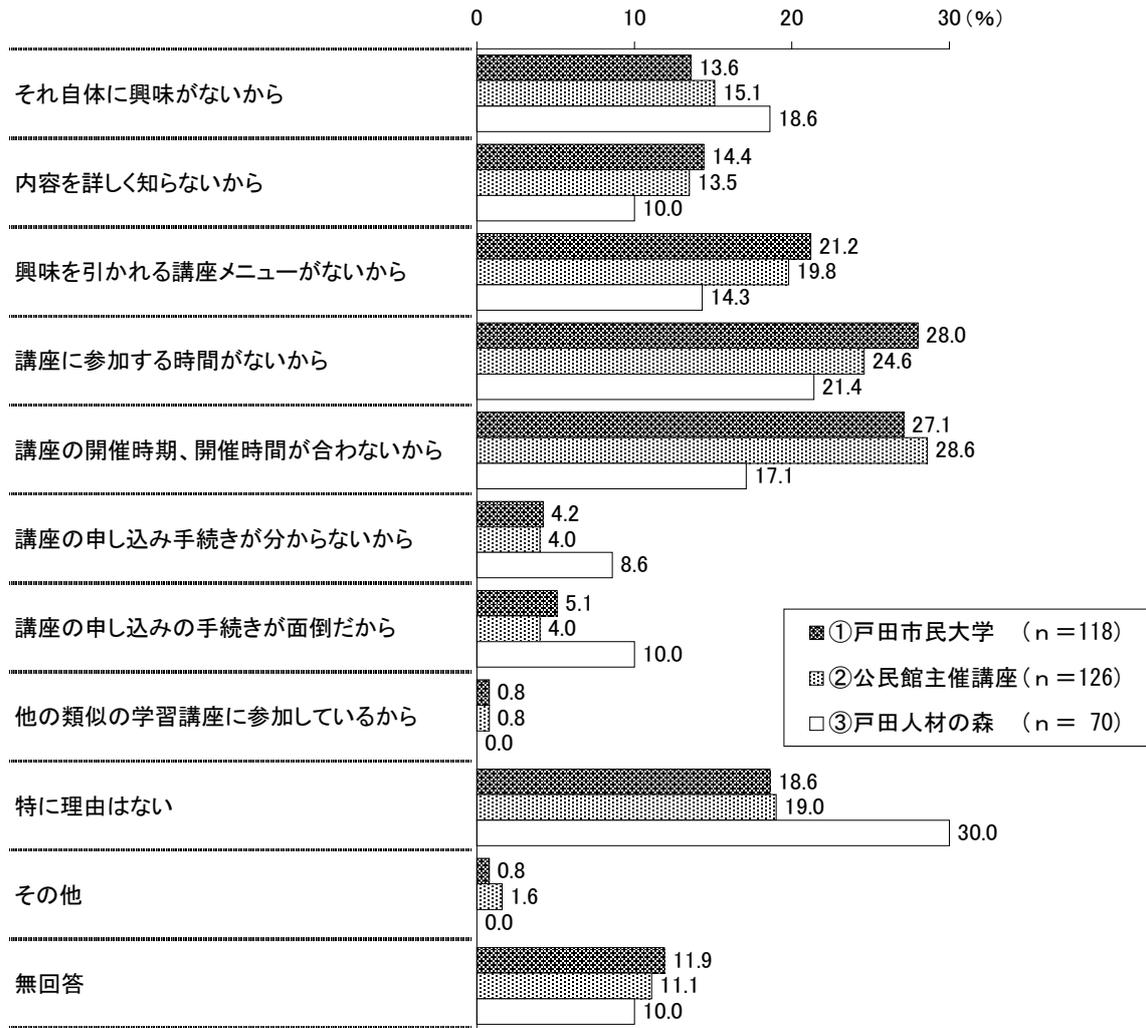
“公民館主催講座”では「広報『戸田市』」が75.4%で最も高く、次いで「ポスター、チラシ」(15.1%)、「知人・友人から」(10.3%)と続いている。

“戸田人材の森”では「広報『戸田市』」が60.0%で最も高く、次いで「ホームページ」(10.0%)、「ポスター、チラシ」(8.6%)と続いている。

(3) 「市民向け生涯学習事業」の認知かつ非利用の理由

- ◇ “戸田市民大学”では「講座に参加する時間がないから」が28.0%
- “公民館主催講座”では「講座の開催時期、開催時間が合わないから」が28.6%
- “戸田人材の森”では「特に理由はない」が30.0%

【問14の①から③について、「知っていたが、利用したことはない」と答えた方にお聞きます】
 問14-2 あなたが利用しなかった理由は何ですか。（いくつでも〇印）



「市民向け生涯学習事業を知っていたが、利用したことはない」と答えた方に、利用しなかった理由を聞いたところ、「戸田市民大学」では「講座に参加する時間がないから」が28.0%で最も高く、次いで「講座の開催時期、開催時間が合わないから」(27.1%)、「興味を引かれる講座メニューがないから」(21.2%)と続いている。

“公民館主催講座”では「講座の開催時期、開催時間が合わないから」が28.6%で最も高く、次いで「講座に参加する時間がないから」(24.6%)、「興味を引かれる講座メニューがないから」(19.8%)と続いている。

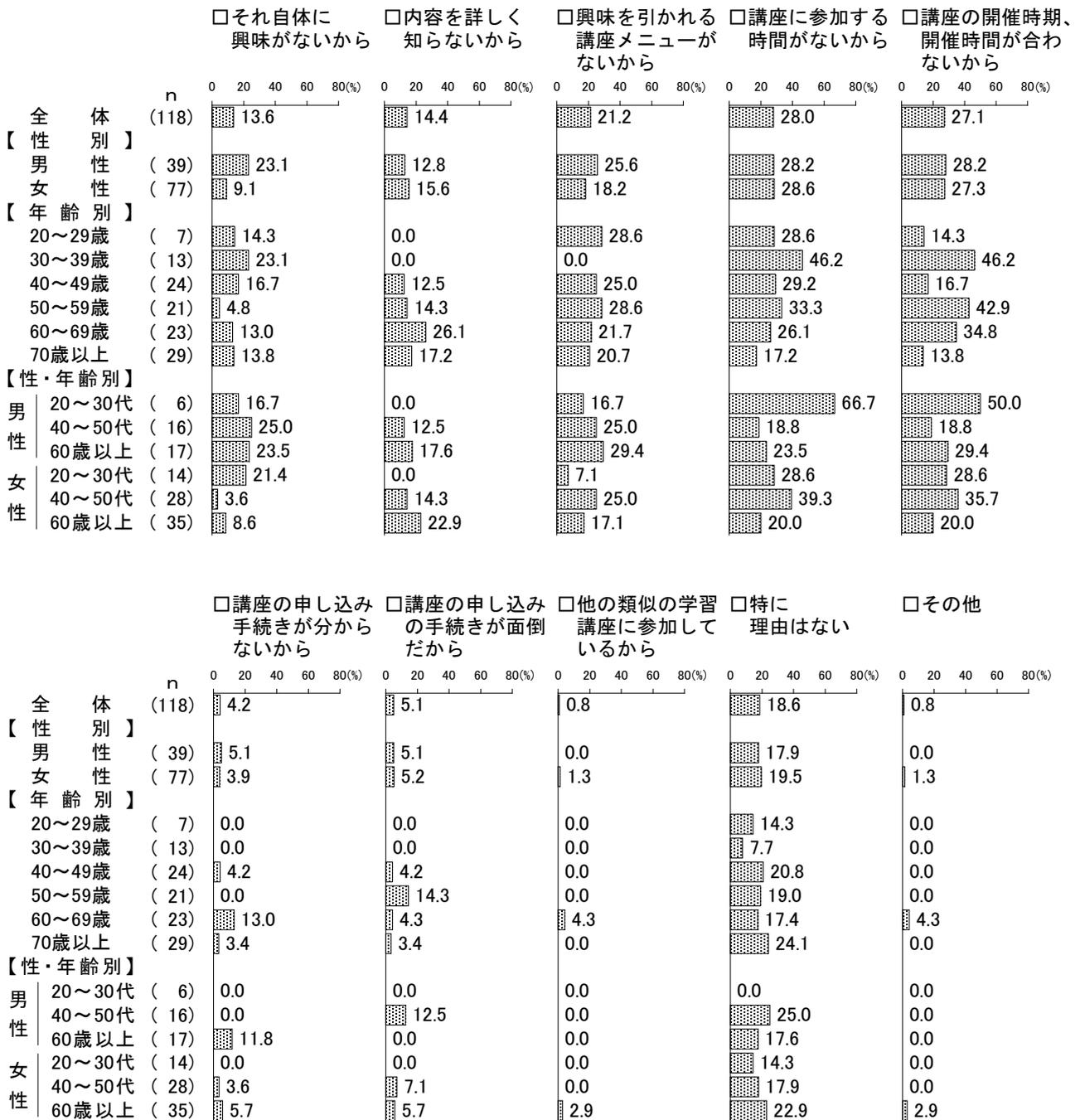
“戸田人材の森”では「特に理由はない」が30.0%で最も高く、次いで「講座に参加する時間がないから」(21.4%)、「それ自体に興味がないから」(18.6%)と続いている。

<性別、年齢別、性・年齢別> ①「戸田市民大学」

性別で見ると、「それ自体に興味がないから」は男性（23.1%）が女性（9.1%）より14.0ポイント、「興味を引かれる講座メニューがないから」は男性（25.6%）が女性（18.2%）より7.4ポイント、それぞれ高くなっている。

n値の少ない属性（20～29歳）を除いた年齢別で見ると、「講座に参加する時間がないから」は30～39歳で46.2%と高くなっている。「講座の開催時期、開催時間が合わないから」は30～39歳で46.2%、50～59歳で42.9%と高くなっている。

また、n値の少ない属性（男性20～30代）を除いた性・年齢別で見ると、「講座に参加する時間がないから」は女性40～50代で39.3%と高くなっている。「講座の開催時期、開催時間が合わないから」は女性40～50代で35.7%と高くなっている。



※回答者数が10に満たないものについては図示するに留め、この報告書の中では特に取り上げていない。

<性別、年齢別、性・年齢別> ②「公民館主催講座」

性別で見ると、「それ自体に興味がないから」は男性（24.4%）が女性（10.7%）より13.7ポイント高くなっている。一方、「講座の開催時期、開催時間が合わないから」は女性（32.1%）が男性（19.5%）より12.6ポイント高くなっている。

n値の少ない属性（20～29歳）を除いた年齢別で見ると、「講座に参加する時間がないから」は30～39歳で53.3%と高くなっている。「講座の開催時期、開催時間が合わないから」は50～59歳で52.2%と高くなっている。

また、n値の少ない属性（男性20～30代）を除いた性・年齢別で見ると、「興味を引かれる講座メニューがないから」は男性40～50代で33.3%と高くなっている。「講座の開催時期、開催時間が合わないから」は女性40～50代で40.0%と高くなっている。



※回答者数が10に満たないものについては図示するに留め、この報告書の中では特に取り上げていない。

<性別、年齢別、性・年齢別> ③「戸田人材の森」

性別でみると、「講座の開催時期、開催時間が合わないから」は女性（21.7%）が男性（8.7%）より13.0ポイント高くなっている。一方、「それ自体に興味がないから」は男性（26.1%）が女性（15.2%）より10.9ポイント、「内容を詳しく知らないから」は男性（17.4%）が女性（6.5%）より10.9ポイント、「内容を詳しく知らないから」は男性（17.4%）が女性（6.5%）より10.9ポイント、それぞれ高くなっている。

n値の少ない属性（20～29歳・30～39歳）を除いた年齢別でみると、年齢別でみると、「それ自体に興味がないから」は40～49歳で33.3%と高くなっている。「講座の開催時期、開催時間が合わないから」は50～59歳で40.0%と高くなっている。

また、n値の少ない属性（男性20～30代・40～50代、女性20～30代）を除いた性・年齢別でみると、「それ自体に興味がないから」は男性60歳以上で33.3%と高くなっている。



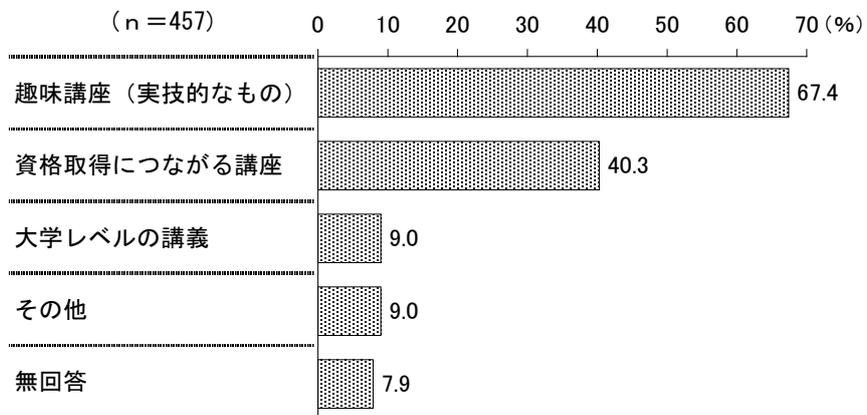
※回答者数が10に満たないものについては図示するに留め、この報告書の中では特に取り上げていない。

(4) 開催を希望する講座

◇「趣味講座（実技的なもの）」が67.4%

問15 あなたはどのような内容の講座（市主催）を開催してほしいと思いますか。

（いくつでも○印）



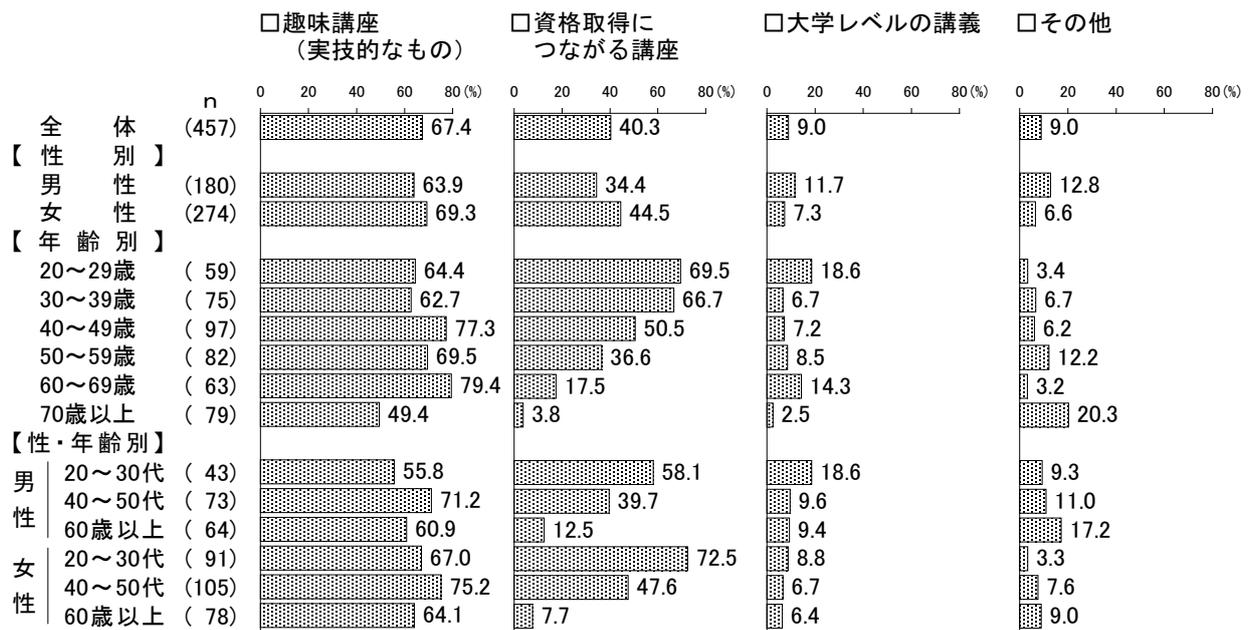
開催を希望する講座を聞いたところ、「趣味講座（実技的なもの）」が67.4%で最も高く、次いで「資格取得につながる講座」（40.3%）、「大学レベルの講義」（9.0%）と続いている。

＜性別、年齢別、性・年齢別＞

性別でみると、「資格取得につながる講座」は女性（44.5%）が男性（34.4%）より10.1ポイント高くなっている。一方、「大学レベルの講義」は男性（11.7%）が女性（7.3%）より4.4ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「趣味講座（実技的なもの）」は60～69歳で79.4%、40～49歳で77.3%と高くなっている。「資格取得につながる講座」は年齢が下がるにつれて高くなっており、20～29歳で69.5%となっている。

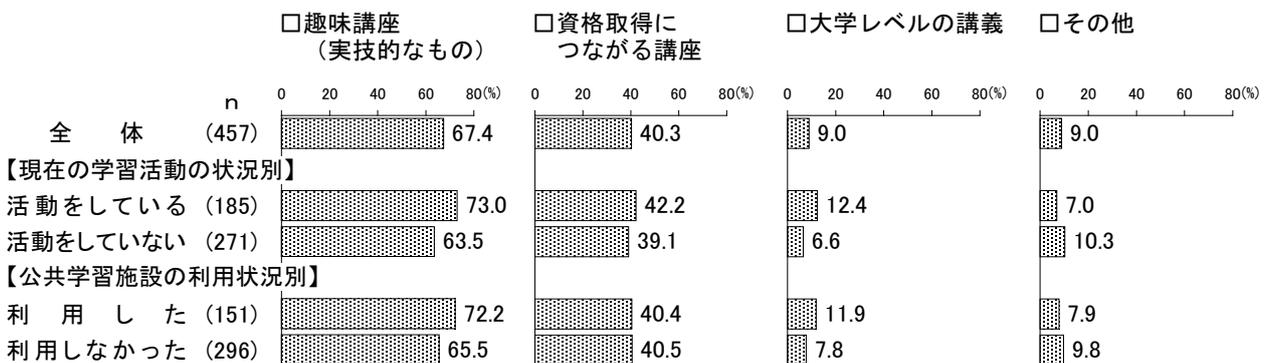
性・年齢別でみると、「趣味講座（実技的なもの）」は女性40～50代で75.2%と高くなっている。「資格取得につながる講座」は女性20～30代で72.5%と高くなっている。



＜現在の学習活動の状況別、公共学習施設の利用状況別＞

現在の学習活動の状況別でみると、「趣味講座（実技的なもの）」は現在学習活動をしている人（73.0%）が活動をしていない人（63.5%）より9.5ポイント高くなっている。

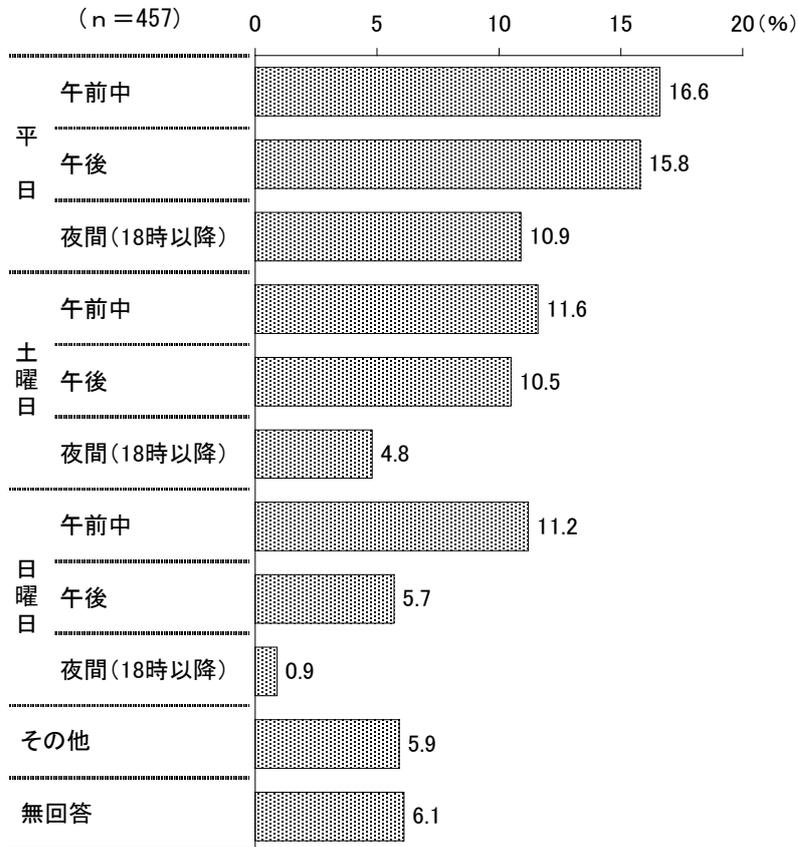
公共学習施設の利用状況別でみると、「趣味講座（実技的なもの）」は公共学習施設を利用した人（72.2%）が利用しなかった人（65.5%）より6.7ポイント高くなっている。



(5) 講座に参加する場合に都合のよい日時

◇「平日の午前中」が16.6%

問16 あなたが講座（市主催）に参加する場合、最も都合のよい開催日、時間帯はいつですか。（1つだけに○印）



講座に参加する場合に都合のよい日時を聞いたところ、「平日の午前中」が16.6%で最も高く、次いで「平日の午後」（15.8%）、「土曜日の午前中」（11.6%）、「日曜日の午前中」（11.2%）と続いている。

<性別、年齢別、性・年齢別>

性別でみると、「平日の午前中」は女性（21.9%）が男性（8.9%）より13.0ポイント高くなっている。一方、「日曜日の午前中」は男性（15.6%）が女性（8.4%）より7.2ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「平日の午前中」は60～69歳で23.8%と高くなっている。「平日の午後」は70歳以上で31.6%、60～69歳で27.0%と高くなっている。「平日の夜間（18時以降）」は20～29歳で25.4%と高くなっている。

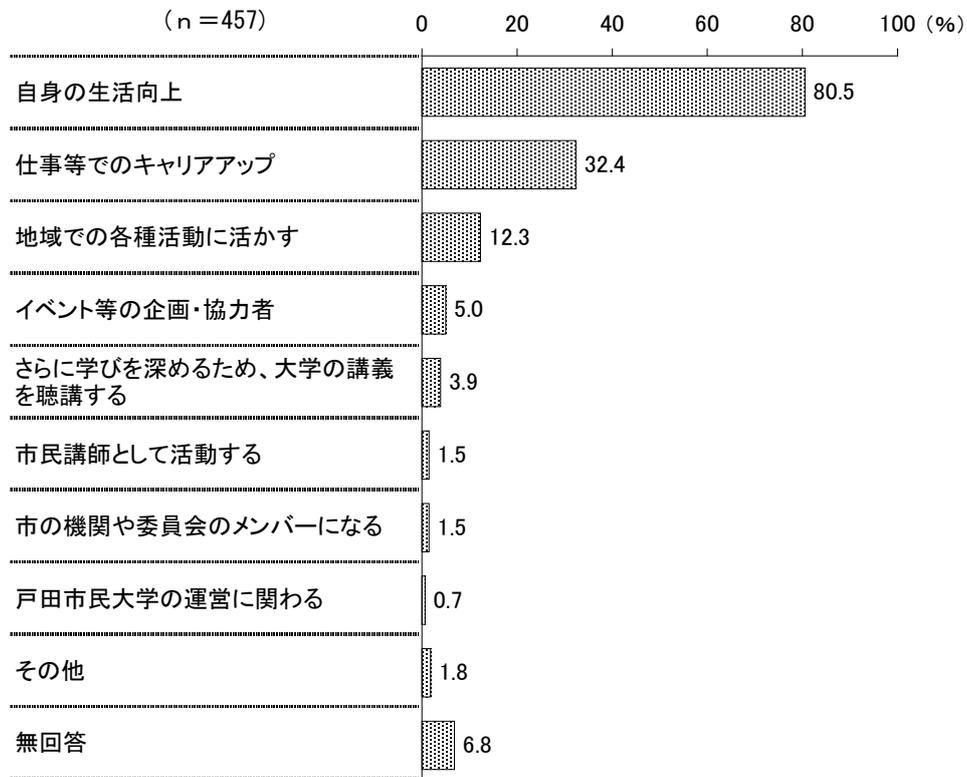
性・年齢別でみると、「平日の午前中」は女性60歳以上で26.9%と高くなっている。「平日の午後」は女性60歳以上で32.1%、男性60歳以上で26.6%と高くなっている。「日曜日の午前中」は男性40～50代で24.7%と高くなっている。



(6) 講座の受講を修了した場合に活かしたい場面

◇「自身の生活向上」が80.5%

問17 あなたが講座（市主催）を受講および終了した場合、学んだことをどのような場面で活かしたらよいと思いますか。（いくつでも○印）



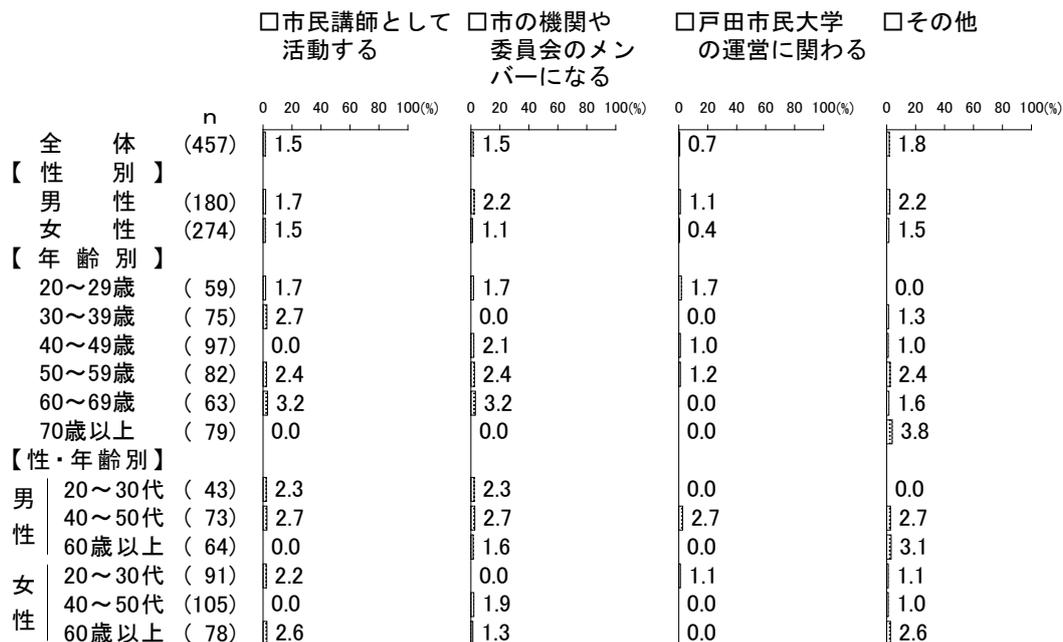
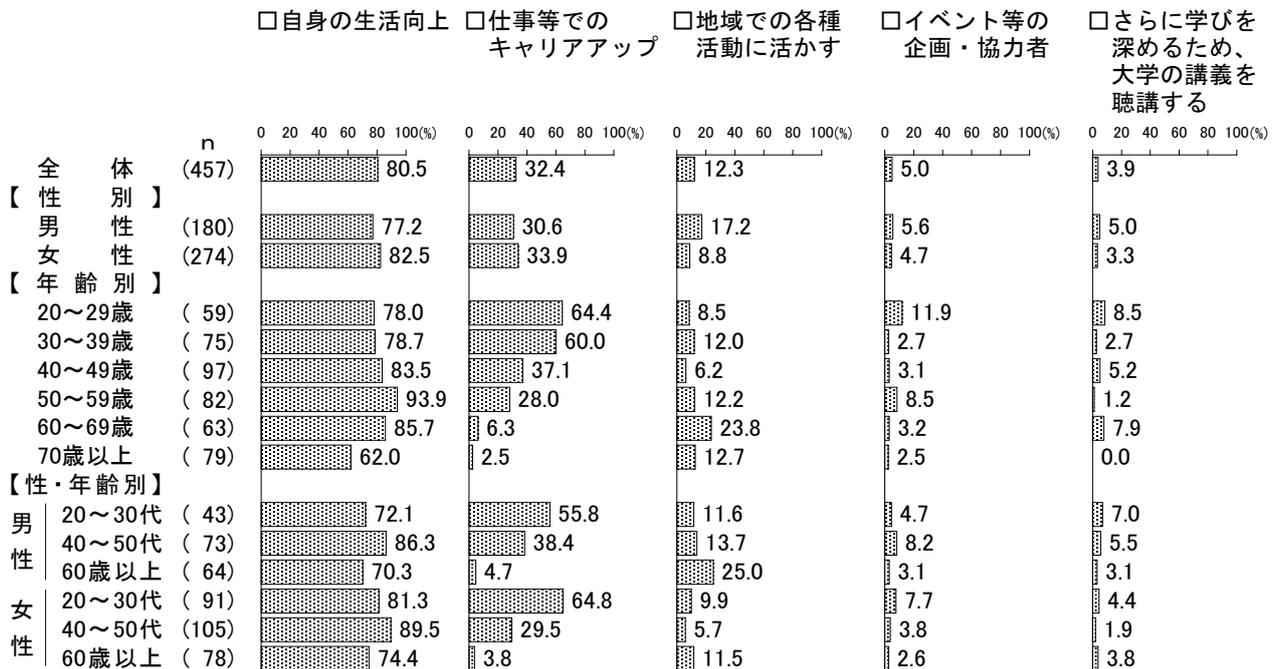
講座の受講を修了した場合に活かしたい場面を聞いたところ、「自身の生活向上」が80.5%で最も高く、次いで「仕事等でのキャリアアップ」(32.4%)、「地域での各種活動に活かす」(12.3%)、「イベント等の企画・協力者」(5.0%)と続いている。

＜性別、年齢別、性・年齢別＞

性別で見ると、「地域での各種活動に活かす」は男性（17.2%）が女性（8.8%）より8.4ポイント高くなっている。一方、「自身の生活向上」は女性（82.5%）が男性（77.2%）より5.3ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、「自身の生活向上」は50～59歳で93.9%と高くなっている。「仕事等でのキャリアアップ」は年齢が下がるにつれて高くなっており、20～29歳で64.4%となっている。

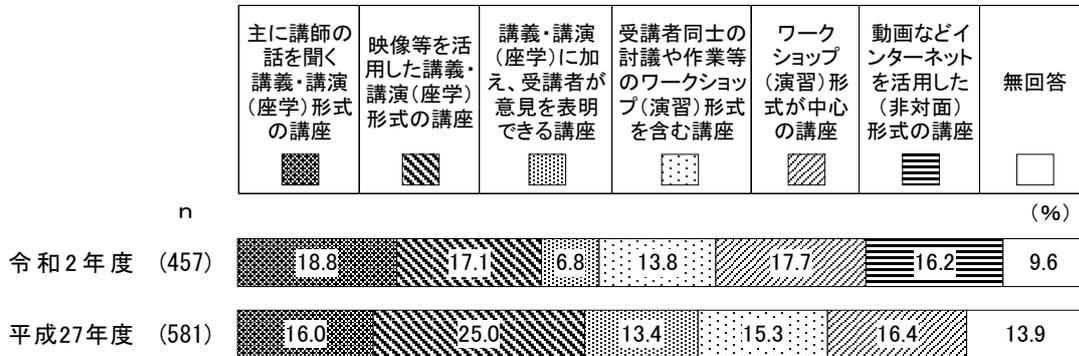
性・年齢別で見ると、「自身の生活向上」は女性40～50代で89.5%、男性40～50代で86.3%と高くなっている。「仕事等でのキャリアアップ」は女性20～30代で64.8%、男性20～30代で55.8%と高くなっている。



(7) 受講したいと思う市民向け講座の開催形式（進め方）

◇「主に講師の話を聞く講義・講演（座学）形式の講座」が18.8%

問18 どのような進め方（形式）の講座であれば、あなたは、市民向けの学習講座を受講したいと思いますか。最もあてはまるものに1つだけ○印をしてください。



※「動画などインターネットを活用した（非対面）形式の講座」は令和2年度から追加された選択肢

受講したいと思う市民向け講座の開催形式を聞いたところ、「主に講師の話を聞く講義・講演（座学）形式の講座」が18.8%で最も高く、次いで「ワークショップ（演習）形式が中心の講座」（17.7%）、「映像等を活用した講義・講演（座学）形式の講座」（17.1%）、「動画などインターネットを活用した（非対面）形式の講座」（16.2%）と続いている。

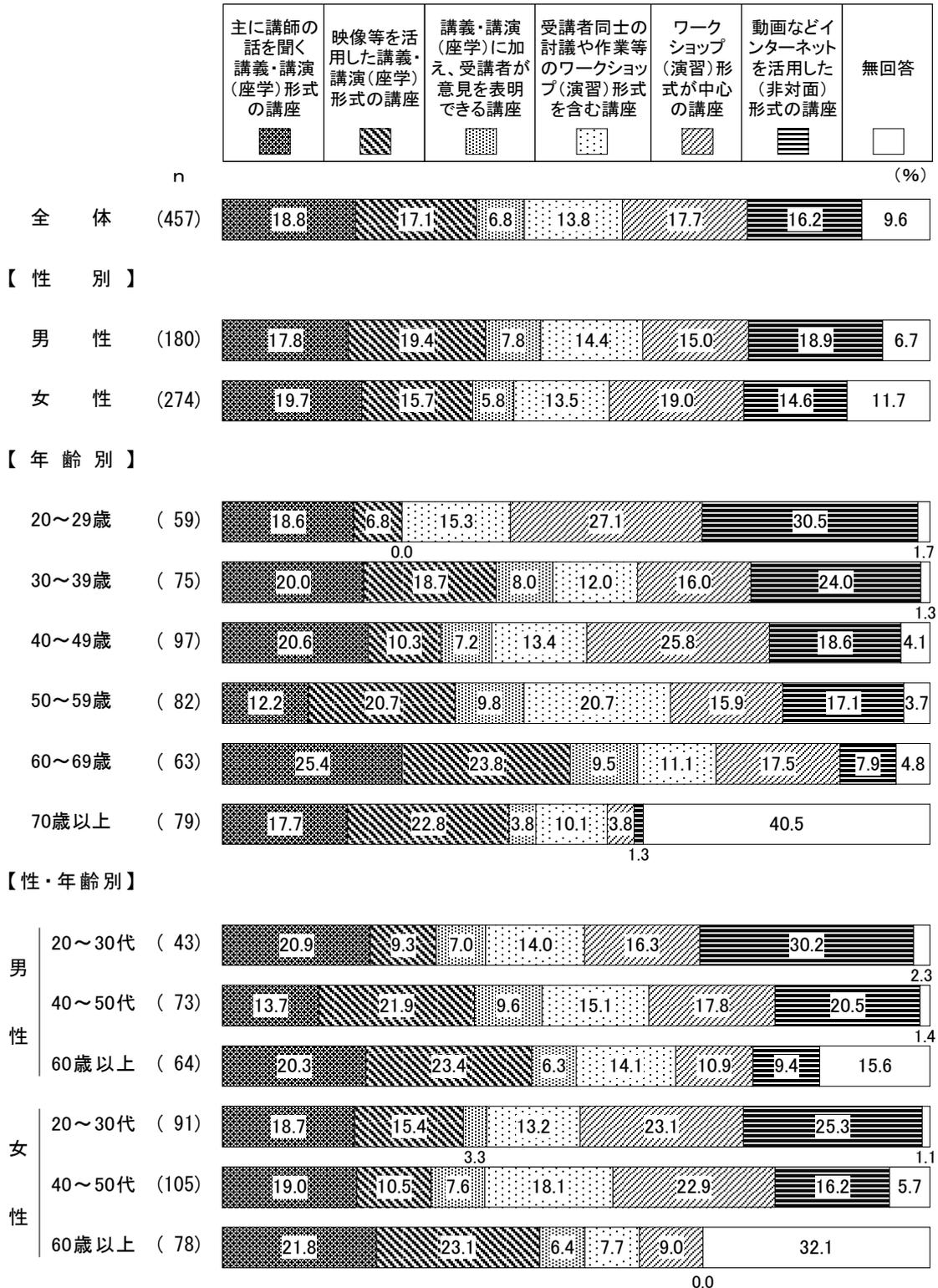
過去の調査結果との比較は選択肢が追加されているため、参考に図示する。

＜性別、年齢別、性・年齢別＞

性別でみると、「動画などインターネットを活用した（非対面）形式の講座」は男性（18.9%）が女性（14.6%）より4.3ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「動画などインターネットを活用した（非対面）形式の講座」は年齢が下がるにつれて高くなっており、20～29歳で30.5%となっている。「ワークショップ（演習）形式が中心の講座」は20～29歳で27.1%と高くなっている。一方、「講義・講演（座学）に加え、受講者が意見を表明できる講座」は0.0%となっている。

性・年齢別でみると、「動画などインターネットを活用した（非対面）形式の講座」は男性20～30代で30.2%と高くなっている。

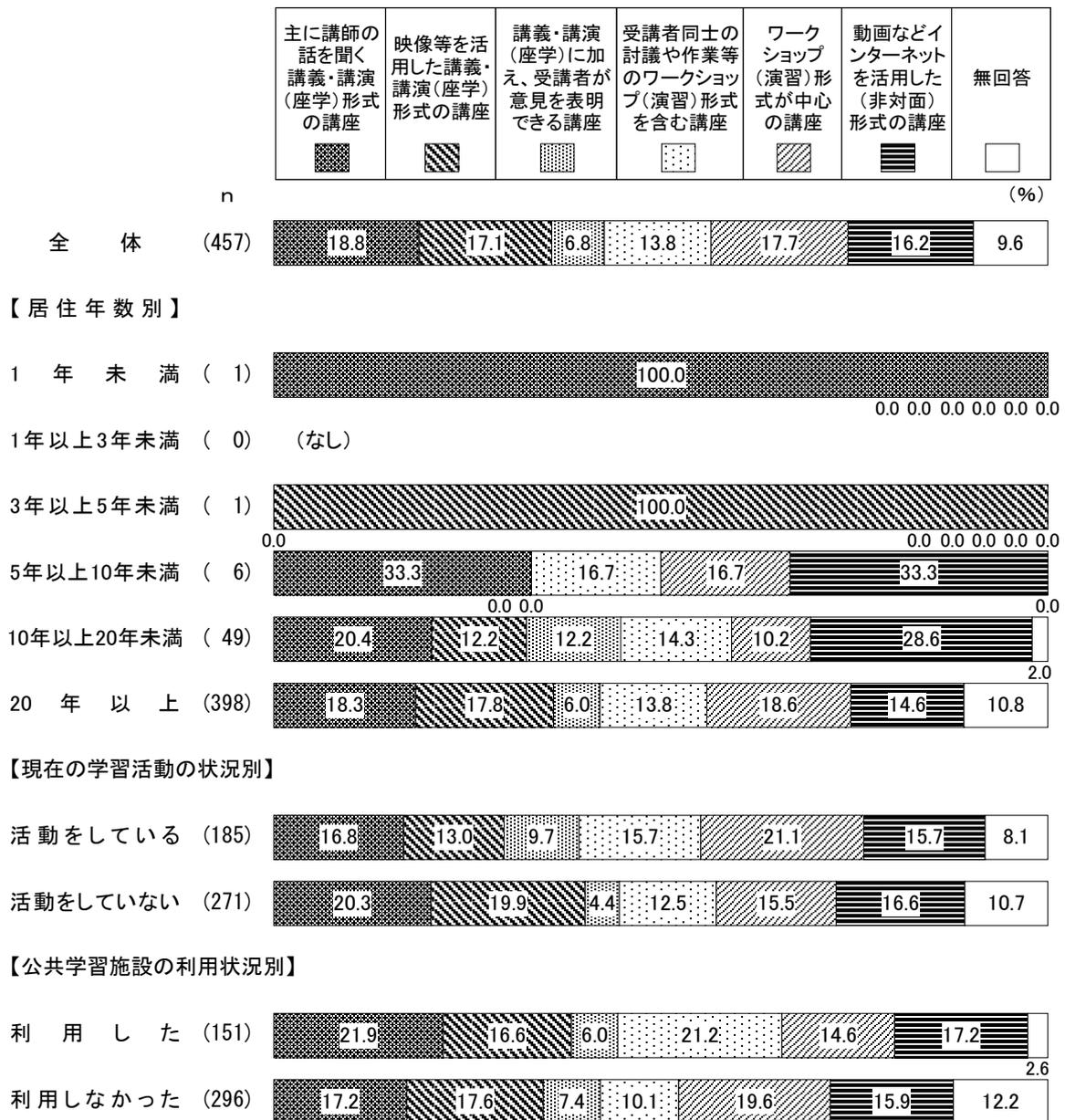


＜居住年数別、現在の学習活動の状況別、公共学習施設の利用状況別＞

居住年数別でみると、「動画などインターネットを活用した（非対面）形式の講座」は10年以上20年未満で28.6%と高くなっている。

現在の学習活動の状況別でみると、「映像等を活用した講義・講演（座学）形式の講座」は現在学習活動をしていない人（19.9%）が活動をしている人（13.0%）より6.9ポイント高くなっている。一方、「ワークショップ（演習）形式が中心の講座」は現在学習活動をしている人（21.1%）が活動をしていない人（15.5%）より5.6ポイント高くなっている。

公共学習施設の利用状況別でみると、「受講者同士の討議や作業等のワークショップ（演習）形式を含む講座」は公共学習施設を利用した人（21.2%）が利用しなかった人（10.1%）より11.1ポイント高くなっている。一方、「ワークショップ（演習）形式が中心の講座」は公共学習施設を利用しなかった人（19.6%）が利用した人（14.6%）より5.0ポイント高くなっている。



6 市民の生涯学習への意欲・関心（まちづくりへの参加を一視点として）

〔結果と課題（概要）〕

- ◇「学習活動を行うことが住民参加・住民主体のまちづくりの一步となると思う」と回答した人は63%であった。特に、20～30代においてその回答率は高く、学習活動とまちづくりの関連性について認識されており、将来まちづくりの担い手となることが期待される。
- ◇また、まちづくりの視点から参加したい具体的な学習活動としては、「スポーツ・文化活動のほか、学校をはじめ地域の子どもたちへの支援を目的とした学習活動への参加の意向が高い。男性20～30代は上記のほか、障害者や高齢者、外国人住民などの支援、女性20～30代は国際交流を目的とした学習活動への参加の意欲が高い。

(1) 生涯学習活動を行うことがまちづくりの第一歩となると思うか

◇『**そう思う（計）**』が**63.0%**

問19 あなたは、生涯学習活動を行うことが、住民主体・住民参加のまちづくりの第一歩となると思いますか。（1つだけに○印）



生涯学習活動を行うことがまちづくりの第一歩となると思うか聞いたところ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『**そう思う（計）**』は63.0%となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」と「思わない」を合わせた『**思わない（計）**』は31.1%となっている。

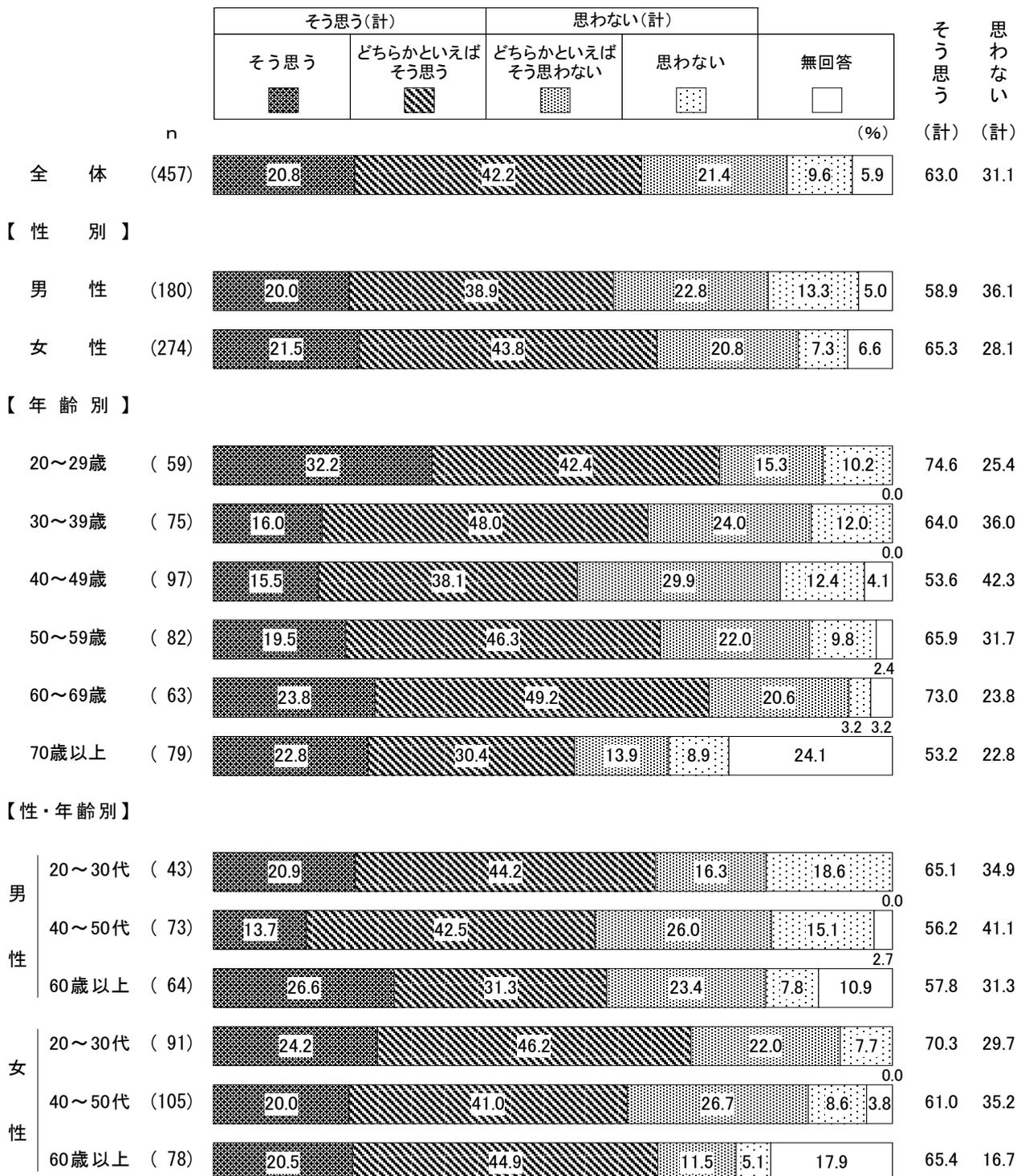
「Ⅲ 調査結果（個人） 6. 市民の生涯学習への意欲・関心
（まちづくりへの参加を一視点として）」

<性別、年齢別、性・年齢別>

性別でみると、『そう思う（計）』は女性（65.3%）が男性（58.9%）より6.4ポイント高くなっている。

年齢別でみると、『そう思う（計）』は20～29歳で74.6%、60～69歳で73.0%と高くなっている。一方、『思わない（計）』は40～49歳で42.3%と高くなっている。

性・年齢別でみると、『そう思う（計）』は女性20～30代で70.3%と高くなっている。一方、『思わない（計）』は男性40～50代で41.1%と高くなっている。

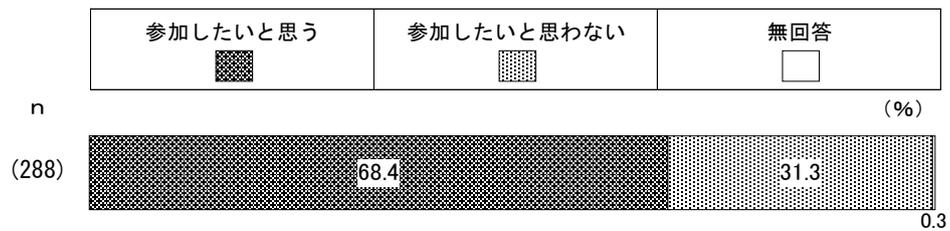


(2) 「まちづくりの視点」から考えたときの「学習活動」への参加意向

◇ 「参加したいと思う」が68.4%

【問19で、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた方にお聞きします】

問19-1 このようなまちづくりの視点から生涯学習活動を考えたとき、あなたは活動に参加したいと思えますか。（1つだけに○印）



「生涯学習活動を行うことがまちづくりの第一歩となると思う」と答えた方に、「まちづくりの視点」から考えたときの「学習活動」への参加意向を聞いたところ、「参加したいと思う」が68.4%、「参加したいと思わない」は31.3%となっている。

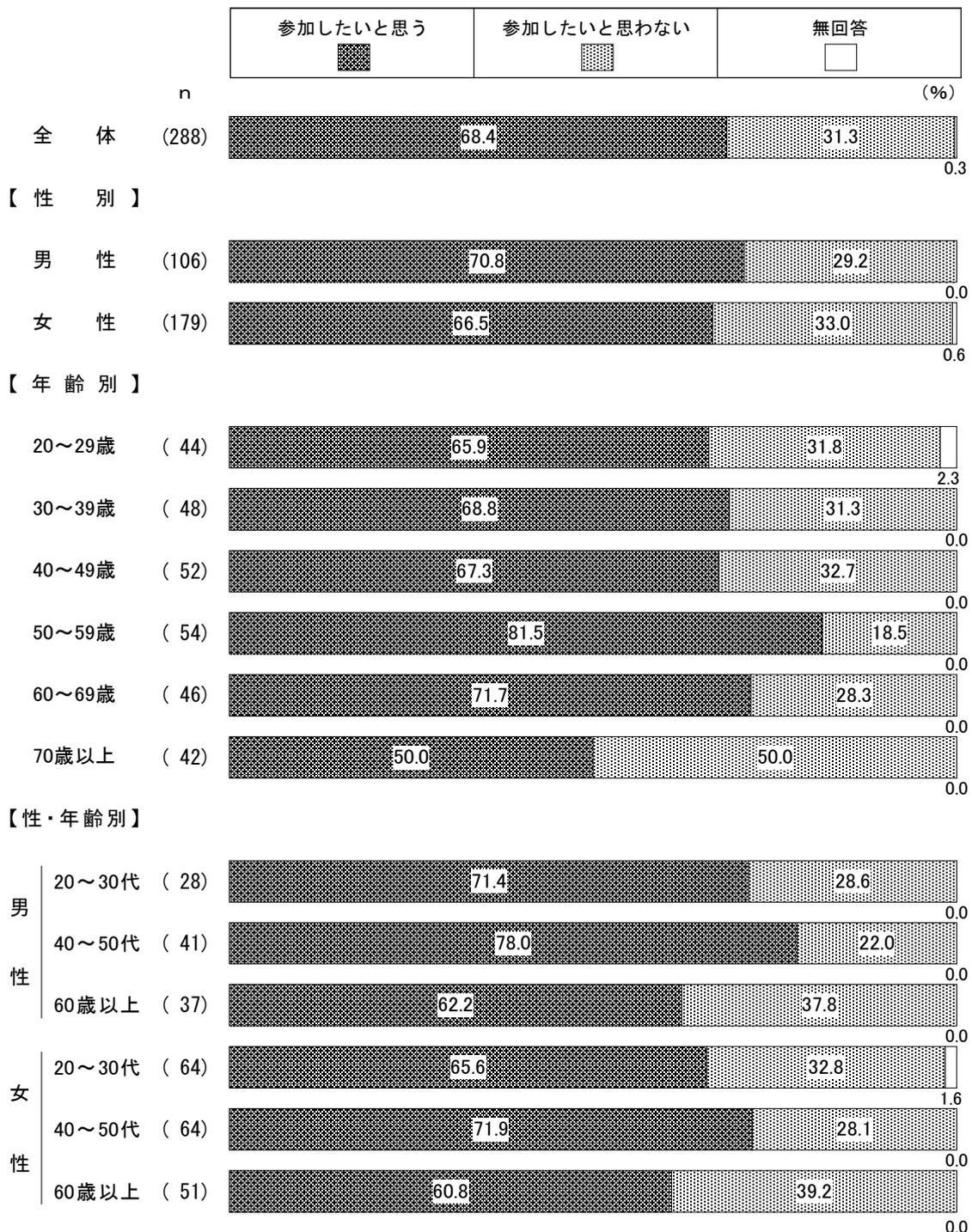
「Ⅲ 調査結果（個人） 6. 市民の生涯学習への意欲・関心
（まちづくりへの参加を一視点として）」

<性別、年齢別、性・年齢別>

性別で見ると、「参加したいと思う」は男性（70.8%）が女性（66.5%）より4.3ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、「参加したいと思う」は50～59歳で81.5%と高くなっている。一方、「参加したいと思わない」は70歳以上で50.0%と高くなっている。

性・年齢別で見ると、「参加したいと思う」は男性40～50代で78.0%と高くなっている。一方、「参加したいと思わない」は女性60歳以上で39.2%と高くなっている。

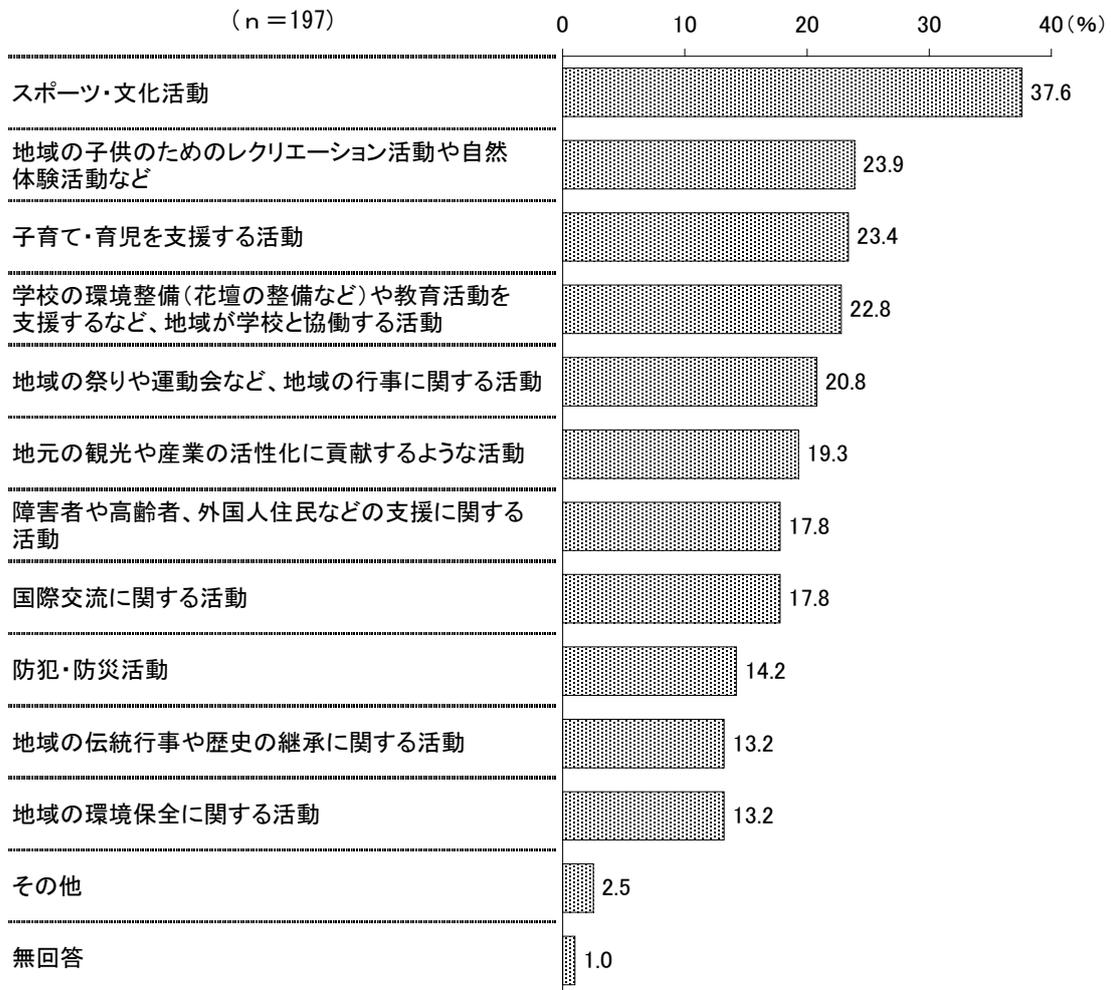


(3) 「まちづくりの視点」から参加したい具体的な「学習活動」

◇「スポーツ・文化活動」が37.6%

【問19-1で、「参加したいと思う」と答えた方にお聞きします】

問19-2 あなたはどのような活動に参加したいと思いますか。（いくつでも○印）



「まちづくりの視点から考えたとき、学習活動に参加したいと思う」と答えた方に、具体的な「学習活動」を聞いたところ、「スポーツ・文化活動」が37.6%で最も高く、次いで「地域の子供のためのレクリエーション活動や自然体験活動など」(23.9%)、「子育て・育児を支援する活動」(23.4%)、「学校の環境整備（花壇の整備など）や教育活動を支援するなど、地域が学校と協働する活動」(22.8%)と続いている。

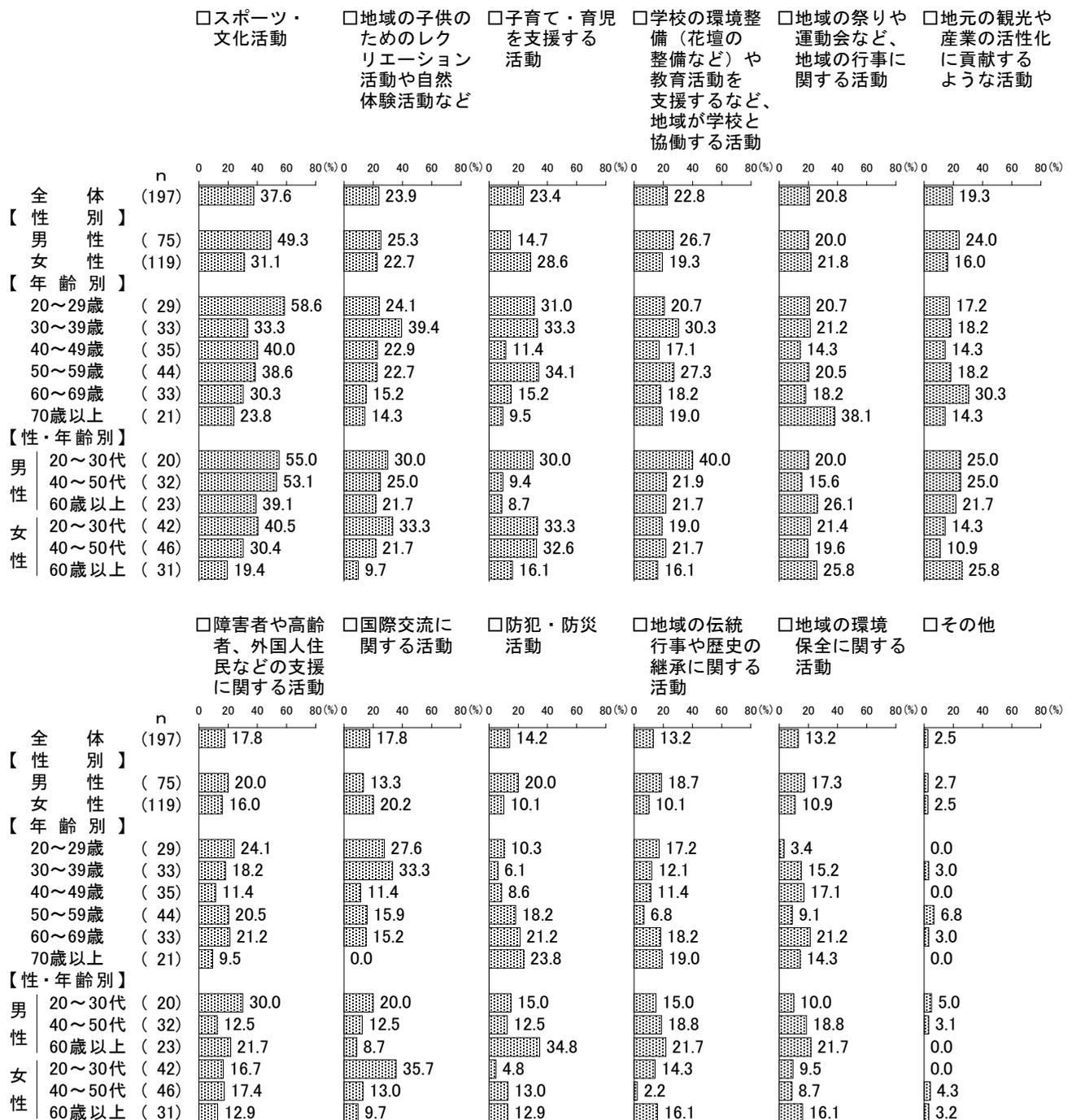
「Ⅲ 調査結果（個人） 6. 市民の生涯学習への意欲・関心
（まちづくりへの参加を一視点として）」

<性別、年齢別、性・年齢別>

性別で見ると、「スポーツ・文化活動」は男性（49.3%）が女性（31.1%）より18.2ポイント高くなっている。一方、「子育て・育児を支援する活動」は女性（28.6%）が男性（14.7%）より13.9ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、「スポーツ・文化活動」は20～29歳で58.6%と高くなっている。「地域の子供のためのレクリエーション活動や自然体験活動など」は30～39歳で39.4%と高くなっている。「地域の祭りや運動会など、地域の行事に関する活動」は70歳以上で38.1%と高くなっている。

性・年齢別で見ると、男性20～30代では「スポーツ・文化活動」が55.0%、「学校の環境整備（花壇の整備など）や教育活動を支援するなど、地域が学校と協働する活動」が40.0%、「障害者や高齢者、外国人住民などの支援に関する活動」が30.0%と高くなっている。「国際交流に関する活動」は女性20～30代で35.7%、「防犯・防災活動」は男性60歳以上で34.8%と高くなっている。



7 市の生涯学習環境づくりに向けての意見

〔結果と課題（概要）〕

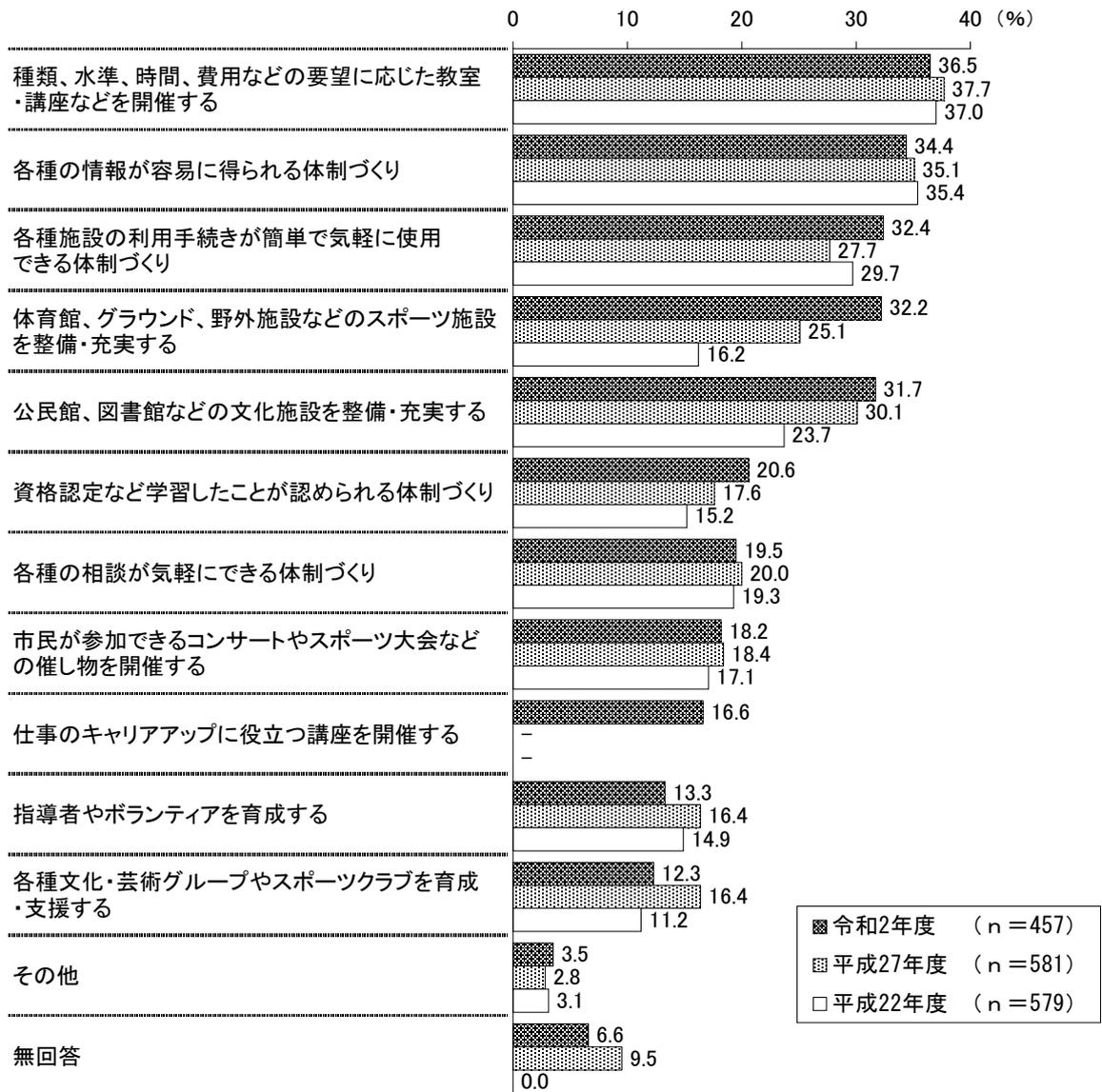
◇講座内容や情報体制といったソフト面の充実が上位だが、施設の設備・充実についても期待度が増している。

◇特に、女性の20～30代では、「資格認定など学習したことが認められる体制づくり」や、「仕事のキャリアアップに役立つ講座の開催」についてもニーズが高い。働き世代にとって参加しやすい講座の在り方や内容、関係課や民間企業等と連携した情報発信などについても検討していく必要がある。

(1) 生涯学習環境づくりに向けた施策の希望

◇「種類、水準、時間、費用などの要望に応じた教室・講座などを開催する」が36.5%

問20 あなたは戸田市の生涯学習を充実させ、盛んにするためにはどのような環境づくりが大切だと思われますか。（いくつでも○印）



※「仕事のキャリアアップに役立つ講座を開催する」は令和2年度から追加された選択肢
※平成22年度では回答個数を3つまでとしていた

生涯学習環境づくりに向けた施策の希望を聞いたところ、「種類、水準、時間、費用などの要望に応じた教室・講座などを開催する」が36.5%で最も高く、次いで「各種の情報が容易に得られる体制づくり」(34.4%)、「各種施設の利用手続きが簡単で気軽に使用できる体制づくり」(32.4%)と続いている。

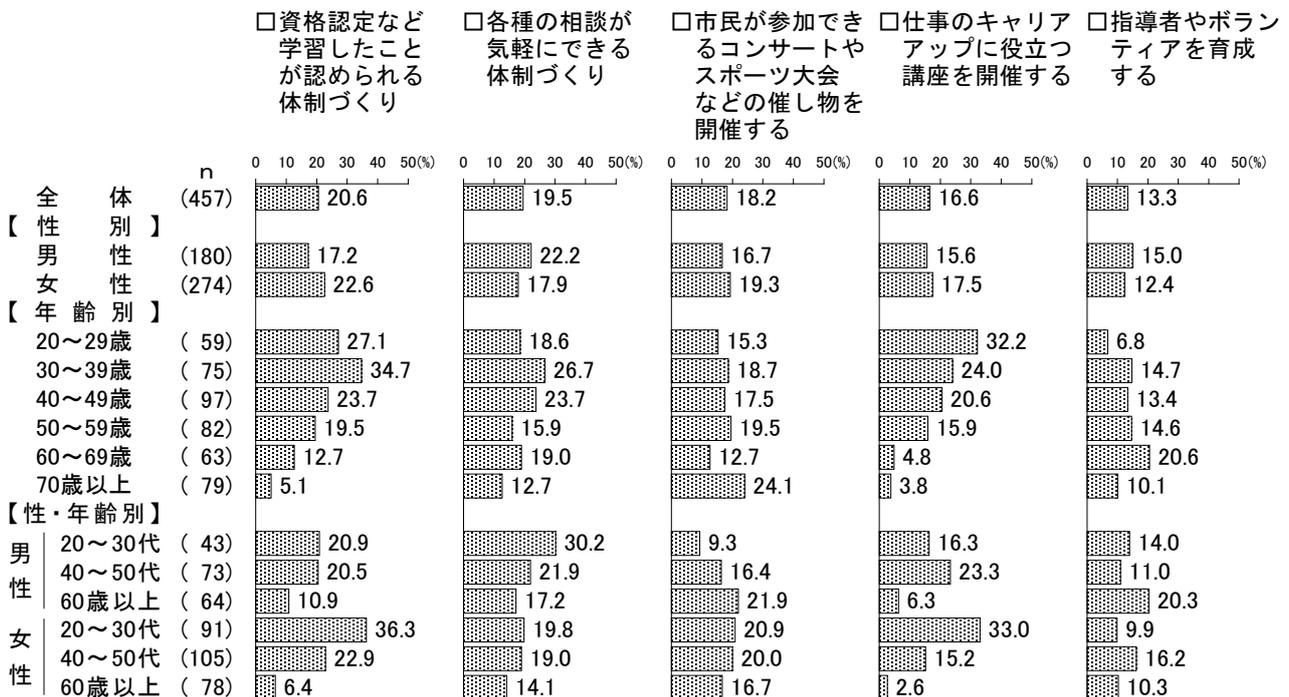
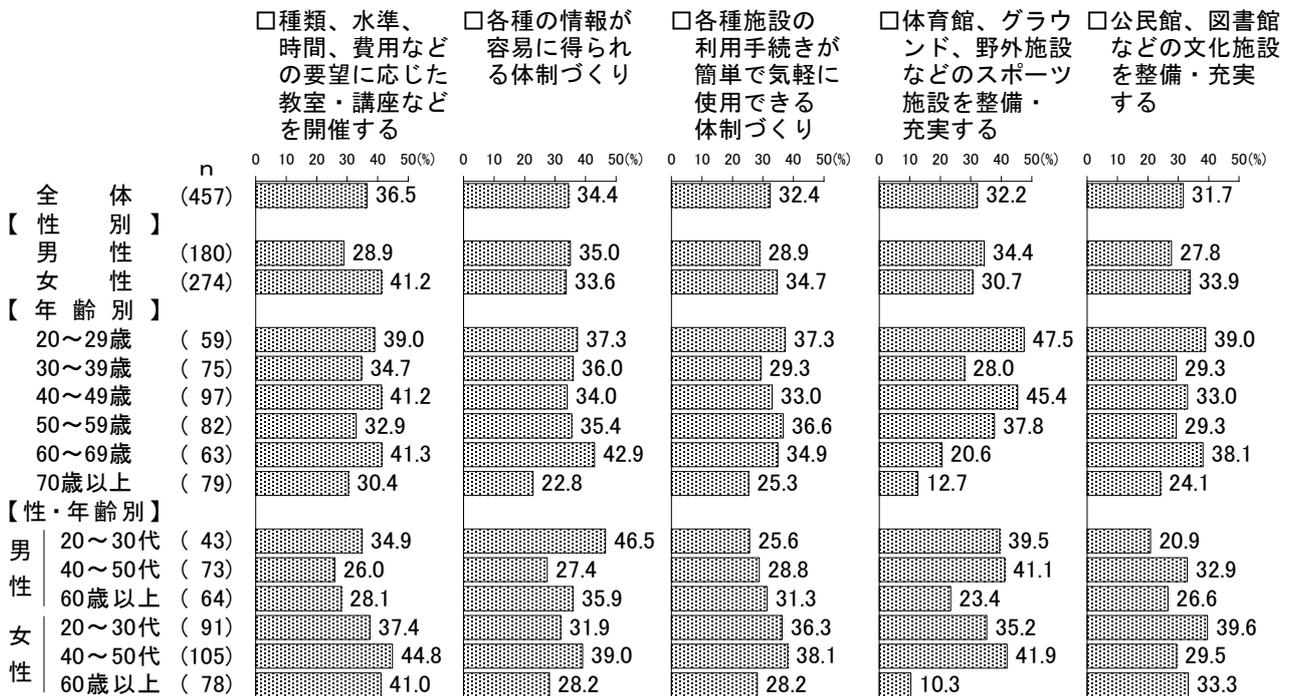
過去の調査結果と比較すると、「体育館、グラウンド、野外施設などのスポーツ施設を整備・充実する」は平成27年度より7.1ポイント増加している。

＜性別、年齢別、性・年齢別＞（上位10項目）

性別でみると、「種類、水準、時間、費用などの要望に応じた教室・講座などを開催する」は女性（41.2%）が男性（28.9%）より12.3ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「各種の情報が容易に得られる体制づくり」は60～69歳で42.9%と高くなっている。「体育館、グラウンド、野外施設などのスポーツ施設を整備・充実する」は20～29歳で47.5%、40～49歳で45.4%と高くなっている。

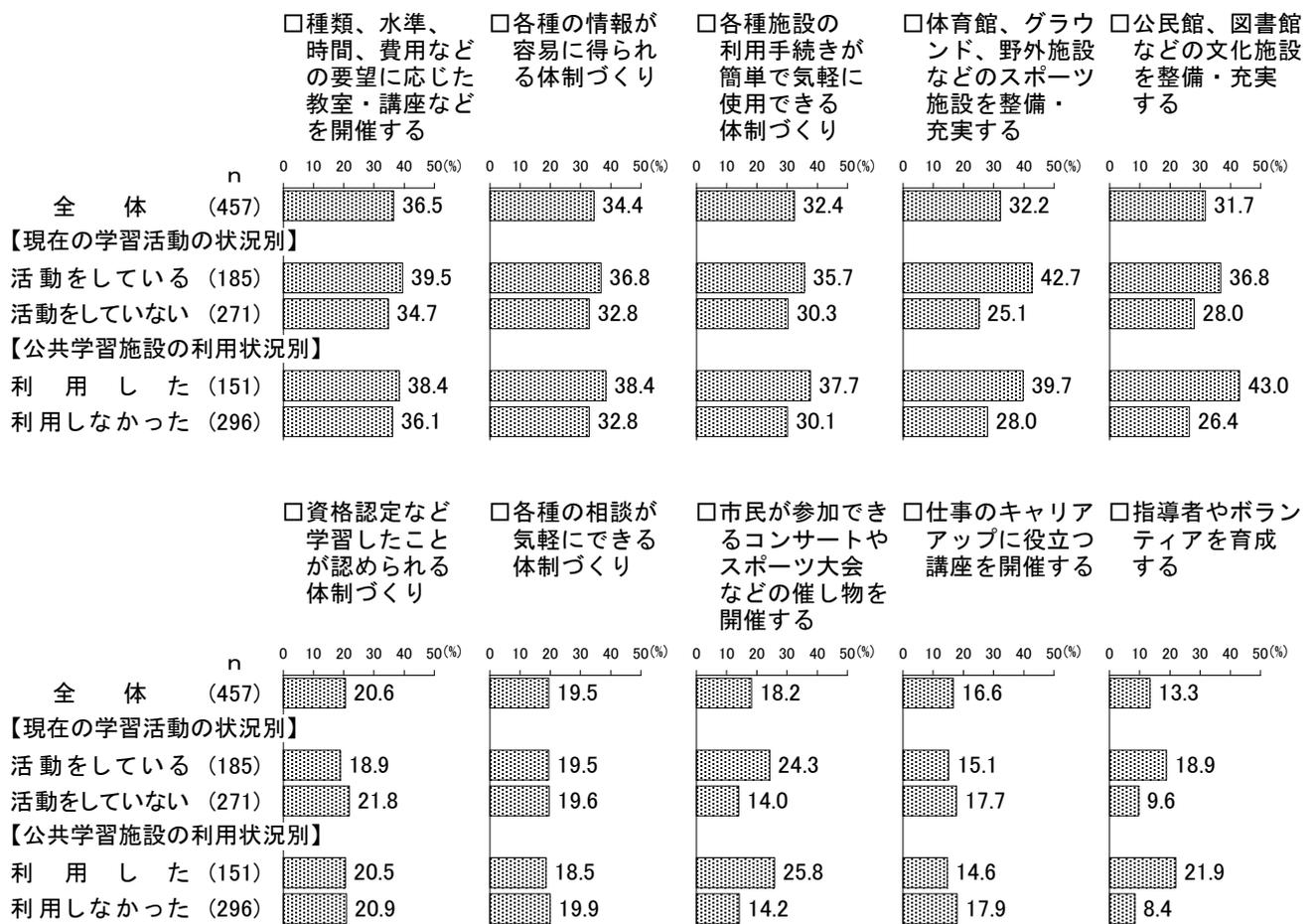
性・年齢別でみると、「種類、水準、時間、費用などの要望に応じた教室・講座などを開催する」は女性40～50代で44.8%と高くなっている。「各種の情報が容易に得られる体制づくり」は男性20～30代で46.5%と高くなっている。女性20～30代では、「資格認定など学習したことが認められる体制づくり」が36.3%、「仕事のキャリアアップに役立つ講座を開催する」が33.0%と高くなっている。



＜現在の学習活動の状況別、公共学習施設の利用状況別＞（上位10項目）

現在の学習活動の状況別でみると、「体育館、グラウンド、野外施設などのスポーツ施設を整備・充実する」は現在学習活動をしている人（42.7%）が活動をしていない人（25.1%）より17.6ポイント、「市民が参加できるコンサートやスポーツ大会などの催し物を開催する」は現在学習活動をしている人（24.3%）が活動をしていない人（14.0%）より10.3ポイント、それぞれ高くなっている。

公共学習施設の利用状況別でみると、「公民館、図書館などの文化施設を整備・充実する」は公共学習施設を利用した人（43.0%）が利用しなかった人（26.4%）より16.6ポイント、「指導者やボランティアを育成する」は公共学習施設を利用した人（21.9%）が利用しなかった人（8.4%）より13.5ポイント、それぞれ高くなっている。



(2) 生涯学習全般に関する意見、提案

問21 生涯学習全般に関し、ご意見、ご提案などがございましたらお聞かせください。

(具体的に記述)

生涯学習全般に関し、ご意見、ご提案などを、「施設について」「講座・教室について」「行事について」「情報提供について」「その他」の5項目で自由に回答してもらったところ、90名から170件の回答がありました。

① 施設について

□男性20～30代

- 必要に応じて、施設（建物・設備等）の更新は行っていったほうがよいかと思えます。
- 子ども達が、ボール等を使用することができる場所を増やしてほしい。
- 子ども会や学校を巻き込んで。
- 現状、満足している。

□男性40～50代

- 戸田市は、スポーツ施設が比較的充実していると思えます。
- 充実していると思えます。
- 活動場所が災害時の避難場所になっていると、何かと心強い気がします。
- 上戸田や喜沢地区などに多い気がする。
- 新たに税金で新しい施設を作るのではなく、民間のスポーツクラブ等と連帯して行えばよいと思う。
- 普段から仕事で帰りが遅いため、できれば22～23時位まで、利用可能な施設を提供してほしいです。
- 興味を引く施設への建て替え。
- 道満Bグラウンドを人工芝にしてほしい（サッカー）。大人利用と子ども利用を分けたいと思う。

□男性60歳以上

- 空いた時間帯の学校及び空き家住宅。
- スポーツセンター→初心者等に道具・用具の貸出。
- 生涯学習として、戸田市の施設を使ったことはありません。テニスコートを良く使っていましたが、あくまで趣味で使用していました。
- ゴルフが趣味ですが、戸田カントリークラブの施設を充実してほしいと思えます。
- 障害者が利用しやすい施設。

□女性20～30代

- スポーツセンターや図書館等、朝早くから夜遅くまでやっていると、行く機会やタイミングが増える気がします。
- 戸田市図書館（本館2階）のような、広い自習スペースを増やしてもらえると、受験勉強や資格勉強、読書がはかどると思えます。
- 自習室を、図書館本館だけでなく身近な場所に設置し、利用時間を長くしてもらえると嬉しいです。また、テニスやバドミントン等、利用できる施設をより充実させてほしいです。
- スポーツセンターを利用したいが、予約をしに行くのが面倒。初めてでも簡単にWEBから予約できるようにしてほしい。平日に働いている為、土日ぐらいしか利用できないが、いつも埋まっていて全然空いていない。制限をかけて平等に利用できるようにするほうがよい（テニスコート）。
- 戸田公園駅の近くに、市のスポーツ施設があると嬉しいです。
- 利用している人が限定されて、新しい人は利用しづらい雰囲気があるので、気軽に利用でき手続き等簡単にしてほしい。
- 入りやすい雰囲気にする。
- 駐車場の確保や夕方の時間帯の講座増加を希望します。

「Ⅲ 調査結果（個人） 7. 市の生涯学習環境づくりに向けての意見」

- スポーツセンター、プール等、障害のある方も使いやすくする。そういう方も使えるよう周りへの理解を促すと、学習の意味が深まり、住民主体になると思う。
- さくらパルの位置づけが良く分かりません。あいパルほど交流主体ではなさそうだし。
- 個室学習室の増設

□女性40～50代

- もっと子ども達が気軽に運動できる体育館があればいいと思う。こどもの国の体育館は狭くて混んでしまう為、なかなか思うように体を動かせない。
- 古い建物が多いので、バリアフリーもかねて新しくしてほしい。
- スポーツセンターの陸上競技場トラックを300mから400mへ改修してほしい。
- 図書館は高校生・大学生も使える学習コーナーの充実。
- いつも利用させてもらっています。
- ボールを使うスポーツの場が少ない。（野球）町内の公園では使用禁止となっているので、やる場所の数を増やしてほしい。
- 駅近センターを使って、労働者が利用しやすくしてください。
- スポーツ教室等、時間があるときに参加できる教室があれば嬉しいです。
- サッカーなど、子供の球技ができるところを増やしてほしい。夜や朝もできるところがない。
- 会館や公民館などをもっとオープンにして使用しやすくする。（会議しかできないイメージがある）
- 戸田の施設は充実している方だと思う。他の地域はあまり知らないのですが…。
- 古い建物はきれいにする。
- 駐車できる施設を多くしてほしい。駐車台数の充実。

□女性60歳以上

- 各施設で、特色のある講座を！あいパルのみ充実していて、笹目などはあまりなく、さびしい。
- 一番の希望は、スポーツセンターで水泳ができるとよかった、と思いました。
- 公民館・福祉センターは、行きにくい感じがします。
- 町会内がよいと思います。
- 受講者が少ない場合は、次の開催は中止し受講者の多い講座を週2にしたらよいと思う。
- 近くに公民館・スポーツセンターがあり、利用しています。

□その他（性別・年齢無回答）

- 図書館→蔵書を増やす。学習スペースを増やす。

② 講座・教室について

□男性20～30代

- 親子で参加できるようにしてほしい。
- 彩湖とボートコースがあるという戸田市の個性を生かし、ウィンドサーフィンやカヤックなど、ウォータースポーツを盛んにすると、個性的なまちづくりができるのではないのでしょうか。

□男性40～50代

- 体験したことが無いので、よくわからない。
- ブラタモリのような実地での郷土史の講座があるとよい。参加したい。
- 教える側が厳しいのは嫌ですね。
- 様々な講座を開いてくれたら、と思います。
- 流行りのスポーツ・遊びの取り入れ、マニアックなスポーツの講座・設備。
- コロナウイルスをはじめ、震災・南海トラフ等、生命の危機に関する事態が起きているので、緊急時における対応・対策・サバイバルを含む「生命を守る」講座が必要。

「Ⅲ 調査結果（個人） 7. 市の生涯学習環境づくりに向けての意見」

□男性60歳以上

- 時間・場所等機会が多く選べるようにしてほしい。
- 空き家住宅を修理及び点検することにより、教室・講座することによって空き家住宅の苦情を減らす。

□女性20～30代

- 英会話や外国人の方と、交流できる機会等、語学力向上の為の講座等があると良いと思いました。
- 是非、語学に関する講座を増やしていただけると、とても嬉しいです。
- ぜひ行きたいです。
- 20代の人でヨガやピラティスなどの教室を行っている方がいれば行きたいと思います。
- 未経験者でも途中から参加しやすく、参加できる日だけの参加で大丈夫なスポーツ教室。
- 講座等の周知ができていないと感じます。自分で調べないと知ることは一切ないです。
- フラワーアレンジメントやりたいです。
- 講座受講中の保育利用があれば参加したい。
- 障害のある方も、一緒に参加できるものが本当の生涯学習だと思う。そういう講座があれば参加したい。
- 文学や難易度の高いパソコンスキル、起業に役立つ講座などがあるといいと思います。

□女性40～50代

- 料理教室等、参加可能枠の制限を緩くしてほしい。
- 資格取得にむけた講座。
- 公共施設の講座は、平日の日中開催が多く、仕事をしている人にとっては参加の機会を得ることが難しい。
- まちづくりの第一歩にしたいのならば、若年層を取り込みやすい内容にしなければならないと思う。戸田は、住みやすくいろいろな面で充実していると思うが、独身のときは時間も情報もなかった。年齢層のターゲットによって、費用はかかっても役に立つもの、楽しいもの、安いもの、子供が預けられるもの、資格が取れるもの、セールスポイントがわかりやすく、かつ申し込みしやすい方法だと嬉しいと思う。頑張ってください。
- 数回や1回のみ講座があれば参加しやすいと思います。
- 実用的、または将来の趣味に繋がる講座を充実させてください。
- 大人だけではなく、子どもも参加できるような講座があるといいと思う。
- 内容・時間帯とも、もっと色々選べるようにしてほしい。
- 前に受けた簿記講座、在宅ワークセミナーが良かったです。就活関連のセミナーを増やしてください。（川口、武蔵まで遠いので）
- カルチャースクールのように、曜日・時間だけ決めて、日にちとか決めないほうが良いと思う。
- 情報が少ないため、知らないことが多い。
- 年齢制限がなければ参加したい講座がたくさんあります。
- 今まで参加したい講座があったが、その日の予定が確実に参加できるかわからなかったので、申し込みが難しく思った事が多かった。

□女性60歳以上

- 着物を簡単にリフォームできるような講座。それに伴うデザインの講座。
- 広報で、もう少し詳しく知らせてほしい。内容や場所など分かりづらい！＼切まで時間があまりすぎて連絡を忘れる。
- 講座が終了すると、受講生がクラブを作り活動するときの施設の使用料が高い。
- 参加できる講座があれば、参加したいと思います。
- 安い費用で出来る料理教室。

□その他（性別・年齢無回答）

- 楽しく日々の生活を活気づけるような内容。

③ 行事について

□男性20～30代

- 農業に興味があるため、一日農業体験など企画していただけると嬉しいです。
- ふるさとまつりの開催時期は8月ではなく秋頃など、もう少し暑さの和らいだ季節が良いと思う。
- 学校工事等で、グラウンド使用縮小時は、スポセン等の施設の無料貸出等で、運動会実施なども検討してほしい。体育館も同様に。

□男性40～50代

- 体験したことが無いので、よくわからない。
- 戸田市内の川をきれいにする活動などには興味があります。（さくら川をきれいにしたい）
- 囲いすぎないように、心配りが大切。飛び入りもOKくらいの寛大な、広い心がほしい。
- 年寄りの参加場所までのタクシー無料チケット等の配布。
- 町会別にもっと色々気軽に行ける場を作ってほしい。

□男性60歳以上

- 定期的に続けることが肝要。
- 戸田市の伝統行事はあるのでしょうか？あればもっと広報してください。

□女性20～30代

- イベントが多いのは良いが、人が集まりすぎて並ぶため、色々なショップを見られない。ベビーカーが通れない。

□女性40～50代

- 彩湖自然学習センターで、小学生のいる家庭でなくても参加できるものづくりイベントを希望。
- ふるさと祭りの縮小により、足を運ぶ回数が減りました。以前のような市役所通りで行っていたくらいの規模だと、もっと賑わうと思う。
- いろんな世代が楽しめるお祭りは、必要だと思います。
- 行事参加に行く手段（交通）が安易だとうれしい。

□女性60歳以上

- 役所の周りでの開催が多く、西部地区での開催がない。
- 公民館祭りは見学させて頂いています。

④ 情報提供について

□男性20～30代

- 若年層むけに、TwitterやFacebook等の媒体での情報提供を強化したほうがよいと思います。
- Twitterでも写真を多用する等、視覚的にも見やすくしてほしい。
- 市のホームページは、トップページに情報を盛り込みすぎで、得たい情報が埋もれてしまったり、検索すると、毎年行われているものは過去の情報がたくさん出てしまうなど、情報を得るのに、使い勝手が悪い。WEBページの構成に明るい担当者を配置するなど、工夫が必要ではないか。

□男性40～50代

- アピール不足と思います。
- 知らないことが多いです。情報と接触できていないので、参加できていない状況です。
- 市内の掲示板に差がある。町会によるのかもしれませんが。
- ペラのチラシの全世帯への配布。
- 今迄どおりで充分かと思います。
- ITはとても大事で、良きにつけ悪しきにつけ、話題性のある動画が必要。各種WEB上や、施設のポスター等もあるが、経費的にも効果的にも話題性のある動画が一番。つまり面白い動画。

□男性60歳代

- 戸田市の広報等に頼るだけでなく、民間の力を借りる。
- 探さなくても見られるように、露出を多くして欲しい。
- 生涯学習として情報を受けたこともありません。仲間もいませんので、機会がもてません。参加しやすい情報をいただくと助かります。
- 地域社会へのボランティア意識・意義のアップを。
- 簡単明瞭であること。

□女性20～30歳代

- 市民や民間の発表会の情報が、回覧板や公共施設にある広告紙から得られることが多い。SNSで情報発信したほうが、もっと若年層にも届くと思います。
- T o c o プリに登録して、特典（クーポン等）があると利用が増えると思う。
- 戸田市のホームページをもう少し分かりやすくしてほしい。言葉足らずなところがあるので、もう少し容易にしてほしい。
- ネットワークショップの情報を流す。
- ツイッターや公式Youtubeなどは登録していないので、広報紙のみが情報源です。そういう人が多いのではないのでしょうか。

□女性40～50歳代

- 募集期間に、駅に大きくポスターを掲示してください。
- 戸田広報で充分だが、リニューアルしてから読みづらい。ページの前半は改善されていてOK。後半きつきつ気味。
- 市のHPで分かりやすく掲載してほしい。奥に入っていないと分からないので。
- 戸田市HPをもっと見やすくしてほしい。
- 公共のものは、広報誌などで知ることができるが、民間のものは、自ら一つ一つ調べないと情報を得られない。
- 何でも通信に移行していきませんが、紙での情報だって必要だとおもいます。続いてほしいです。
- 町会に入っていたときは、広報で情報を得ていたが、入っていないと意識をしていないと難しい。
- LINE等でも良いと思う。
- 広報の紙面の文字が「TODA」となり、違和感を持ちました。まだひらがなの方がよかったです。戸田市にずっと育ってきたものとして、「戸田」ではなくなってきた感じがしました。

□女性60歳以上

- 広報しか情報が得られない者は、これからますます取り残されそうです。
- 広報で知ることが多い。

⑤ その他

□男性40～50歳代

- このアンケートが来るまで、生涯学習について考えていませんでした。良いきっかけをありがとうございます。
- 何をするにも、まず民間企業の情報を得ようとしている。民間企業の情報の方が得やすい状況にあるためだと思うし、取組が分かりやすいため、利用しやすい。戸田市の情報発信もそうなり、利用が増すように思う。
- 学ぼうと思えば、今の時代、機会はいくらでもあります。お金をかけない行政・政治を希望します。
- 役所の担当者の人材育成。能力・実力に疑問のある方が責任者になっていて、困ったと参加された方から聞いた。
- 講師の人選も適任者でない方を選んでる。参加者の本音を聞く気持ちがあるかどうか。

□男性60歳以上

- 各自がやりたいようにやれば良いので、行政があまり手を出すものではないように思う。特に町会については、あまり多くを望まないでほしい。
- 生涯学習とは違いますが、毎年、戸田のマラソン大会に出場しています。個人でも参加しやすい大会です。
- 上記の事柄の整備・充実に努められていることと思います。この調査もその一環だということでしょう。マンネリ化せず常に常に見直して改革・成長していくのも、生涯学習事業だと思います。頑張ってください。

「Ⅲ 調査結果（個人） 7. 市の生涯学習環境づくりに向けての意見」

- 昨年12月、心筋梗塞で入院・リハビリをしているので、あまり動けませんでした。

□女性20～30歳代

- 興味はあり、参加してみたいと思います。（市の活動に）。しかし、情報が入ってこず、また調べるかといわれると、そこまでではないので、もう少しPRを強化していただくといいのかなと思います。
- （仕事のキャリアアップへの）資格取得に繋がる講座があったらな、と思います。
- 生涯学習という言葉にあまりなじみがない。まずは言葉の周知をすることが必要なと思った。
- あいパルの職員の対応が悪く、使用を控えようかと思っています。
- 戸田市として、これらの意見をもとに、いつもあらゆる学習機会を頂き、とても嬉しいです。（以前、市役所で開催した韓国語講座に参加して、とても有意義でした。）
- アプリがあるのを初めて知りました。あとは、やはりお得になる何かがないと、利用者が増えないと思います。宣伝ももっと！！Tocoバスの情報や施設利用など、アプリでわかれば便利だと思います。
- 公園の差があるので、戸田公園の周辺を（ボール公園のように）新しくしてほしい。北戸田や駅前と比較して、戸田公園の駅前、その他の住宅街の歩道が狭く、子育てしづらいので対策してほしい。人口が一番多く、税金の支払いも一番多いはずなのに恩恵が一番少ない。北戸田のような人口の少ないところに投資をしすぎだ。

□女性40～50歳代

- 小学生をスポーツ少年団へ積極的に入団させ、体力・精神面の向上を目指すことが、地域全体を活気づけてゆくと思います。
- 施設の部屋の予約について。母や母の友人は、趣味のサークル活動の為の部屋の予約をオンライン予約できない為、直接現地へ行って予約しています。オンライン予約が優先されている為、希望の日が取れない場合もあるそうです。I T弱者のために別の枠を設けたり抽選にするなど、公平にできるようになったらよいです。
- 仕事に就けない若者のスキルアップ講座をどんどん行うべき。
- 公民館においてある、パソコン（自由に使える）の台数増加。
- よい講座に限って、平日のみなので、働いている納税者が受けられるよう、土日に充実させてください。
- 複数回続くものより、1日または1回で完結するものの方が参加しやすい気がします。
- このアンケートがネット上でできると助かります。
- スポーツセンターなど、自宅から遠く、車でないといけないので、もう少し近くに施設があるとよいです。
- 生涯学習以外になりますが、時間が出来たときに近くにキャッチボールができる場所があると助かります。ボール使用禁止の場所ばかりです。危ないのは分かりますが、工夫して出来ないものでしょうか。
- 数回の参加であるが、1回でも参加できる内容。
- 仕事との日程が合えば、ぜひ参加したいと思っている。
- 仕事をしていて、子供が小さいとなかなか講座等に参加するには、家族の理解がないと難しい。でも、参加をして自分を向上させたいとも思っている。その場に参加だけでなく、インターネットでの参加があれば、家でも学び、参加できたら嬉しい。子供がいると、必ず参加というのは難しく、不参加になると迷惑がかかりそうな気がして参加できない。

□女性60歳以上

- 戸田市は、生涯学習に関して色々な取り組みをしていると思います。もっと関心を持って情報等に目を向けて生きたいと思います。ありがとうございました。
- 戸田の一市民として、多忙を理由にせつかくの機会を利用していないこと、もったいないと思っております。戸田に40年以上います。平和な町です。有難うございます。
- 仕事してて、生涯学習とか時間がないので、意見・提案はありません。
- 現在の生活がいつまで続くのか不安の中、他の事まで考えることができなくなっております。相談員などを育てる学習をしたらいかがでしょうか？
- ボランティアセミナーは色々勉強になり、地域のことも知ることが出来て、とてもよいと思います。
- 学習会に参加したい気持ちはありますが、近くなかったり人数制限があったりすると参加しにくいです。
- 申し訳ありませんが、年のせいではないと思いますが、やる気がないです。

IV 調査結果

(団体アンケート調査)

1 団体の属性

〔結果（概要）〕

◇運営人数は「4～9人」が47.5%と最も多い。

◇活動人数は「21人以上」が28.3%と最も多く、「11～20人」が27.5%、6～10人が25.8%と続く。

◇参加者の年齢層は、「女性60～79歳」が62.5%と最も多く、「女性40～59歳」が32.5%、「男性60～79歳」が30.0%、「女性80歳以上」が23.3%と続く。

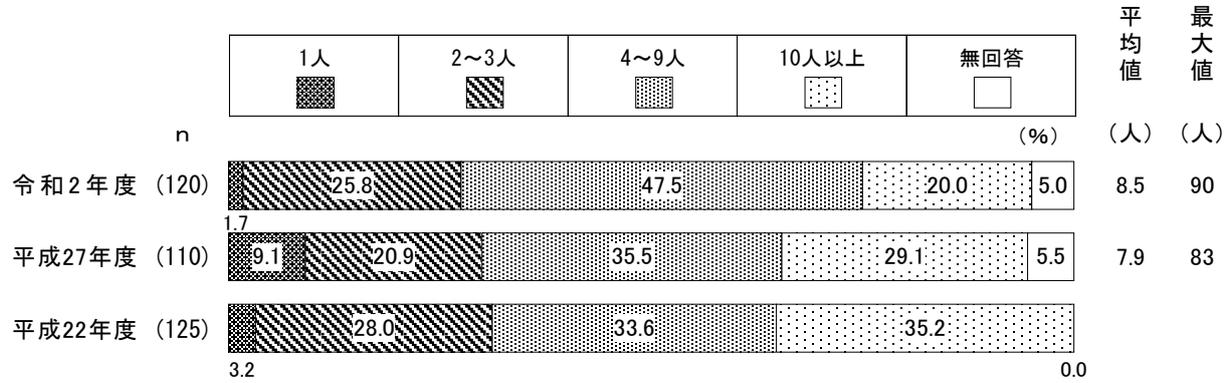
過去と比較しても、参加者層の割合に大きな変化は見られない。高齢者の割合が高く、若年層に向けたアプローチがこれまで不十分であったことが分かる。

(1) 運営人数

◇ 「4～9人」が47.5%

問1 貴団体の運営に関わっている方（運営スタッフ）の人数をお答えください。

（令和2年4月1日現在）



※平成22年度の平均値、最大値は不明

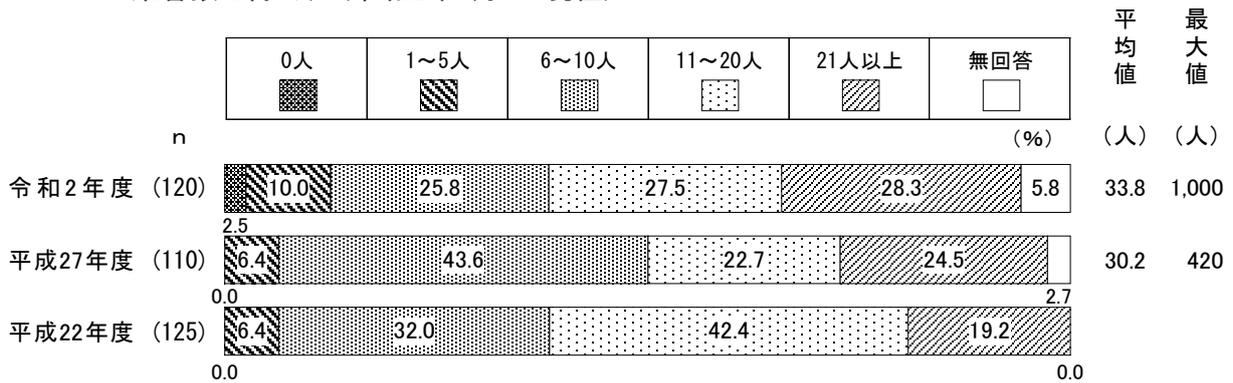
運営人数は、「4～9人」が47.5%で最も高く、次いで「2～3人」(25.8%)と続いている。

過去の調査結果と比較すると、「4～9人」は平成22年度以降増加傾向にあり、平成27年度より12.0ポイント増加している。一方、「10人以上」は平成22年度以降減少傾向にあり、平成27年度より9.1ポイント減少している。

(2) 活動人数

◇ 「21人以上」が28.3%

問2 貴団体の活動に参加している方の概ねの人数をお答えください。(運営スタッフ、イベントの集客数は除く) (令和2年4月1日現在)



※平成22年度の平均値、最大値は不明

活動人数は、「21人以上」が28.3%で最も高く、次いで「11～20人」(27.5%)と続いている。

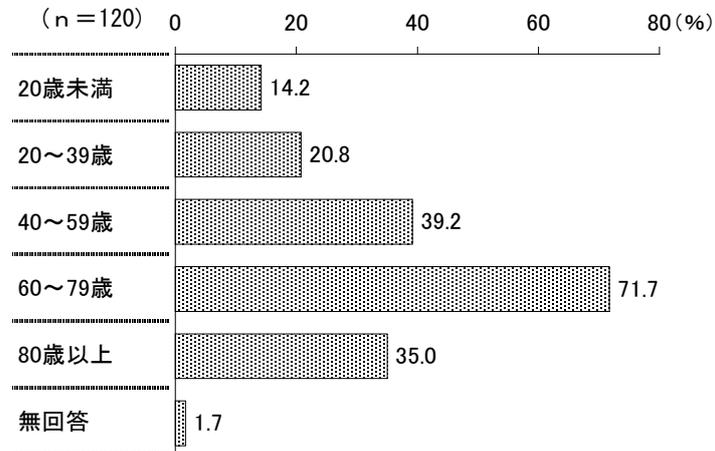
過去の調査結果と比較すると、「11～20人」は平成27年度より4.8ポイント増加している。一方、「6～10人」は平成27年度より17.8ポイント減少している。

(3) 活動参加者の年齢層

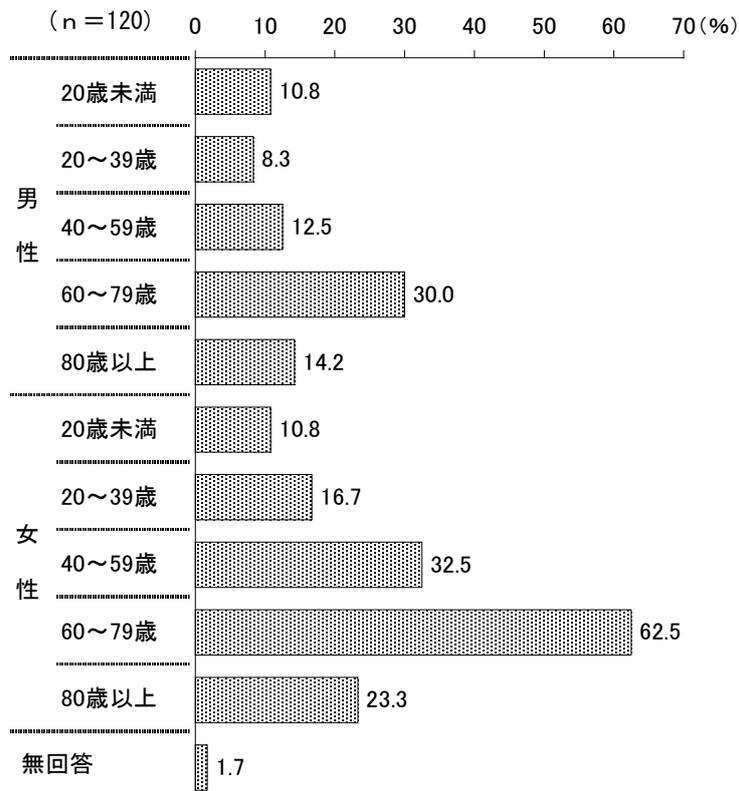
◇ 「女性 60～79 歳」が 62.5%

問3 貴団体の主な参加者層についてお答えください。(3つ以内に○印)

【年齢層】



【性・年齢別】



活動参加者の年齢層は、「60～79歳」が71.7%で最も高く、次いで「40～59歳」(39.2%)、「80歳以上」(35.0%)、「20～39歳」(20.8%)と続いている。

性・年齢別でみると、「女性60～79歳」が62.5%で最も高く、次いで「女性40～59歳」(32.5%)、「男性60～79歳」(30.0%)、「女性80歳以上」(23.3%)と続いている。

2 団体の活動の実態

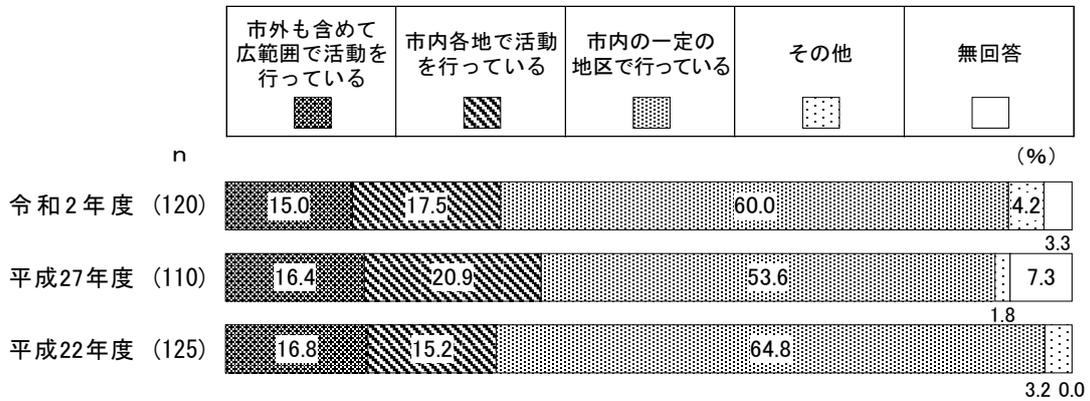
〔結果と課題（概要）〕

- ◇団体の活動としては、「趣味」が主流。市民で目立って多い「体力づくり・スポーツ」は、団体の活動としては低い。
- ◇市内の一定の地区に限定し活動を行っている団体が多く、特に大字新曾、新曾南、氷川町、大字下笹目を活動場所の中心としている団体が多い。
- ◇今後の活動展開として、活動範囲を広げたいと考えている団体は19.2%と多くはない。
- ◇市役所と連携して活動を行っている団体は39.2%であり、連携の内容としては、広報やホームページでの活動紹介、市役所の施設の利用、活動費の助成などによるものが多い。
- ◇主な活動場所として「公民館（福祉センター）の割合は減少傾向にあり、一方「上戸田地域交流センター（あいパル）の割合は増加している。上戸田地域交流センターは、新築であり、利用しやすくなったことも含め、具体的な要因を分析する必要がある。
- ◇活動内容としては、趣味に関することや日常の暮らしに役立つものが多く、舞踏・ダンス、健康管理が上位を占める。

(1) 活動範囲

◇「市内の一定の地区で行っている」が60.0%

問4 貴団体の活動範囲についてお答えください。（1つだけに○印）



活動範囲を聞いたところ、「市内の一定の地区で行っている」が60.0%で最も高く、次いで「市内各地で活動を行っている」(17.5%)、「市外も含めて広範囲で活動を行っている」(15.0%)と続いている。

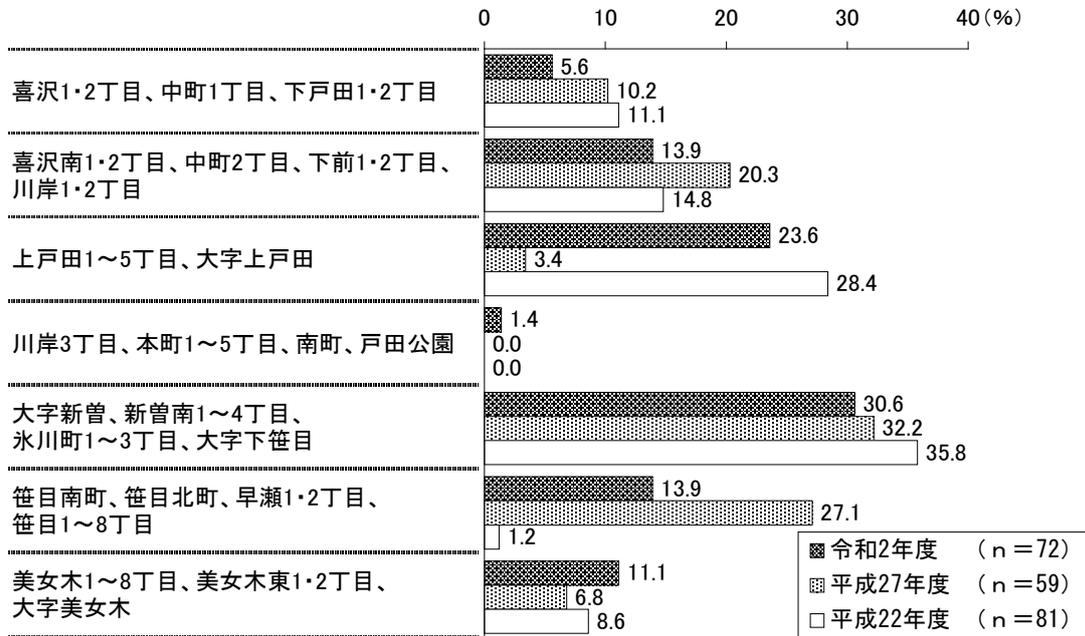
過去の調査結果と比較すると、「市内の一定の地区で行っている」は平成27年度より6.4ポイント増加している。

(2) 一定の地区での活動場所

◇「大字新曾、新曾南1～4丁目、氷川町1～3丁目、大字下笹目」が30.6%

【問4で、「市内の一定の地区で行っている」と答えた方にお聞きします】

問4-1 活動場所はどの地区ですか。（1つだけに○印）



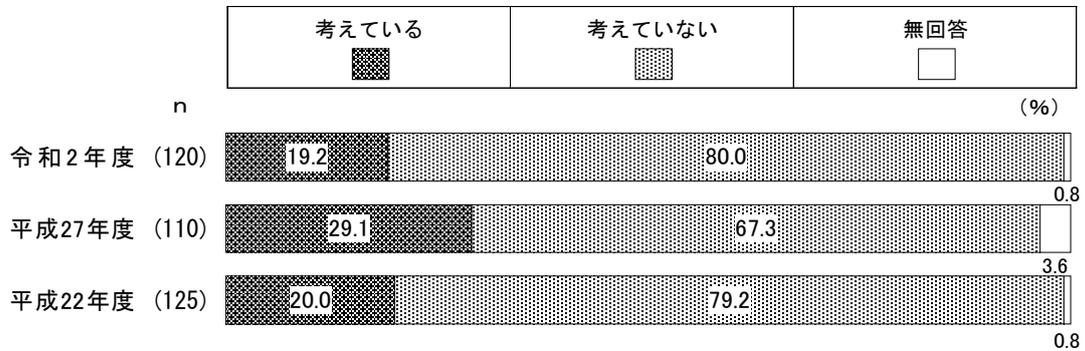
「市内の一定の地区で行っている」と答えた方に、具体的な地区を聞いたところ、「大字新曾、新曾南1～4丁目、氷川町1～3丁目、大字下笹目」が30.6%で最も高く、次いで「上戸田1～5丁目、大字上戸田」(23.6%)、「喜沢南1・2丁目、中町2丁目、下前1・2丁目、川岸1・2丁目」と「笹目南町、笹目北町、早瀬1・2丁目、笹目1～8丁目」(ともに13.9%)と続いている。

過去の調査結果と比較すると、「上戸田1～5丁目、大字上戸田」は平成27年度より20.2ポイント増加している。一方、「笹目南町、笹目北町、早瀬1・2丁目、笹目1～8丁目」は平成27年度より13.2ポイント減少している。

(3) 今後の活動展開

◇「考えている」が19.2%

問5 今後、活動の範囲を広げたいと考えていますか。（1つだけに○印）



今後の活動展開を聞いたところ、「考えている」が19.2%、「考えていない」は80.0%となっている。

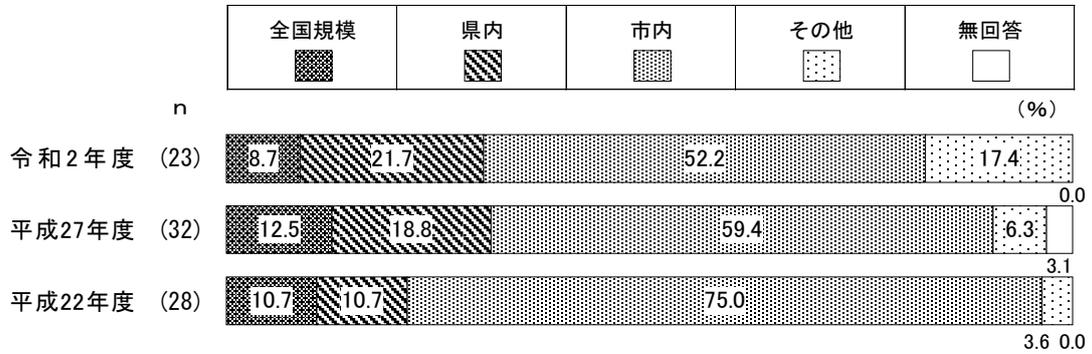
過去の調査結果と比較すると、「考えていない」は平成27年度より12.7ポイント増加している。

(4) 広げたい活動範囲

◇「市内」が52.2%

【問5で、「考えている」と答えた方にお聞きします】

問5-1 どの程度の活動範囲にしようと考えていますか。（1つだけに○印）



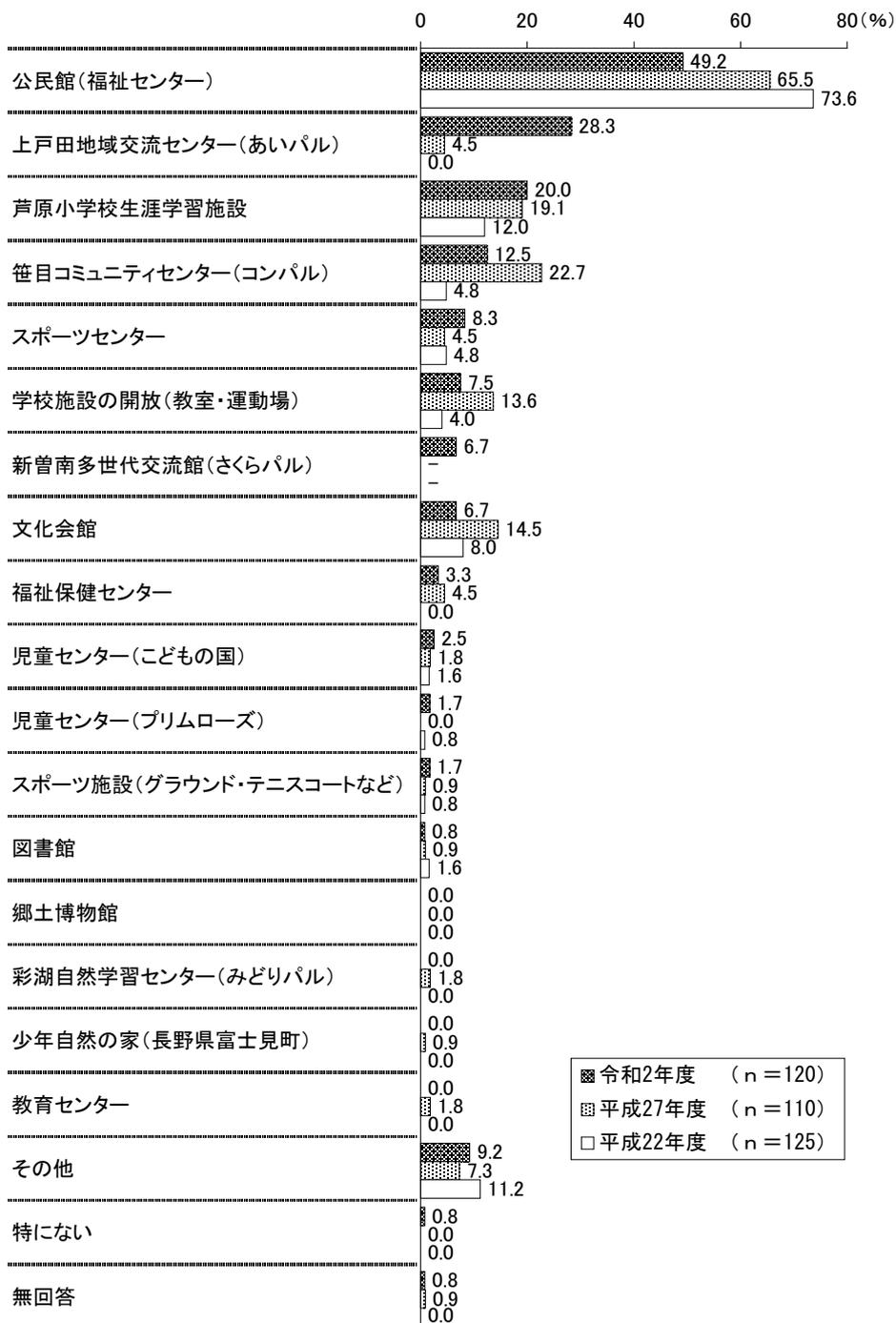
「活動の範囲を広げたいと考えている」と答えた方に、広げたい活動範囲を聞いたところ、「市内」が52.2%で最も高く、次いで「県内」(21.7%)、「全国規模」(8.7%)と続いている。

過去の調査結果と比較すると、「市内」は平成22年度以降減少傾向にあり、平成27年度より7.2ポイント減少している。

(5) 主な活動場所

◇「公民館（福祉センター）」が49.2%

問6 貴団体の主な活動場所（施設）をお答えください。（いくつでも○印）



※「新曾南多世代交流館（さくらパル）」は令和2年度から追加された選択肢
 ※平成22年度では回答個数を2つまでとしていた

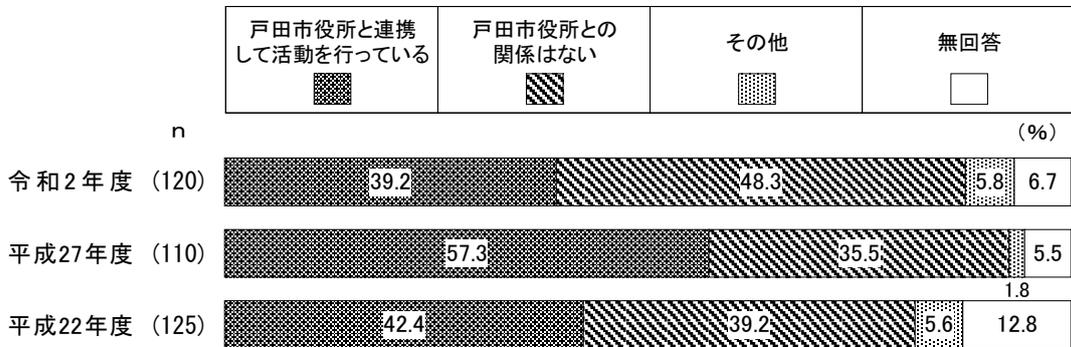
主な活動場所を聞いたところ、「公民館（福祉センター）」が49.2%で最も高く、次いで「上戸田地域交流センター（あいパル）」（28.3%）、「芦原小学校生涯学習施設」（20.0%）と続いている。

過去の調査結果と比較すると、「上戸田地域交流センター（あいパル）」は平成27年度より23.8ポイント増加している。

(6) 戸田市役所との連携状況

◇「戸田市役所と連携して活動を行っている」が39.2%

問7 貴団体の活動について戸田市役所との関係をお答えください。(1つだけに○印)



※「戸田市役所と連携して活動を行っている」は平成27年度では「基本的に戸田市役所と連携して活動を行っている」と「活動の中で戸田市役所と連携することもある」に分かれていた

戸田市役所との連携状況を聞いたところ、「戸田市役所と連携して活動を行っている」が39.2%、「戸田市役所との関係はない」は48.3%となっている。

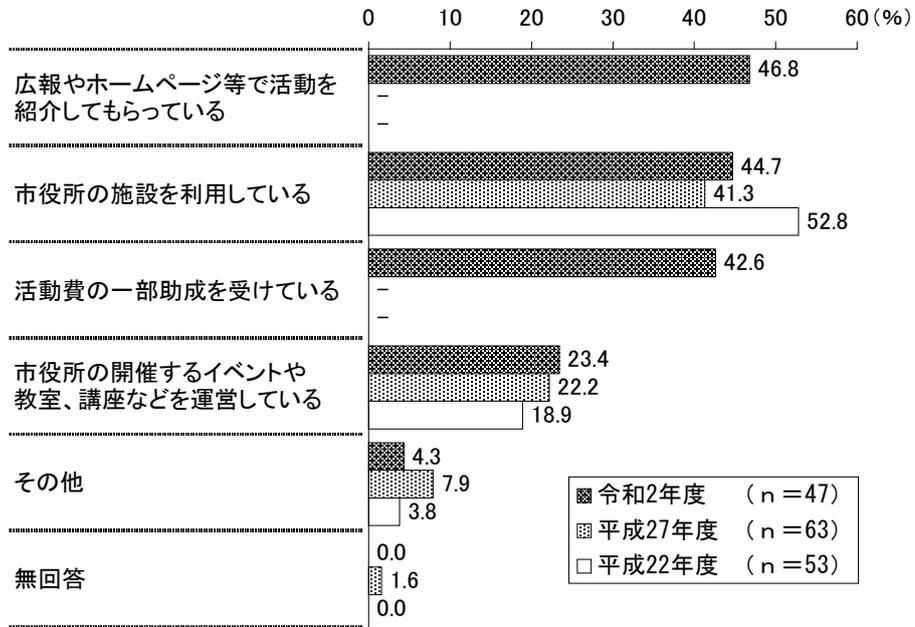
過去の調査結果との比較は選択肢が異なるため、参考に図示する。

(7) 戸田市役所との連携の内容

◇「広報やホームページ等で活動を紹介してもらっている」が46.8%

【問7で、「戸田市役所と連携して活動を行っている」と答えた方にお聞きします】

問7-1 具体的に戸田市役所とどのような連携をとっていますか。(いくつでも○印)



※「広報やホームページ等で活動を紹介してもらっている」、「活動費の一部助成を受けている」は令和2年度から追加された選択肢

「戸田市役所と連携して活動を行っている」と答えた方に、戸田市役所との連携の内容を聞いたところ、「広報やホームページ等で活動を紹介してもらっている」が46.8%で最も高く、次いで「市役所の施設を利用している」(44.7%)、「活動費の一部助成を受けている」(42.6%)、「市役所の開催するイベントや教室、講座などを運営している」(23.4%)と続いている。

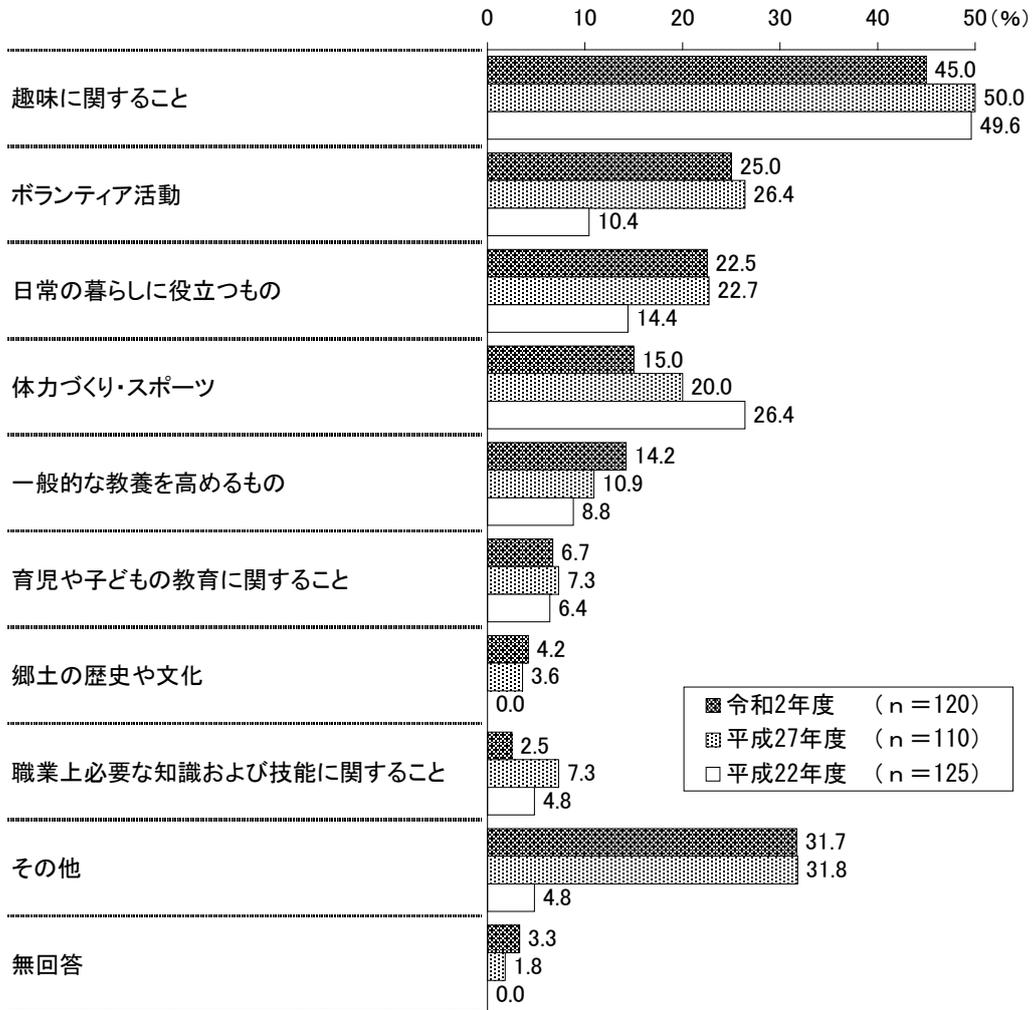
過去の調査結果との比較は選択肢が大幅に変更されているため、参考に図示する。

(8) 活動の内容

◇「趣味に関すること」が45.0%

問8 貴団体で行っている活動の内容をお答えください。

(1) 以下の（1～62）の中から、あてはまるものいくつかでも○印をつけてください。



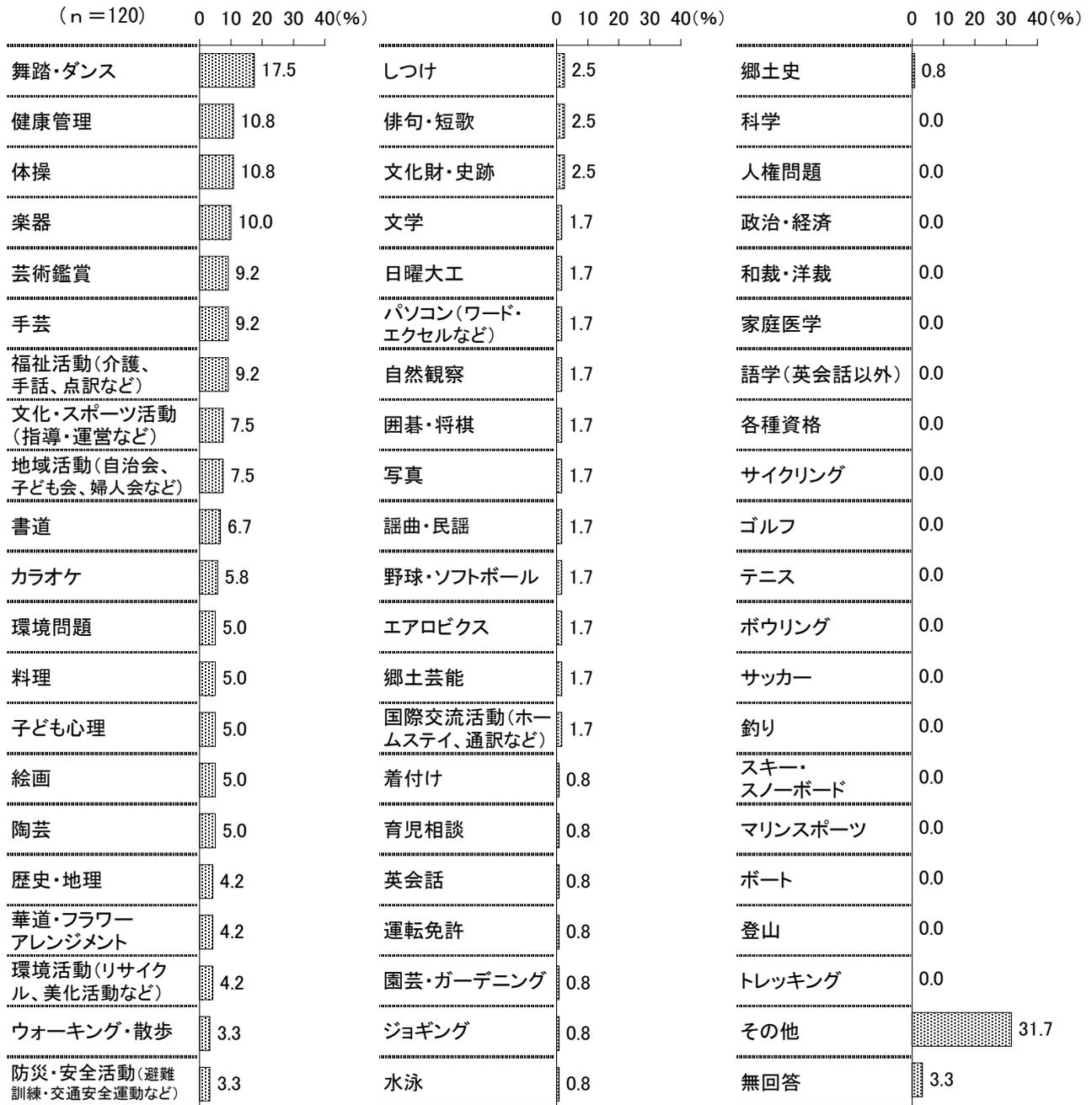
※平成22年度では回答個数を2つまでとしていた

活動の内容を聞いたところ、「趣味に関すること」が45.0%で最も高く、次いで「ボランティア活動」(25.0%)、「日常の暮らしに役立つもの」(22.5%)、「体力づくり・スポーツ」(15.0%)と続いている。

過去の調査結果と比較すると、「趣味に関すること」は平成27年度より5.0ポイント、「体力づくり・スポーツ」は平成27年度より5.0ポイント、それぞれ減少している。

「IV 調査結果（団体） 2. 団体の活動の実態」

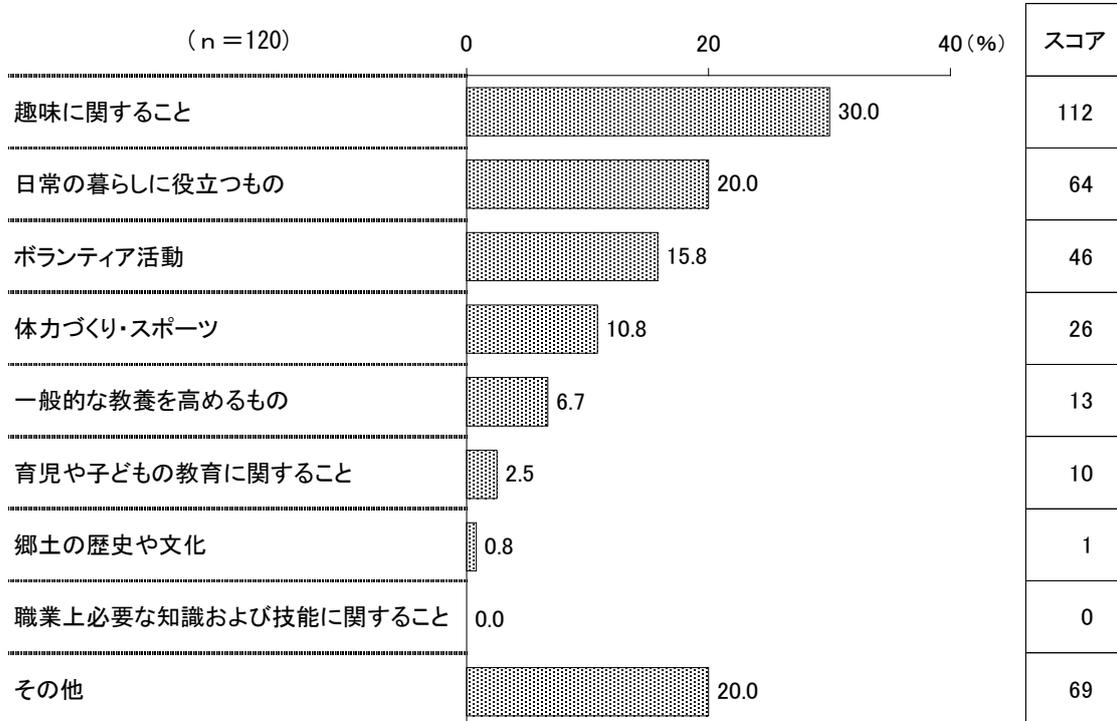
具体的な活動内容をみると、「舞踏・ダンス」が17.5%で最も高く、次いで「健康管理」と「体操」（ともに10.8%）、「楽器」（10.0%）と続いている。



(9) 特に力を入れている活動

◇「趣味に関すること」が30.0%、スコアでも112点でトップ

問8 (2) (1) で○印をつけた活動（学習活動）のうち、特に力を入れて行っているものについて、順に3つまで、番号でお答えください



※スコアは、順位付けの回答結果に1位=3点、2位=2点、3位=1点を与えて集計したもの。

特に力を入れて行っている活動の順位付け回答について、1位から3位の累計では「趣味に関すること」が30.0%で最も高く、次いで「日常の暮らしに役立つもの」(20.0%)、「ボランティア活動」(15.8%)、「体力づくり・スポーツ」(10.8%)と続いている。

また、1位に3点、2位に2点、3位に1点を与えて集計したスコアでみると、「趣味に関すること」が112点で最も高く、次いで「日常の暮らしに役立つもの」(64点)、「ボランティア活動」(46点)、「体力づくり・スポーツ」(26点)と続いている。

＜具体的な「学習活動」の上位10位（スコア）＞

具体的な「学習活動」のスコアをみると、「舞踏・ダンス」が41点で最も高く、次いで「健康管理」（27点）、「手芸」（22点）、「体操」（18点）と続いている。

順位	分野	具体的な学習活動	スコア
第1位	趣味	舞踏・ダンス	41
第2位	暮らし	健康管理	27
第3位	暮らし	手芸	22
第4位	スポーツ	体操	18
第5位	趣味	楽器	17
第6位	ボランティア	文化・スポーツ活動（指導・運営など）	15
第7位	趣味	カラオケ	13
第8位	一般的教養	芸術鑑賞	12
	暮らし	料理	
	趣味	絵画	
	ボランティア	地域活動（自治会、子ども会、婦人会など）	

3 団体の活動を進めていく上での課題

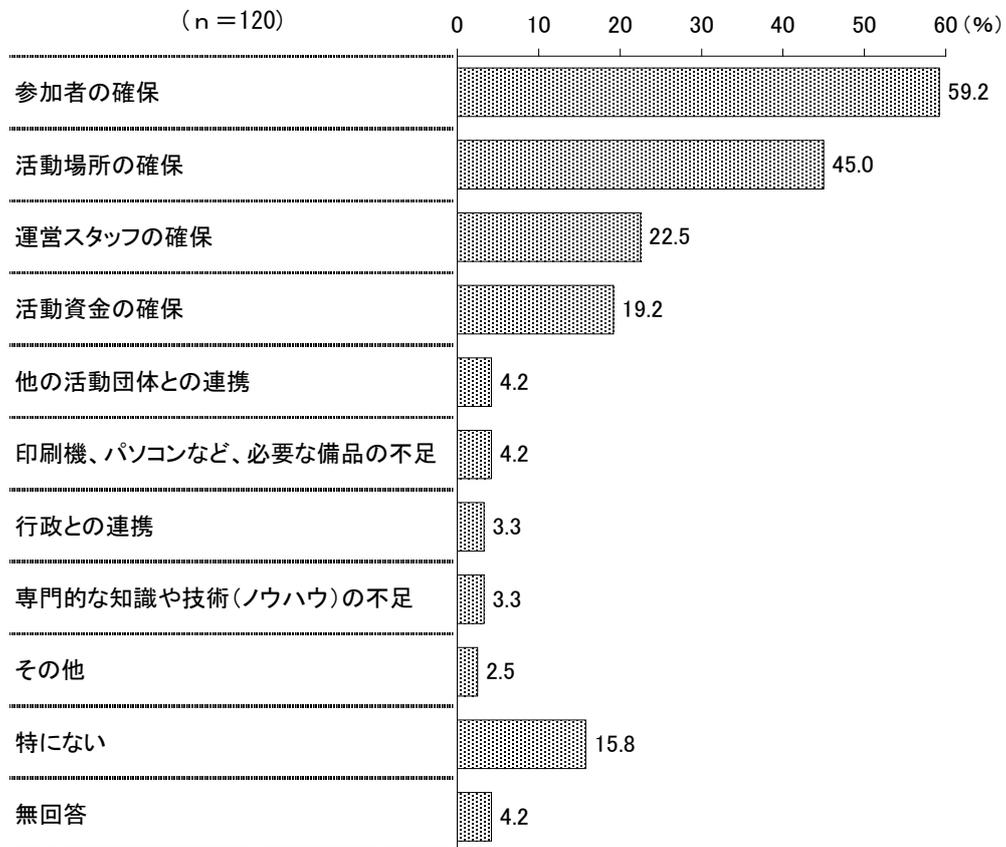
〔結果と課題（概要）〕

◇現在、活動を進めていく上での課題・今後活動を進めていく上での課題としては、参加者の確保、活動場所の確保が主である。今後活動を進めていく上での課題としての「運営スタッフの確保」は、過去の調査と比較すると回答割合は増加した。

(1) 現在の活動を進めていく上での課題

◇「参加者の確保」が59.2%

問9 現在、活動を進めていく上での課題は何ですか。（いくつでも○印）

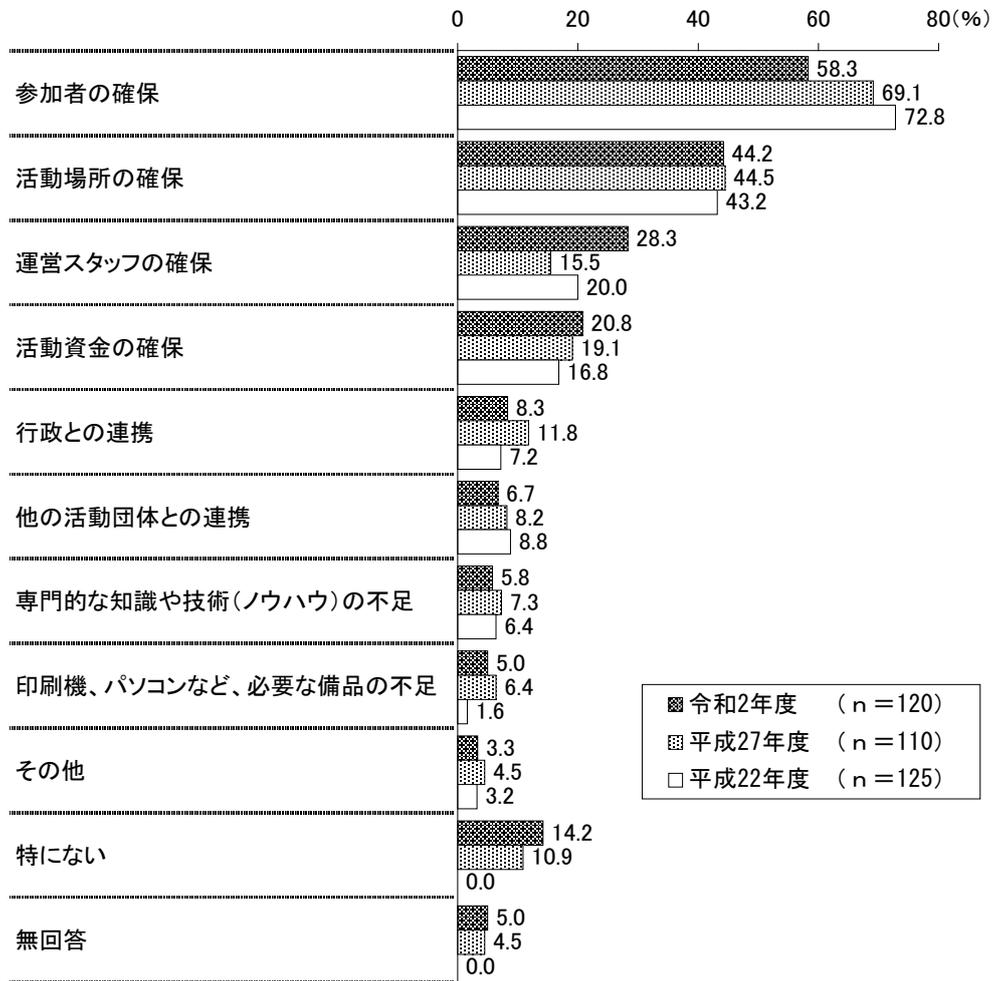


現在の活動を進めていく上での課題を聞いたところ、「参加者の確保」が59.2%で最も高く、次いで「活動場所の確保」(45.0%)、「運営スタッフの確保」(22.5%)、「活動資金の確保」(19.2%)と続いている。

(2) 今後の活動を進めていく上での課題

◇「参加者の確保」が58.3%

問10 今後、活動を進めていく上での課題は何ですか。（いくつでも○印）



※平成22年度では回答個数を3つまでとしていた

今後の活動を進めていく上での課題を聞いたところ、「参加者の確保」が58.3%で最も高く、次いで「活動場所の確保」(44.2%)、「運営スタッフの確保」(28.3%)、「活動資金の確保」(20.8%)と続いている。

過去の調査結果と比較すると、「運営スタッフの確保」は平成27年度より12.8ポイント増加している。一方、「参加者の確保」は平成27年度より10.8ポイント減少している。

4 市の生涯学習環境づくりに向けての意見

〔結果と課題（概要）〕

◇活動を進めていく上で行政に求めること

「活動場所の提供」が最も多く、次に「活動案内や参加者募集等の広報についての支援」が続く。また、「活動についての相談」は過去の調査と比較すると増加している。

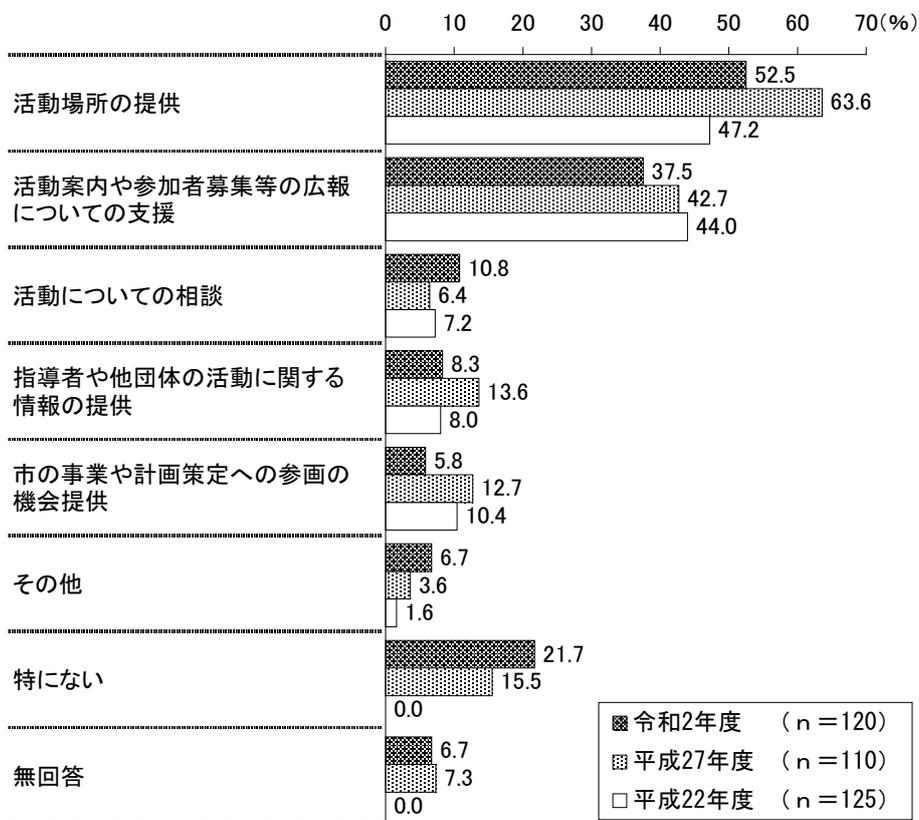
◇活動場所について、現状課題を抱えている団体が多いことがわかる。

また、参加者や運営スタッフの確保のためにも、広報・周知の面で行政の支援が求められている。

(1) 活動を進めていく上で行政に求めること

◇「活動場所の提供」が52.5%

問11 今後、活動を進めていく上で行政に求めることは何ですか。（いくつでも○印）



活動を進めていく上で行政に求めることを聞いたところ、「活動場所の提供」が52.5%で最も高く、次いで「活動案内や参加者募集等の広報についての支援」（37.5%）、「活動についての相談」（10.8%）、「指導者や他団体の活動に関する情報の提供」（8.3%）と続いている。

過去の調査結果と比較すると、「活動についての相談」は平成27年度より4.4ポイント増加している。一方、「活動場所の提供」は平成27年度より11.1ポイント、「市の事業や計画策定への参画の機会提供」は平成27年度より6.9ポイント、それぞれ減少している。

(2) 生涯学習全般に関する意見、提案

問12 生涯学習全般に関し、ご意見、ご提案などがございましたらお聞かせください。

(具体的に記述)

生涯学習全般に関し、ご意見、ご提案などを、「施設について」「講座・教室について」「行事について」「情報提供について」「その他」の5項目で自由に回答してもらったところ、55名から115件の回答がありました。

① 施設について

- あいパルを利用しております。職員の方々はとても親切で行き届いており、笑顔で対応してくれてとてもありがたいです。これからも利用させて頂きたいと思っております。あいパルが出来て本当によかったと思っております。
- 現在、あいパルを使って活動していますが、狭いわりにはお部屋代が高いと思います。日付や時間の変更にもお金がかかります。年齢も高い人が多いので、健康づくりのためにも割安で融通性を持った運営を希望します。
- お年寄りが安心して集える喫茶室あるとよい。木陰で休めるようなベンチがあるとよい。
- 公共施設を利用し、楽しくサークル活動しています。スポーツセンターの衛生状態について、コロナ禍ということもあり、心配です。清掃や消毒についての実施の情報も開示していただけたら嬉しいです。
- 空調設備を整えていただきたい。高齢者のサークルなので、大変つらい思いです。(笹目公民館)
- あいパルは新しい施設で気持ちよく利用できる。コロナ以後は人数制限があり、全員で活動できる場所がなくなった。
- 現在、コロナの影響で施設が使えないので、何とか早めに活動したい。
- 生涯学習の推進の観点から、公民館利用登録団体の利用料の減免をお願いしたい(さいたま市の公民館利用は無料です)。条例の見直し。
- 部屋取りが面倒になった。
- 予約方法の簡素化。
- ボランティア活動に対して、無料で公共施設を使えるようにしてほしい。
- 屋外活動(少年・学童野球)の為、夏の期間、熱中症対策の為午前6時より学校及びその他施設の開放をお願いします。※グリーンパーク内施設を早急をお願いしたい。(6月から9月)
- 連絡をよくしてもらえ。
- 満足しております。
- コンパルにシャワールームがあると助かります。
- 調理室の食器類や用具の古いものを更新していただきたい。
- トイレは洋式がよい。
- 無償で借りられる施設が無いこと。例えば、ちょっとしたスペースでも空いているところがあると嬉しい。
- 年間のほとんどが「あいパル」の施設を利用させていただき、快適な環境の中で活動でき感謝です。ピアノ、電子ピアノが残念です。
- 音楽全般(声楽、楽器等)を練習したり、(個人、団体とも)発表するホール(文化会館より小さく、新曽福祉センターより大きい)が少ないです。音楽愛好家、増えています。
- 後谷公園の茶室「不言亭」の設備を充実させてほしいです。(エアコンの設置、定期的な清掃など)
- あいパルは当初より防音装置のある部屋を借りられるので幸せと思う。
- コロナであいパルが使えないので困る。同じ体育系と一緒にならないテンポがゆっくりで密でもない。特に個人舞踊があるので、時差でやっているなどを考慮してください。
- 芦原小学校の集会室は、思いのほか音が響くと思うのですが・・・。
- 現在公民館、上戸田交流センターあいパルを利用して、おもに活動している。今後も積極的に行っていきたい。
- 部屋代を安くしてほしいです。(皆、年金生活者なので)
- 高齢社会なので、70歳以上の方が無料で施設を利用できる場所を提供してください。元気で過ごせるよう、太極拳教室をもっと開設したいと思います。
- 笹目コンパルのロビーに、グランドピアノが中古でよいので1台あったらいいと思います。他市から見学に来たときに。
- 上戸田交流センター(あいパル)を中心に活動している。月3回(日曜日)に借りているが、これ以上は時間オーバー

「IV 調査結果（団体） 4. 市の生涯学習環境づくりに向けての意見」

で借りられず、また公民館も突然の申し込みは利用不可。不足気味である。

- 私たちは、ボックスを2個と棚を借りておりますが、5分位前でないと開けていただけません。もう少し何とかと思っております。
- もっと開放してほしい（3月卒業式前や年末年始など）
- 施設は快適に利用しています。
- 現在あいパルを使わせていただいています。あいパルの駐車場が有料ですが、1団体に1枚のみ駐車券をいただけますが、1団体に1枚ではなく、使用人数、使用時間、使用部屋数に準じて枚数を増やしてほしいと思います。現在は、人数、時間、部屋数に関係なく1枚のみなので、不公平感を感じますし、公共施設でありながら駐車料金がかかるのは参加者を確保するのに、マイナス要因となっています。
- 現在公民館を借用しての活動ですが、部屋の机・椅子の設営や片付けが新たに義務付けられました。どのサークルでも高齢化が進み、この作業はとても負担が大きくなりました。けがにもつながりかねません。改善を要求したいと思えます。コロナ禍の今、リスクも大きいと感じます。
- コロナ状況に伴い、密を避ける為、利用場所を広い体育館に変更したほうが月2回、3回の活動にかかる使用料金が少し負担に感じる。
- 釜場の使用回数を増やしてほしい。
- 市の推進企画で認定サークルの育成・支援を行うなら、以前のように活動日の確保、施設使用料の免除をすべきと思う。
- 認定サークル活動を続ける上で、会場確保及び使用料負担が大きいため、以前のように免除してもらいたい。
- 認定サークル団体が定期的開催するときは、場所（公民館）を確保してほしい。一例として相撲協会などは子供の国に土俵をつくり占有しているのは不公平である。それを認めているのだから、公民館は無料にしてほしい。サークル団体は受益者団体ではない。
- 茶道具の修理など点検をして、壊れたものは交換してほしいです。
- 新曽福祉センターのホールを使用していますが、サークル団体ですが会場費が高い。
- 施設使用の部屋申し込みを30分単位にしてください。（1時間では不足。2時間では多すぎ。1時間半がジャストです。）※あいパルの講座も1時間15分が多い。プラスミーティング、入れ替えを踏まえると1時間半です。
- 全般に清掃が行き届いてよいです。
- あらゆる世代が、気軽に立ち寄れるところであってほしい。
- 駐車料金が高すぎます。

② 講座・教室について

- 初心者のために、無料の講座を10回ぐらい開いてもらえたら、次に続くのではないかと思います。
- 高齢者の活動の場として、各種講座を行っておりますので、市のほうでも支援をお願いしたい。
- 平日だと仕事があって参加がむずかしい。
- 講座を広く開催し、あらゆる趣味の方々に満足いくよう行っていただきたいです。
- 公民館活動の登録団体同士のコミュニケーションの輪（和）を広げ、コラボレーションができ、発表の場が広がると楽しいです。
- 手話を広めるための講座をいろいろな機会に開催してほしい。
- 市民大学は、多様な講座があり、大変楽しみにしております。
- ゼミ形式を増やしてほしい。授業形式よりも考えを発言、議論できる形式を望む。
- 今現在、コロナで活動が難しいので、いろいろ教えてほしいです。
- 年1回、登録団体「サポーターズ倶楽部」は、あいパルでPR講座のご協力とお力添えをいただき、よいアイデアと思えます。
- 高齢者の方の運動の講座が少ないように思う。ロコモ予防の為に、軽いスポーツ系の教室増を望みます。
- 講座からサークル活動へと継続していけるような支援。
- 情報があるとき、参加するよう心がけています。
- 教室に入る方は少ないので、広報等で宣伝してください。
- 趣味の文化活動に興味があります。ハワイアンクラフトやウクレレ教室等、講座が増えると嬉しいです。
- 上戸田交流センターあいパルで、隔週一般市民に囲碁講座を開設している。また、戸田第1小、戸田中の生徒を招いて、年1回初級囲碁講座も行っている。また、日本棋院よりプロ棋士を招いて小学生の囲碁普及に協力している。
- もう少し、参加者の人数がほしい。
- 3か月後まで利用教室を取るのに、毎月2回決まった曜日なので抽選でなく優先していただけないでしょうか。
- 会場が不足気味で講座等の開設が難しい。

「IV 調査結果（団体） 4. 市の生涯学習環境づくりに向けての意見」

- 明るくて良い場所ではあるが、少し部屋の出入りが問題あるときもある。
- 編み物をしているので、外国人の方々と一緒にやってみたい。
- 「生涯学習の講座」として、公民館のサークルがあるが、市の後押しがどのようなところにあるのかわかりません。継続が困難で辞めざるを得なかったサークルが多数です。市が主催の講座であれば、講師、部屋確保の負担は減らせるのでしょうか。
- 各公民館でも、語学講座があるとうれしい（これからの国際化に向けて）
- ダンスで利用しています。1つの教室は長方形で非常に使いづらいです。2つ使用するには、それだけ金額もかかりすぎます。

③ 行事について

- 第5回あいパルフェスタが今回コロナのため出来なかった。とても残念でした。年々お客さんも増え、内容も充実しております。建物も新しく戸田にも立派なセンターが出来て本当に嬉しく思っております。
- 新春市民茶会を復活させてほしいです。
- あいパル祭りが発表の場となっている。あとは施設に知り合いを通じて交渉しているが、広報などでボランティア活動をしていることを教えてください（市で）。
- 公民館まつりも年を重ねるにつれ、様々に形態を変えていく必要性を感じました。昨年の取組では、多くの子供達も訪れ、参加型の楽しい催しだったと思います。新しいサークル発足のきっかけになればいいのですが。
- 年一回の公民館祭りのイベントに参加しているが、地域の皆様に練習の成果を披露することが楽しみです。また、活動の励みになっています。
- 公民館祭りでの出展が無いので、当日（2日間）のスタッフとしてお手伝いしているが、10人（お年寄りはやらない）で2日間を行っているので、前日の準備・片付けなど長時間の参加となっている。お茶コーナーをセルフサービスにしてほしいとの声が多い。
- 行事もキャンセルになってしまっているのが、色々案があるのであれば提供してほしい。
- あいパルのフェスタ（3月）とお誕生日会（9月）の行事に向けて目標があるのでよい。
- 常に参加しています。
- 囲碁部会では毎年、春・秋にリーグ戦・あいパル創立記念大会・囲碁部会の創立記念大会、11月に文化祭囲碁大会、1月新春以後大会を実施している。
- どの公民館もいっぱいではないでしょうか。
- 市文化祭やあいパルフェスタ等に参加している。この程度でもよいと思う。
- あいパルまつりも参加しております。お手伝いはできるだけ一緒と考えております。
- 行事についても色々な行事の開催、そしてそれに参加できるよう促していただきたいです。
- 公民館活動団体の最大のモチベーションは、公民館祭りです。発表の場、参加者の確保、他団体との交流の唯一の場所。よって、公民館祭りは大切です。
- 公民館祭りは年中行事であり、楽しみの一つでもある。今年はコロナさわぎで中止になるのではないかと考えている。
- 大きなイベントは2つあります。だいぶ軌道に乗ってきた感があります。

④ 情報提供について

- LINEなどで情報が提供されると簡単に参加できる。
- インターネットができない人間の事も考えてほしい。
- 広報活動など、もう少しお願いしたい！
- いつどこで、どんなイベントがあるかなどを、早めに教えていただき、準備できる時間が持てるようにしていただきたいです。
- 有意義な講座、楽しい団体をアピールする時間を年間2回に増設し、部員の確保につなげたい。
- ネットでわかるように教室等も（施設予約等も）増やしてほしい。
- 情報提供のチラシ（市内、各施設）は溢れんばかりの数で、いつも驚きです。
- あいパルより情報が入っています。
- ネット社会ですが、ホームページを閲覧して情報を得る人がどれほどいるか疑問です。戸田市の紹介がネットで流れてくる……。そんなことは不可能なのでしょうか？
- 今年は、コロナ禍のなかで、本当に大変なようです。

⑤ その他

- 集会所使用の申請をしてから、許可をいただくまでに、随分時間を要したこと。コロナ感染症の影響で予約を何度も問合せさせていただきました。予約可能となった時、HPの確認でなく、直接ダイレクトにお知らせいただくと、それまでの不安を無くせると思いました。
- コロナ禍で練習場所が4ヶ月間も借りられず、ストップされて困っています。市の施設でも借りられるよう、お願いしたい。受付にて戸田市の許可が無いので部屋は貸せないといわれて困っています。
- 会場使用を体育系ひとくくりでと捉えず、各クラブの内容・改善点・どこが問題かなどで、すみやかに使用できる話し合いを市でもってください。会場使用のためには、どう改善したらよいか等、実情を聞いてください。
- サークル会費、維持の為参加者を集めることが難しく不安です。
- 現在、あいパルでは前使用者と次の使用者との間の入替え時間を設けていないが、コロナの状況の中、入替え時間を作ってほしい。例えば、5分前には部屋を開けて、換気の時間を設ける等、残留ウイルスへの対策も考えてほしい。普段からギリギリまで使用されていて、時には多少過ぎるときもあり、前の方の残り香が気になるときが多々ありました。
- 高齢者が健康に明るく日々を送る為に、とても有益な活動だと感じています。
- 冷暖房の完備がよくない。早く会館を使用したい。
- 丸の内朝大学を経験し、戸田市民大学も受講したが、講義式が多く、ステップアップができない。受講印集めと思われる方たちとは意欲が下がる。
- サポーターズ倶楽部同士の交流は少ないです。（企画など、施設にお任せで助かりますが）
- 25～26年前の戸田市は、スポーツセンター等の施設が充実しており、スポーツも老若男女で盛んでした。一方、音楽など文化面では都市部より遅れて、触れても中学校では触れる機会や部活がない等。この20年で市内の音楽家の方々の尽力もあり、やっと文化レベルも少しは上がってきたかなと思います。また、市内に美術館等、絵画や彫刻に触れる施設、機会が少ないことは気になります。戸田市は若い市ですが、だからこそスポーツも文化芸術も充実することを期待しています。
- 大きな鏡がほしいです。鏡のない部屋でもレッスンできるよう、移動式があればよいなと思います。
- これまでの活動スタイルでは、コロナに勝てない。各団体で新しい活動様式、活動型式を検討しよう。まずは、リーダーで1度話し合う必要があります。
- 以前は「広報とだ」にサークル員募集のページがあり、利用させていただいていました。現在は無いようで、残念です。是非コーナーの復活を。
- 皆、自立して介護状態にならないように努力しています。サークル活動は介護保険を使わないようにするためにも必要と考えます。
- 開放会議を3か月に1度とかにしてほしい。（予定がたてづらい）
- トコバスのルートの見直しして頂きたいという意見が多くあります。公民館への足がなく、休まざるを得ない人もいます。
- 私共は、病院や公民館の催しもの等、ボランティアでの演奏、独自の演奏会等を行い活動している吹奏楽団体です。管楽器は個人持ちで、各自持参しますが、団所有の大きな打楽器等は、倉庫を借用・保管し、毎月の倉庫代は4万円ほどかかります。団員の車で運べないときには、レンタカーを借用し運んでいるような状況です。このような団体のために、戸田市でのボランティア活動という条件で、練習場所や公民館等空いているスペースがあれば、安値でおき場所を提供していただけるととても助かります。誠に勝手な意見で申し訳ありません。ご検討いただけるとありがたいです。よろしくお願いたします。
- 公民館活動によって、生活習慣病の予防、体力増強、コミュニケーションによって、生活の潤い、安らぎを得ます。（市民の健康は市の財産です。よって施設使用費は無料でありたい）
- 藍染は少人数（12人）の活動であるが、好きなことであるので楽しくやっています。
- 保育園の公演件数をもう少し増やしたいと思います。
- 程よくゆったりできるコーナーを充実させてほしい。

V 使用した調査票

1 個人アンケート調査票

戸 田 市

生涯学習に関する市民意識調査のお願い

日ごろから市政への御理解、御協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、この度、市民の皆様より成人1,300人(※)の方を無作為に選び、皆様の生涯学習に関するお考えをうかがうため、「生涯学習に関する市民意識調査」を実施することになりました。

本調査の結果につきましては、本年度策定予定の(仮称)「第5次戸田市生涯学習推進計画」に反映し、市民の皆様のニーズに沿った生涯学習事業を進めてまいりたいと思います。

なお、回答結果から個人を特定することはございません。

つきましては、お忙しい中、お手数をおかけいたしますが、本調査の趣旨を御理解いただき、御協力くださいますようお願い申し上げます。

令和2年6月

戸田市教育委員会

※住所、氏名は令和2年5月1日現在のデータをもとに抽出しています。

宛名の御本人様が転出等により、御不在の場合は回答不要です。

● 記入にあたってのお願い

- (1) 回答は、封筒宛名の御本人が記入し、説明に従って、もれなくお答えください。
- (2) 各設問ごとに、あてはまる回答の数字(1.2.…)を○で囲んでお答えください。
- (3) (1つだけに○印)、(いくつでも○印)、(主なもの2つ以内に○印)などの指定に従ってお答えください。
- (4) 「その他」に回答された場合は、()の中に、また、(具体的に記述)との指定がある記述設問については、回答枠の中に、それぞれ具体的なお答えを記入してください。

～調査結果につきましては、戸田市ホームページにて概要を公表する予定です～

○すべて御記入されましたら、回答した用紙(氏名等を書いていただく必要はありません)を同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに

『令和2年6月30日(火)まで』に御返送ください。

● お問合せ先

戸田市教育委員会 生涯学習課 電話 048-424-9585

問1 あなたの性別はどちらですか。御自身が自認する性別を選択してください。

1 男性	2 女性
------	------

問2 あなたの年齢はいくつですか。(令和2年5月1日現在)

1 20～29歳	3 40～49歳	5 60～69歳
2 30～39歳	4 50～59歳	6 70歳以上

問3 あなたは戸田市内に何年くらいお住みですか。

1 1年未満	3 3年以上5年未満	5 10年以上20年未満
2 1年以上3年未満	4 5年以上10年未満	6 20年以上

問4 (現在同居している) あなたの家族はどのような構成ですか。

1 一人暮らし	3 夫婦と子ども	5 三世帯家族(親、子、孫)
2 夫婦のみ	4 夫婦とその親	6 その他()

問5 生涯学習に関して、以下の①～③について、あてはまるものについてお答えください。

(それぞれ1つだけに○印)

	当 て は ま る	お お い に 当 て は ま る	当 て は ま る	あ ま り 当 て は ま ら な い	当 て は ま ら な い
①「市立図書館」が生涯学習の拠点として気軽に利用できる施設であると認識している	1	2	3	4	
②「市立郷土博物館」が市の歴史に関する拠点として気軽に利用できる施設であると認識している	1	2	3	4	
③ 戸田市の文化財を知っている	1	2	3	4	

問6 あなたは現在(または過去1～2年の間に)文化・趣味・スポーツなどの活動(学習活動)をしていますか。(1つだけに○印)

1 活動をしている ⇒ 問6-1～問6-4へ(p.2～3)
2 活動をしていない ⇒ 問7へ(p.3)

【問6で、「1活動をしている」と答えた方にお聞きします】

問6-1 どのような活動（学習活動）を行っていますか。

(1) 以下の（1～62）の中から、あてはまるものにいくつでも○印をつけてください。

※「22 各種資格」を選択した場合は、括弧内に具体的な資格名等をご記入ください。

一般的な教養を高めるもの	1 歴史・地理	4 芸術鑑賞	7 政治・経済
	2 文学	5 環境問題	
	3 科学	6 人権問題	
日常の暮らしに役立つもの	8 料理	10 手芸	12 健康管理
	9 和裁・洋裁	11 日曜大工	13 着付け
育児や子どもの教育に関すること	14 しつけ	16 育児相談	
	15 子ども心理	17 家庭医学	
職業上必要な知識および技能に関すること	18 パソコン（ワード・エクセルなど）	21 運転免許	
	19 英会話	22 各種資格	
	20 語学（英会話以外）	（具体的に記述： ）	
趣味に関すること	23 書道	27 楽器	32 カラオケ
	24 絵画	28 園芸・ガーデニング	33 写真
	25 陶芸	29 自然観察	34 俳句・短歌
	26 華道・フラワーアレンジメント	30 囲碁・将棋	35 謡曲・民謡
		31 舞踏・ダンス	
体づくり・スポーツ	36 ジョギング	42 テニス	48 マリンスポーツ
	37 ウォーキング・散歩	43 ボウリング	49 ボート
	38 サイクリング	44 野球・ソフトボール	50 登山
	39 体操	45 サッカー	51 トレッキング
	40 ゴルフ	46 釣り	52 エアロビクス
	41 水泳	47 スキー・スノーボード	
郷土の歴史や文化	53 郷土史	54 郷土芸能	55 文化財・史跡
ボランティア活動	56 福祉活動（介護、手話、点訳など）		
	57 文化・スポーツ活動（指導・運営など）		
	58 環境活動（リサイクル、美化活動など）		
	59 国際交流活動（ホームステイ、通訳など）		
	60 防災・安全活動（避難訓練・交通安全運動など）		
	61 地域活動（自治会、子ども会、婦人会など）		
その他	62 その他（ ）		

(2) 上記(1)で○印をつけた活動（学習活動）のうち、特に力を入れた活動について、順に3つまで、番号でお答えください。

＜特に力を入れた活動＞

1～62の番号を記入⇒

1番目	2番目	3番目

(3) (2)で 一番力を入れて取り組んだ活動において、1回あたりの活動時間はどれくらいですか。

(1つだけに○印)

1 30分未満	4 2時間以上3時間未満	7 5時間以上
2 30分以上1時間未満	5 3時間以上4時間未満	
3 1時間以上2時間未満	6 4時間以上5時間未満	

【問6で、「1活動をしている」と答えた方にお聞きします】

問6-2 ここ1年間で(複数の活動も含めて)どのくらい活動をしましたか。(1つだけに○印)

1 ほぼ毎日	3 1週間に1~2回	5 年に1~2回
2 1週間に3~4回	4 月に1~2回	6 わからない

【問6で、「1活動をしている」と答えた方にお聞きします】

問6-3 あなたの現在の活動(学習)の充実度はどの程度ですか。(1つだけに○印)

1 とても充実している	3 あまり充実していない
2 まあまあ充実している	4 充実していない

【問6で、「1活動をしている」と答えた方にお聞きします】

問6-4 あなたが学習活動をした主な目的は何ですか。(いくつでも○印)

1 知識・教養を高め、趣味を豊かにするため
2 人との親睦を深め、友人を得るため
3 生活に必要な知識・技能を身につけ、家庭生活をよくするため
4 職業に必要な資格など、知識・技能の取得のため
5 健康の維持、体力づくりのため
6 生きがいを見つけ、老後を豊かに過ごすため
7 社会の動きに遅れないようにするため
8 地域を活性化させ、住みよいまちをつくるため
9 気分転換をはかるため
10 その他 ()
11 特に目的はない

【問6で、「2活動をしていない」と答えた方にお聞きします】

問7 あなたが学習活動をしなかった理由は何ですか。(いくつでも○印)

問 10 あなたは新たに始めたい活動（学び直したいこと）がありますか。（1つだけに○印）

1 ある ⇒ 問10-1へ(p.5)

2 ない ⇒ 問11へ (p.6)

【問 10 で、「 1 ある」と答えた方にお聞きします】

問 10-1(1) 新たに始めたい活動について、以下の(1~62)の中から、あてはまるものにいくつでも○印をつけてください。

※「22 各種資格」を選択した場合は、括弧内に具体的な資格名等をご記入ください。

一般的な教養を高めるもの	1 歴史・地理 2 文学 3 科学	4 芸術鑑賞 5 環境問題 6 人権問題	7 政治・経済
日常の暮らしに役立つもの	8 料理 9 和裁・洋裁	10 手芸 11 日曜大工	12 健康管理 13 着付け
育児や子どもの教育に関すること	14 しつけ 15 子ども心理	16 育児相談 17 家庭医学	
職業上必要な知識および技能に関すること	18 パソコン(ワード・エクセルなど) 19 英会話 20 語学(英会話以外)	21 運転免許 22 各種資格 (具体的に記述 :)	
趣味に関すること	23 書道 24 絵画 25 陶芸 26 華道・フラワーアレンジメント	27 楽器 28 園芸・ガーデニング 29 自然観察 30 囲碁・将棋 31 舞踏・ダンス	32 カラオケ 33 写真 34 俳句・短歌 35 謡曲・民謡
体力づくり・スポーツ	36 ジョギング 37 ウォーキング・散歩 38 サイクリング 39 体操 40 ゴルフ 41 水泳	42 テニス 43 ボウリング 44 野球・ソフトボール 45 サッカー 46 釣り 47 スキー・スノーボード	48 マリンスポーツ 49 ボート 50 登山 51 トレッキング 52 エアロビクス
郷土の歴史や文化	53 郷土史	54 郷土芸能	55 文化財・史跡
ボランティア活動	56 福祉活動(介護、手話、点訳など) 57 文化・スポーツ活動(指導・運営など) 58 環境活動(リサイクル、美化活動など) 59 国際交流活動(ホームステイ、通訳など) 60 防災・安全活動(避難訓練・交通安全運動など) 61 地域活動(自治会、子ども会、婦人会など)		
その他	62 その他 ()		

(2) 上記(1)で○印をつけた活動(学習活動)のうち、特に力を入れて行いたいものについて、順に3つまで、番号でお答えください。

＜特に力を入れて行いたい活動＞
1~62の番号を記入⇒

1番目	2番目	3番目

【全員にお聞きします】

問 11 あなたはここ1年間に、市内にある公共の学習施設を利用しましたか。(1つだけに○印)

1 利用した

2 利用しなかった ⇒ 問12へ

【問 11 で、「1 利用した」と答えた方にお聞きします】

▶ 問 11-1 どの施設を利用しましたか。(いくつでも○印)

1 公民館 (福祉センター)

11 児童センター (こどもの国)

2 図書館

12 児童センター (プリムローズ)

3 郷土博物館

13 文化会館

4 彩湖自然学習センター (みどりパル)

14 福祉保健センター

5 少年自然の家 (長野県富士見町)

15 スポーツセンター

6 芦原小学校生涯学習施設

16 スポーツ施設

7 教育センター

(グラウンド・テニスコートなど)

8 笹目コミュニティセンター (コンパル)

17 学校施設の開放 (教室・運動場)

9 上戸田地域交流センター (あいパル)

18 その他 ()

10 新曽南多世代交流館 (さくらパル)

【問 11 で、「2 利用しなかった」と答えた方にお聞きします】

問 12 施設を利用しなかった理由は何ですか。(いくつでも○印)

1 他の施設 (民間の施設など) を
利用しているから

7 施設の場所、利用時間が分からないから

8 興味がないから

2 近くに公共施設がないから

9 仕事、家事、育児などで利用できないから

3 設備が十分でないから

10 健康上の理由で利用できないから

4 利用手続きがわからないから

11 その他 ()

5 手続きが面倒だから

12 特に理由はない

6 利用時間と合わないから

【全員にお聞きします】

問 13 公共の学習施設の設備・サービスでさらに望むものは何ですか。(2つ以内に○印)

1 施設の利用時間を延ばしてほしい

5 学習機材・器具の貸し出しをしてほしい

2 学習機材、器具を充実してほしい

(具体的に記述:)

3 目的別に使用できる部屋・教室がほしい

6 駐車場を充実してほしい

4 施設の使用手続きを簡単にしてほしい

7 その他 ()

8 特にない

問 14 戸田市では市民向け生涯学習事業として、以下の①～③のような講座や支援制度を実施しています。あなたは、これらを利用したことはありますか。(それぞれ1つだけに○印)

	利用したことがある	知っていたが、利用したことはない	知らなかった
①「戸田市民大学（戸田市民大学認定講座）」 (くらし、健康、教養など様々なテーマを自分で選んで学ぶ認定講座)	1	2	3
②「公民館主催講座」 (新曽公民館・美笹公民館・下戸田公民館)	1	2	3
③「戸田人材の森（生涯学習人材バンク）」 (知識や技術をもった地域人材を講師として登録し、講師情報を提供して市民活動や学習を支援)	1	2	3



①から③のいずれかで、1つでも「2 知っていたが、利用したことはない」を選んだ方は問 14-1 (p.7)、問 14-2 へ (p.8)

①から③のすべて、「1 利用したことがある」または「3 知らなかった」を選んだ方は問 15 へ (p.8)

【問 14 の①から③について、「2 知っていたが、利用したことはない」と答えた方にお聞きします】

問 14-1 あなたは、どこで「戸田市民大学」「公民館主催講座」「戸田人材の森」を知りましたか。(いくつでも○印)

	①戸田市民大学	②公民館主催講座	③戸田人材の森
広報「戸田市」	1	1	1
ホームページ	2	2	2
SNS (Facebook、Twitter など)	3	3	3
ポスター、チラシ	4	4	4
知人・友人から	5	5	5
その他 (上記以外の場合は御記入ください)	()	()	()

【問 14 の①から③について、「 2 知っていたが、利用したことはない」と答えた方にお聞きします】

問 14-2 あなたが利用しなかった理由は何ですか。(いくつでも○印)

	①戸田市民大学	②公民館主催講座	③戸田人材の森
それ自体に興味がないから	1	1	1
内容を詳しく知らないから	2	2	2
興味を引かれる講座メニューがないから	3	3	3
講座に参加する時間がないから	4	4	4
講座の開催時期、開催時間が合わないから	5	5	5
講座の申し込み手続きが分からないから	6	6	6
講座の申し込みの手続きが面倒だから	7	7	7
他の類似の学習講座に参加しているから	8	8	8
特に理由はない	9	9	9
その他 (上記以外の場合は御記入ください)	()	()	()

【全員にお聞きします】

問 15 あなたはどのような内容の講座（市主催）を開催してほしいと思いますか。(いくつでも○印)

1 資格取得につながる講座	3 趣味講座（実技的なもの）
2 大学レベルの講義	4 その他（)

問 16 あなたが講座（市主催）に参加する場合、最も都合のよい開催日、時間帯はいつですか。

(1つだけに○印)

1 平日の午前中	4 土曜日の午前中	7 日曜日の午前中	10 その他
2 平日の午後	5 土曜日の午後	8 日曜日の午後	()
3 平日の夜間 (18時以降)	6 土曜日の夜間 (18時以降)	9 日曜日の夜間 (18時以降)	

問 17 あなたが講座（市主催）を受講および終了した場合、学んだことをどのような場面で活かしたらよいと思いますか。（いくつでも○印）

- | | |
|----------------|--------------------------|
| 1 自身の生活向上 | 6 さらに学びを深めるため、大学の講義を聴講する |
| 2 仕事等でのキャリアアップ | 7 市の機関や委員会のメンバーになる |
| 3 地域での各種活動に活かす | 8 戸田市民大学の運営に関わる |
| 4 市民講師として活動する | 9 その他（ ） |
| 5 イベント等の企画・協力者 | |

問 18 どのような進め方（形式）の講座であれば、あなたは、市民向けの学習講座を受講したいと思いますか。最もあてはまるものに1つだけ○印をしてください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1 主に講師の話聞く講義・講演（座学）形式の講座 |
| 2 映像等を活用した講義・講演（座学）形式の講座 |
| 3 講義・講演（座学）に加え、受講者が意見を表明できる講座 |
| 4 受講者同士の討議や作業等のワークショップ（演習）形式を含む講座 |
| 5 ワークショップ（演習）形式が中心の講座 |
| 6 動画などインターネットを活用した（非対面）形式の講座 |

問 19 あなたは、生涯学習活動を行うことが、住民主体・住民参加のまちづくりの第一歩となると思いますか。（1つだけに○印）

- | | |
|----------------|--------------------------------|
| 1 そう思う | 3 どちらかといえばそう思わない ⇒ 問20へ(p. 10) |
| 2 どちらかといえばそう思う | 4 思わない ⇒ 問20へ(p. 10) |

【問 19 で、「1 そう思う」「2 どちらかといえばそう思う」と答えた方にお聞きします】

▶ 問 19-1 このようなまちづくりの視点から生涯学習活動を考えたとき、あなたは活動に参加したいと思いますか。（1つだけに○印）

- | | |
|------------|----------------------------|
| 1 参加したいと思う | 2 参加したいと思わない ⇒ 問20へ(p. 10) |
|------------|----------------------------|

【問 19-1 で、「1 参加したいと思う」と答えた方にお聞きします】

▶ 問 19-2 あなたはどのような活動に参加したいと思いますか。（いくつでも○印）

- | |
|---|
| 1 学校の環境整備（花壇の整備など）や教育活動を支援するなど、地域が学校と協働する活動 |
| 2 地域の子供のためのレクリエーション活動や自然体験活動など |
| 3 子育て・育児を支援する活動 |
| 4 地元の観光や産業の活性化に貢献するような活動 |
| 5 地域の伝統行事や歴史の継承に関する活動 |
| 6 地域の祭りや運動会など、地域の行事に関する活動 |
| 7 スポーツ・文化活動 |
| 8 障害者や高齢者、外国人住民などの支援に関する活動 |
| 9 地域の環境保全に関する活動 |
| 10 国際交流に関する活動 |
| 11 防犯・防災活動 |
| 12 その他（ ） |

【全員にお聞きします】

問 20 あなたは戸田市の生涯学習を充実させ、盛んにするためにはどのような環境づくりが大切だと思いますか。(いくつでも○印)

- | |
|------------------------------------|
| 1 種類、水準、時間、費用などの要望に応じた教室・講座などを開催する |
| 2 市民が参加できるコンサートやスポーツ大会などの催し物を開催する |
| 3 公民館、図書館などの文化施設を整備・充実する |
| 4 体育館、グラウンド、野外施設などのスポーツ施設を整備・充実する |
| 5 指導者やボランティアを育成する |
| 6 各種文化・芸術グループやスポーツクラブを育成・支援する |
| 7 各種施設の利用手続きが簡単で気軽に使用できる体制づくり |
| 8 各種の情報が容易に得られる体制づくり |
| 9 各種の相談が気軽にできる体制づくり |
| 10 資格認定など学習したことが認められる体制づくり |
| 11 仕事のキャリアアップに役立つ講座を開催する |
| 12 その他 () |

問 21 生涯学習全般に関し、ご意見、ご提案などがございましたらお聞かせください。

(施設について)

--

(講座・教室について)

--

(行事について)

--

(情報提供について)

--

(その他)

--

以上で、質問はすべて終了です。

ご協力ありがとうございました。

戸田市生涯学習課で実施している事業については、以下のホームページでご紹介しています。

<http://www.city.toda.saitama.jp/life/3/37/162/>

2 団体アンケート調査票

戸 田 市 生涯学習に関する市民意識調査のお願い

日ごろから市政への御理解、御協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、この度、市内で生涯学習活動を実施している団体より200団体を選び、皆様の活動内容や活動を進める上での課題をうかがうため、「生涯学習に関する市民意識調査」を実施することになりました。

本調査の結果につきましては、本年度策定予定の（仮称）「第5次戸田市生涯学習推進計画」に反映し、市民の皆様のニーズに沿った生涯学習事業を進めてまいりたいと思います。

なお、回答結果から団体を特定することはございません。

つきましては、お忙しい中、お手数をおかけいたしますが、本調査の趣旨を御理解いただき、御協力くださいますようお願い申し上げます。

令和2年6月

戸田市教育委員会

● 記入にあたってのお願い

- (1) 回答は、貴団体の代表者（もしくは代理人）が記入し、説明に従って、もれなくお答えください。
- (2) 各設問ごとに、あてはまる回答の数字（1. 2. …）を○で囲んでお答えください。
- (3) （1つだけに○印）、（いくつでも○印）などの指定に従ってお答えください。
- (4) 「その他」に回答された場合は、（ ）の中に、また、（具体的に記述）との指定がある記述設問については、回答枠の中に、それぞれ具体的なお答えを記入してください。

～調査結果につきましては、戸田市ホームページにて概要を公表する予定です～

○すべて御記入されましたら、回答した用紙（氏名等を書いていただく必要はありません）を同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに

『令和2年6月30日（火）まで』に御返送ください。

● お問合せ先

戸田市教育委員会 生涯学習課 電話 048-424-9585

問1 貴団体の運営に関わっている方（運営スタッフ）の人数をお答えください。

約 人 （令和2年4月1日現在）

問2 貴団体の活動に参加している方の概ねの人数をお答えください。

（運営スタッフ、イベントの集客数は除く）

約 人 （令和2年4月1日現在）

問3 貴団体の主な参加者層についてお答えください。（3つ以内に○印）

- | | |
|------------|------------|
| 1 20歳未満男性 | 6 20歳未満女性 |
| 2 20～39歳男性 | 7 20～39歳女性 |
| 3 40～59歳男性 | 8 40～59歳女性 |
| 4 60～79歳男性 | 9 60～79歳女性 |
| 5 80歳以上男性 | 10 80歳以上女性 |

問4 貴団体の活動範囲についてお答えください。（1つだけに○印）

- | |
|------------------------------------|
| 1 市外も含めて広範囲で活動を行っている ⇒問5へ |
| 2 市内各地で活動を行っている ⇒問5へ |
| 3 市内の一定の地区で行っている |
| 4 その他（ <input type="text"/> ） ⇒問5へ |

【問4で、「3 一定の地区で行っている」と答えた方にお聞きします】

→ 問4-1 活動場所はどの地区ですか。（1つだけに○印）

- | |
|----------------------------------|
| 1 喜沢1・2丁目、中町1丁目、下戸田1・2丁目 |
| 2 喜沢南1・2丁目、中町2丁目、下前1・2丁目、川岸1・2丁目 |
| 3 上戸田1～5丁目、大字上戸田 |
| 4 川岸3丁目、本町1～5丁目、南町、戸田公園 |
| 5 大字新曾、新曾南1～4丁目、氷川町1～3丁目、大字下笹目 |
| 6 笹目南町、笹目北町、早瀬1・2丁目、笹目1～8丁目 |
| 7 美女木1～8丁目、美女木東1・2丁目、大字美女木 |

【全員にお聞きします】

問5 今後、活動の範囲を広げたいと考えていますか。(1つだけに○印)

1 考えている	2 考えていない ⇒問6へ
---------	---------------

【問5で、「1 考えている」と答えた方にお聞きします】

▶ 問5-1 どの程度の活動範囲にしようと考えていますか。(1つだけに○印)

1 全国規模	3 市内
2 県内	4 その他 ()

【全員にお聞きします】

問6 貴団体の主な活動場所(施設)をお答えください。(いくつでも○印)

1 公民館(福祉センター)	11 児童センター(こどもの国)
2 図書館	12 児童センター(プリムローズ)
3 郷土博物館	13 文化会館
4 彩湖自然学習センター(みどりパル)	14 福祉保健センター
5 少年自然の家(長野県富士見町)	15 スポーツセンター
6 芦原小学校生涯学習施設	16 スポーツ施設(グラウンド・テニスコートなど)
7 教育センター	17 学校施設の開放(教室・運動場)
8 笹目コミュニティセンター(コンパル)	18 その他 ()
9 上戸田地域交流センター(あいパル)	19 特になし
10 新曽南多世代交流館(さくらパル)	

問7 貴団体の活動について戸田市役所との関係をお答えください。(1つだけに○印)

1 戸田市役所と連携して活動を行っている
2 戸田市役所との関係はない ⇒問8へ
3 その他 () ⇒問8へ

【問7で、「1 戸田市役所と連携して活動を行っている」と答えた方にお聞きします】

▶ 問7-1 具体的に戸田市役所とどのような連携をとっていますか。(いくつでも○印)

1 市役所の施設を利用している
2 活動費の一部助成を受けている
3 広報やホームページ等で活動を紹介してもらっている
4 市役所の開催するイベントや教室、講座などを運営している
5 その他 ()

【全員にお聞きします】

問8 貴団体で行っている活動の内容をお答えください。

(1) 以下の(1~62)の中から、あてはまるものにいくつでも○印をつけてください。

※「22 各種資格」を選択した場合は、括弧内に具体的な資格名等をご記入ください。

一般的な教養を高めるもの	1 歴史・地理 2 文学 3 科学	4 芸術鑑賞 5 環境問題 6 人権問題	7 政治・経済
日常の暮らしに役立つもの	8 料理 9 和裁・洋裁	10 手芸 11 日曜大工	12 健康管理 13 着付け
育児や子どもの教育に関すること	14 しつけ 15 子ども心理	16 育児相談 17 家庭医学	
職業上必要な知識および技能に関すること	18 パソコン(ワード・エクセルなど) 19 英会話 20 語学(英会話以外)	21 運転免許 22 各種資格 (具体的に記述 :)	
趣味に関すること	23 書道 24 絵画 25 陶芸 26 華道・フラワーアレンジメント	27 楽器 28 園芸・ガーデニング 29 自然観察 30 囲碁・将棋 31 舞踏・ダンス	32 カラオケ 33 写真 34 俳句・短歌 35 謡曲・民謡
体力づくり・スポーツ	36 ジョギング 37 ウォーキング・散歩 38 サイクリング 39 体操 40 ゴルフ 41 水泳	42 テニス 43 ボウリング 44 野球・ソフトボール 45 サッカー 46 釣り 47 スキー・スノーボード	48 マリンスポーツ 49 ボート 50 登山 51 トレッキング 52 エアロビクス
郷土の歴史や文化	53 郷土史	54 郷土芸能	55 文化財・史跡
ボランティア活動	56 福祉活動(介護、手話、点訳など) 57 文化・スポーツ活動(指導・運営など) 58 環境活動(リサイクル、美化活動など) 59 国際交流活動(ホームステイ、通訳など) 60 防災・安全活動(避難訓練・交通安全運動など) 61 地域活動(自治会、子ども会、婦人会など)		
その他	62 その他 ()		

(2) 上記(1)で○印をつけた活動(学習活動)のうち、特に力を入れて行っているものについて、順に3つまで、番号でお答えください。

＜特に力を入れて行っている活動＞
1～62の番号を記入⇒

1番目	2番目	3番目

問9 現在、活動を進めていく上での課題は何ですか。(いくつでも○印)

- 1 参加者の確保
- 2 運営スタッフの確保
- 3 活動資金の確保
- 4 活動場所の確保
- 5 行政との連携
- 6 他の活動団体との連携
- 7 専門的な知識や技術（ノウハウ）の不足
- 8 印刷機、パソコンなど、必要な備品の不足
- 9 その他（)
- 10 特にない

問10 今後、活動を進めていく上での課題は何ですか。(いくつでも○印)

- 1 参加者の確保
- 2 運営スタッフの確保
- 3 活動資金の確保
- 4 活動場所の確保
- 5 行政との連携
- 6 他の活動団体との連携
- 7 専門的な知識や技術（ノウハウ）の不足
- 8 印刷機、パソコンなど、必要な備品の不足
- 9 その他（)
- 10 特にない

問11 今後、活動を進めていく上で行政に求めることは何ですか。(いくつでも○印)

- 1 活動場所の提供
- 2 指導者や他団体の活動に関する情報の提供
- 3 活動についての相談
- 4 活動案内や参加者募集等の広報についての支援
- 5 市の事業や計画策定への参画の機会提供
- 6 その他（)
- 7 特にない

問 12 生涯学習全般に関し、ご意見、ご提案などがございましたらお聞かせください。

(具体的に記述)

(施設について)

(講座・教室について)

(行事について)

(情報提供について)

(その他)

以上で、質問はすべて終了です。

ご協力ありがとうございました。

戸田市生涯学習課で実施している事業については、以下のホームページでご紹介しています。

<http://www.city.toda.saitama.jp/life/3/37/162/>

戸田市
生涯学習に関する市民意識調査
報告書

令和2年9月発行

調査主体 戸田市教育委員会 生涯学習課
〒335-8588 埼玉県戸田市上戸田1丁目18番1号
電話 048-441-1800 (代表)

調査実施 株式会社エスピー研
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3丁目11番20号
電話 03-3239-0071 (代表)